工　事　設　計　書　等

工事設計書等のダウンロードにあたって

　知り得た情報は、関東地方整備局以外の者の権利を含む場合があるため、ダウンロードを行った個人又は法人における１次利用に限るものとし、有償無償に関わらず「第三者への提供行為※」を行わないでください。

※「他の第三者への提供行為」・・・PDFデータのまま、あるいは、紙に出力して等の手段に関わらず、ダウンロードを行った個人又は法人以外の他者による２次利用につながる一切の行為を指します。

国土交通省　関東地方整備局
高崎河川国道事務所

鏡

１．工事名

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事
工事地名	高崎河川国道事務所管内

２．工事内容

１）	発注年月	令和 8年 4月		１２）	設 計 年 月	令和 8年 5月
２）	事務所名	高崎河川国道事務所　工務第二課		１３）	機械損料一括補正	0　　労務費一括割増　　0%
３）	工事番号			１４）	単価適用年月	2026年 5月
４）	契約区分			１５）	歩掛適用年月	2026年 5月
５）	変更回数	0回		１６）	前請負工事費	0
６）	主 工 種	道路維持工事		１７）	前請負代金額	0
７）	工 事 量			１８）	調 整 区 分	0
８）	工　　期	297日間　自	令和 8年 6月 8日	１９）	共通仮設費対象額	
		（当初）　至	令和 9年 3月31日	２０）	現場管理費対象額	
		（ 0回変更）　至	年 月 日	２１）	一般管理費等対象額	
９）	施 工 県	群馬県		２２）	処 分 費 等	1,813,350
１０）	地　　区	前橋・高崎地区		２３）	公 告 日	令和 8年 4月10日
１１）	河川・路線	一般国道５０号		２４）	入 札 締 切 日	年 月 日

３．予算科目

1)　予算科目：	2)　目：	3)　目の細分：	4)　事業名：

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事 （当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
道路維持 国道50号前橋笠懸道路		式	1		65,889,546			
排水構造物工		式	1		13,922,588			
作業土工		式	1		2,237,034			
床掘り	土砂	m3	430	2,275	978,250			単-1号
埋戻し	土砂	m3	250	4,056	1,014,000			単-2号
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3	160	1,401	224,160			単-3号
整地	残土受入れ地での処理	m3	160	128.9	20,624			単-4号
側溝工		式	1		7,821,544			
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝 (1)	PU1-B300×H300	m	715	10,410	7,443,150			単-5号
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝 (2)	PU3-B300×H300	m	19	12,640	240,160			単-6号
側溝蓋 (1)	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋 300用 T-25 41.2×9.5×50	枚	36	3,164	113,904			単-7号
側溝蓋 (2)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 300用 T-25 995×410×95 細目	枚	1	24,330	24,330			単-8号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
集水桝･ﾏﾝﾎｰﾙ工		式	1		3,864,010			
現場打ち集水桝 (1)	500×500×500(歩)	箇所	2	43,410	86,820			単-9号
現場打ち集水桝 (2)	500×500×600(歩)	箇所	2	47,980	95,960			単-10号
現場打ち集水桝 (3)	600×600×600(車)	箇所	1	54,830	54,830			単-11号
現場打ち集水桝 (4)	700×700×600(車)	箇所	2	63,960	127,920			単-12号
現場打ち集水桝 (5)	700×700×600(歩)	箇所	1	63,960	63,960			単-13号
現場打ち集水桝 (6)	900×900×1700(歩)	箇所	1	216,600	216,600			単-14号
現場打ち集水桝 (7)	900×900×1900(歩)	箇所	1	241,300	241,300			単-15号
現場打ち集水桝 (8)	1200×1200×1700(歩)	箇所	1	682,200	682,200			単-16号
現場打ち集水桝 (9)	1500×1500×1600(歩)	箇所	1	316,200	316,200			単-17号
現場打ち集水桝 (10)	1500×1500×2000(車)	箇所	1	387,700	387,700			単-18号
現場打ち集水桝 (11)	1000×500×1000×1000(歩)	箇所	1	218,200	218,200			単-19号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
蓋 (1)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 500×500 用 T-2 落込式(鎖付) 細目	枚	4	19,620	78,480			単-20号
蓋 (2)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 600×600 用 T-25 ﾎﾞﾙﾄ固定式 細目	枚	1	64,030	64,030			単-21号
蓋 (3)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 700×700 用 T-25 ﾎﾞﾙﾄ固定式 細目	枚	2	81,930	163,860			単-22号
蓋 (4)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 700×700 用 T-2 落込式(鎖付) 細目	枚	1	38,230	38,230			単-23号
蓋 (5)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 900×900 用 T-2 落込式(鎖付) 細目	枚	2	58,430	116,860			単-24号
蓋 (6)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1200×120 0用 T-2 落込式(鎖付) 細目	枚	2	102,600	205,200			単-25号
蓋 (7)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1500×150 0用 T-2 落込式(鎖付) 細目	枚	2	151,300	302,600			単-26号
蓋 (8)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1500×150 0用 T-25 ﾎﾞﾙﾄ固定式 細目	枚	2	129,300	258,600			単-27号
蓋 (9)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 500×1000 用 T-2 落込式(鎖付) 細目	枚	1	62,830	62,830			単-28号
蓋 (10)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1000×100 0用 T-2 落込式(鎖付) 細目	枚	1	81,630	81,630			単-29号
防護柵工		式	1		3,448,000			
防止柵工		式	1		3,448,000			

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事 （当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
立入防止柵(木杭)	柵高1.1m 設置	m	2,000	1,724	3,448,000			単-30号
道路付属施設工		式	1		9,810,000			
道路付属物工		式	1		9,810,000			
防草ｼｰﾄ	t=2mm 目付量310g/m2以上	m2	5,000	1,962	9,810,000			単-31号
ｶﾙﾊﾞｰﾄ工		式	1		194,190			
作業土工		式	1		63,310			
床掘り	土砂	m3	10	2,275	22,750			単-32号
埋戻し	土砂	m3	10	4,056	40,560			単-33号
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｶﾙﾊﾞｰﾄ工		式	1		130,880			
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	内幅 0.3m 内高 0.3m	m	4	32,720	130,880			単-34号
除草工		式	1		33,478,000			
道路除草工		式	1		33,478,000			

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事 （当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
道路除草(複合) (1)	肩掛け式	m2	100,000	151.5	15,150,000			単-35号
道路除草(複合) (2)	ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式	m2	200,000	83.24	16,648,000			単-36号
除草処分		kg	80,000	21	1,680,000			単-37号
応急処理工		式	1		3,296,768			
応急処理作業工		式	1		3,296,768			
応急作業 昼間(8～17h)		式	1		3,296,768			内-1号
仮設工		式	1		1,740,000			
交通管理工		式	1		1,740,000			
交通誘導警備員 (1)	昼間･A	人日	50	18,000	900,000			単-38号
交通誘導警備員 (2)	昼間･B	人日	50	16,800	840,000			単-39号
直接工事費		式	1		65,889,546			
共通仮設費		式	1		5,182,225			

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事 （当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
共通仮設費		式	1		616,225			
技術管理費		式	1		64,225			
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式	1		64,225			内-2号
現場環境改善費（率計上）		式	1		552,000			
共通仮設費（率計上）		式	1		4,566,000			
純工事費		式	1		71,071,771			
現場管理費		式	1		24,235,000			
工事原価		式	1		105,770,404			
一般管理費等		式	1		18,829,596			
工事価格		式	1		124,600,000			
消費税相当額		式	1		12,460,000			
工事費計		式	1		137,060,000			

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事 （当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
道路維持 国道17号上武道路		式	1		492,673			
除草工		式	1		77,850			
道路除草工		式	1		77,850			
道路除草(複合) (1)	肩掛け式	m2	500	151.5	75,750			単-1号
除草処分		kg	100	21	2,100			単-2号
応急処理工		式	1		150,823			
応急処理作業工		式	1		150,823			
応急作業 昼間(8～17h)		式	1		150,823			内-1号
仮設工		式	1		264,000			
交通管理工		式	1		264,000			
交通誘導警備員 (1)	昼間･A	人日	10	18,000	180,000			単-3号
交通誘導警備員 (2)	昼間･B	人日	5	16,800	84,000			単-4号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事 （当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
直接工事費		式	1		492,673			
共通仮設費		式	1		128,000			
共通仮設費		式	1		11,000			
現場環境改善費（率計上）		式	1		11,000			
共通仮設費（率計上）		式	1		117,000			
純工事費		式	1		620,673			
現場管理費		式	1		374,000			
工事原価		式	1		994,673			

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事 （当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
道路維持 国道17号高松立体		式	1		185,533			
除草工		式	1		16,660			
道路除草工		式	1		16,660			
道路除草(複合) (1)	肩掛け式	m2	100	156.1	15,610			単-1号
除草処分		kg	50	21	1,050			単-2号
応急処理工		式	1		150,873			
応急処理作業工		式	1		150,873			
応急作業 昼間(8～17h)		式	1		150,873			内-1号
仮設工		式	1		18,000			
交通管理工		式	1		18,000			
交通誘導警備員 (1)	昼間･A	人日	1	18,000	18,000			単-3号
直接工事費		式	1		185,533			

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事 （当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
共通仮設費		式	1		72,000			
共通仮設費		式	1		10,000			
現場環境改善費（率計上）		式	1		10,000			
共通仮設費（率計上）		式	1		62,000			
純工事費		式	1		257,533			
現場管理費		式	1		186,000			
工事原価		式	1		443,533			

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
道路維持 国道17号綾戸ﾊﾞｲﾊﾟｽ		式	1		4,443,924			
防護柵工		式	1		172,400			
防止柵工		式	1		172,400			
立入防止柵(木杭)	柵高1.1m 設置	m	100	1,724	172,400			単-1号
除草工		式	1		2,398,500			
道路除草工		式	1		2,398,500			
道路除草(複合) (1)	肩掛け式	m2	15,000	151.5	2,272,500			単-2号
除草処分		kg	7,000	18	126,000			単-3号
応急処理工		式	1		1,651,024			
応急処理作業工		式	1		1,651,024			
応急作業 昼間(8～17h)		式	1		1,651,024			内-1号
仮設工		式	1		222,000			

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事 （当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
交通管理工		式	1		222,000			
交通誘導警備員 (1)	昼間･A	人日	3	18,000	54,000			単-4号
交通誘導警備員 (2)	昼間･B	人日	10	16,800	168,000			単-5号
直接工事費		式	1		4,443,924			
共通仮設費		式	1		864,000			
共通仮設費		式	1		63,000			
現場環境改善費（率計上）		式	1		63,000			
共通仮設費（率計上）		式	1		801,000			
純工事費		式	1		5,307,924			
現場管理費		式	1		2,739,000			
工事原価		式	1		8,046,924			

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事 （当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
道路維持 国道18号高崎安中拡幅		式	1		484,503			
除草工		式	1		69,360			
道路除草工		式	1		69,360			
道路除草(複合) (1)	肩掛け式	m2	400	162.9	65,160			単-1号
除草処分		kg	200	21	4,200			単-2号
応急処理工		式	1		151,143			
応急処理作業工		式	1		151,143			
応急作業 昼間(8～17h)		式	1		151,143			内-1号
仮設工		式	1		264,000			
交通管理工		式	1		264,000			
交通誘導警備員 (1)	昼間･A	人日	10	18,000	180,000			単-3号
交通誘導警備員 (2)	昼間･B	人日	5	16,800	84,000			単-4号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
直接工事費		式	1		484,503			
共通仮設費		式	1		126,000			
共通仮設費		式	1		11,000			
現場環境改善費（率計上）		式	1		11,000			
共通仮設費（率計上）		式	1		115,000			
純工事費		式	1		610,503			
現場管理費		式	1		368,000			
工事原価		式	1		978,503			

一式当たり内訳書

応急作業
第　1号内訳書　　昼間(8～17h)

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
【労務費】								
普通作業員		人	100	25,300	2,530,000			
特殊作業員		人	10	27,100	271,000			
【機械運転】								
ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	乗車定員５名　排気量１．５Ｌ	時間	36	6,958	250,488			
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	通称２ｔ積級	時間	12	6,084	73,008			
バックホウ（クローラ型）［標準型］	排出ガス対策型（第２次）バケット容量０．２８ｍ３	時間	8	7,595	60,760			
トラック［クレーン装置付］	通称２ｔ積級　吊能力２．０ｔ	時間	4	7,507	30,028			
発動発電機［ガソリンエンジン駆動］	２ｋＶＡ	日	4	394	1,576			
【資材】								
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	ｍ３	24	2,000	48,000			
常温合材	袋物	ｔ	1	31,500	31,500			

一式当たり内訳書

応急作業
第　1号内訳書　　昼間(8～17h)

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
土のう	62×48cm(普通)	袋	24	17	408			
合　計					3,296,768			

［高崎河川国道事務所管内　］

一式当たり内訳書

道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用

第　2号内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
技術員		人	1.75	36,700	64,225			
合　計					64,225			

一式当たり内訳書

応急作業
第　1号内訳書　　昼間(8～17h)

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
【労務費】								
普通作業員		人	1	25,300	25,300			
特殊作業員		人	1	27,100	27,100			
【機械運転】								
ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	乗車定員５名　排気量１．５Ｌ	時間	5	6,958	34,790			
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	通称２ｔ積級	時間	5	6,084	30,420			
バックホウ（クローラ型）［標準型］	排出ガス対策型（第２次）バケット容量０．２８ｍ３	時間	1	7,595	7,595			
トラック［クレーン装置付］	通称２ｔ積級　吊能力２．０ｔ	時間	1	7,507	7,507			
発動発電機［ガソリンエンジン駆動］	２ｋＶＡ	日	1	394	394			
【資材】								
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	ｍ３	1	1,950	1,950			
常温合材	袋物	ｔ	0.5	31,500	15,750			

一式当たり内訳書

応急作業
第　1号内訳書　　昼間(8～17h)

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
土のう	62×48cm(普通)	袋	1	17	17			
合　計					150,823			

一式当たり内訳書

応急作業
第　1号内訳書　　昼間(8～17h)

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
【労務費】								
普通作業員		人	1	25,300	25,300			
特殊作業員		人	1	27,100	27,100			
【機械運転】								
ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	乗車定員５名　排気量１．５Ｌ	時間	5	6,958	34,790			
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	通称２ｔ積級	時間	5	6,084	30,420			
バックホウ（クローラ型）［標準型］	排出ガス対策型（第２次）バケット容量０．２８ｍ３	時間	1	7,595	7,595			
トラック［クレーン装置付］	通称２ｔ積級　吊能力２．０ｔ	時間	1	7,507	7,507			
発動発電機［ガソリンエンジン駆動］	２ｋＶＡ	日	1	394	394			
【資材】								
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	ｍ３	1	2,000	2,000			
常温合材	袋物	ｔ	0.5	31,500	15,750			

一式当たり内訳書

応急作業
第　1号内訳書　　昼間(8～17h)

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
土のう	62×48cm(普通)	袋	1	17	17			
合　計					150,873			

一式当たり内訳書

応急作業
第　1号内訳書　　昼間(8～17h)

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
【労務費】								
普通作業員		人	50	25,300	1,265,000			
特殊作業員		人	5	27,100	135,500			
【機械運転】								
ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	乗車定員５名　排気量１．５Ｌ	時間	18	6,958	125,244			
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	通称２ｔ積級	時間	6	6,084	36,504			
バックホウ（クローラ型）［標準型］	排出ガス対策型（第２次）バケット容量０．２８ｍ３	時間	4	7,595	30,380			
トラック［クレーン装置付］	通称２ｔ積級　吊能力２．０ｔ	時間	2	7,507	15,014			
発動発電機［ガソリンエンジン駆動］	２ｋＶＡ	日	2	394	788			
【資材】								
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	ｍ３	12	2,220	26,640			
常温合材	袋物	ｔ	0.5	31,500	15,750			

一式当たり内訳書

応急作業
第　1号内訳書　　昼間(8～17h)

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
土のう	62×48cm(普通)	袋	12	17	204			
合　計					1,651,024			

一式当たり内訳書

応急作業
第　1号内訳書　　昼間(8～17h)

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
【労務費】								
普通作業員		人	1	25,300	25,300			
特殊作業員		人	1	27,100	27,100			
【機械運転】								
ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	乗車定員５名　排気量１．５Ｌ	時間	5	6,958	34,790			
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	通称２ｔ積級	時間	5	6,084	30,420			
バックホウ（クローラ型）［標準型］	排出ガス対策型（第２次）バケット容量０．２８ｍ３	時間	1	7,595	7,595			
トラック［クレーン装置付］	通称２ｔ積級　吊能力２．０ｔ	時間	1	7,507	7,507			
発動発電機［ガソリンエンジン駆動］	２ｋＶＡ	日	1	394	394			
【資材】								
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	ｍ３	1	2,270	2,270			
常温合材	袋物	ｔ	0.5	31,500	15,750			

一式当たり内訳書

応急作業
第　1号内訳書　　昼間(8～17h)

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
土のう	62×48cm(普通)	袋	1	17	17			
合　計					151,143			

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－1号	床掘り	土砂	単位	m3	数量	1	単価	2,275

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 上記以外(小規模) 全ての費用	ｍ３	1	2,275	2,275	
計					2,275	
単価					2,275	円／m3

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－2号	埋戻し	土砂	単位	m3	数量	1	単価	4,056

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	上記以外(小規模) 土砂 全ての費用	ｍ３	1	4,056	4,056	
計					4,056	
単価					4,056	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－3号	土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	1,401

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	小規模 ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.28m3 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 無し 2.5km以下	ｍ３	1	1,401	1,401	
計					1,401	
単価					1,401	円／m3

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－4号	整地	残土受入れ地での処理	単位	m3	数量	1	単価	128.9

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
整地	残土受入れ地での処理	ｍ３	1	128.9	128.9	
計					128.9	
単価					128.9	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－5号	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝 (1)	PU1-B300×H300	単位	m	数量	1	単価	10,410

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	据付け 無し 無し 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄU型 JIS A 5372 300B 300×300×600 無し 無し 有り 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0	m	1	10,410	10,410	
計					10,410	
単価					10,410	円／m

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－6号	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝 (2)	PU3-B300×H300	単位	m	数量	1	単価	12,640

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	据付け 無し 無し 道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 3種 JIS A 5372 300A 300×300×2000 無し 無し 有り	m	1	12,640	12,640	
計					12,640	
単価					12,640	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－7号	側溝蓋 (1)	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋 300用 T-25 41.2×9.5×50	単位	枚	数量	1	単価	3,164

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 3種 JIS A 5372 300 41.2×9.5×50 無し 無し	枚	1	3,164	3,164	
計					3,164	
単価					3,164	円／枚

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－8号	側溝蓋 (2)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 300用 T-25 995×410×95 細目	単位	枚	数量	1	単価	24,330

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	24,330	24,330	
計					24,330	
単価					24,330	円／枚

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－9号	現場打ち集水桝 (1)	500×500×500(歩)	単位	箇所	数量	1	単価	43,410

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	各種 0.20m3以上0.22m3以下 人力打設 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1	43,410	43,410	
計					43,410	
単価					43,410	円／箇所

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－10号	現場打ち集水桝 (2)	500×500×600(歩)	単位	箇所	数量	1	単価	47,980

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	各種 0.24m3を超え0.26m3以下 人力打設 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1	47,980	47,980	
計					47,980	
単価					47,980	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－11号	現場打ち集水桝 (3)	600×600×600(車)	単位	箇所	数量	1	単価	54,830

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	各種 0.30m3を超え0.32m3以下 人力打設 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1	54,830	54,830	
計					54,830	
単価					54,830	円／箇所

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－12号	現場打ち集水桝 (4)	700×700×600(車)	単位	箇所	数量	1	単価	63,960

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	各種 0.38m3を超え0.40m3以下 人力打設 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1	63,960	63,960	
計					63,960	
単価					63,960	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－13号	現場打ち集水桝 (5)	700×700×600(歩)	単位	箇所	数量	1	単価	63,960

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	各種 0.38m3を超え0.40m3以下 人力打設 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1	63,960	63,960	
計					63,960	
単価					63,960	円／箇所

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－14号	現場打ち集水桝 (6)	900×900×1700(歩)	単位	箇所	数量	1	単価	216,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	18-8-40(高炉) 1.52m3を超え1.61m3以下 人力打設 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1	204,700	204,700	
足掛金具(材料費)	W=300	本	4	2,970	11,880	
計					216,580	
単価					216,600	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－15号	現場打ち集水桝 (7)	900×900×1900(歩)	単位	箇所	数量	1	単価	241,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	18-8-40(高炉) 1.70m3を超え1.80m3以下 人力打設 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1	226,400	226,400	
足掛金具(材料費)	W=300	本	5	2,970	14,850	
計					241,250	
単価					241,300	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－16号	現場打ち集水桝 (8)	1200×1200×1700(歩)	単位	箇所	数量	1	単価	682,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	18-8-40(高炉) 1.90m3を超え2.00m3以下 人力打設 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1	249,800	249,800	
スクリーン設置	W=36.5kg/組	組	1	17,790	17,790	
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	30mm以上200mm未満	孔	4	672.4	2,689.6	
足掛金具(材料費)	W=300	本	4	2,970	11,880	
スクリーン(材料費)	部材一式含む　W=36.5kg/組	組	1	400,000	400,000	
計					682,159.6	
単価					682,200	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－17号	現場打ち集水桝 (9)	1500×1500×1600(歩)	単位	箇所	数量	1	単価	316,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	18-8-40(高炉) 2.35m3を超え2.48m3以下 人力打設 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1	304,300	304,300	
足掛金具(材料費)	W=300	本	4	2,970	11,880	
計					316,180	
単価					316,200	円／箇所

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－18号	現場打ち集水桝 (10)	1500×1500×2000(車)	単位	箇所	数量	1	単価	387,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	18-8-40(高炉) 2.92m3を超え3.08m3以下 人力打設 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1	372,800	372,800	
足掛金具(材料費)	W=300	本	5	2,970	14,850	
計					387,650	
単価					387,700	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－19号	現場打ち集水桝 (11)	1000×500×1000×1000(歩)	単位	箇所	数量	1	単価	218,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	18-8-40(高炉) 1.52m3を超え1.61m3以下 人力打設 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1	204,700	204,700	
角落し(材料費)	杉板　1000×300×30	枚	3	3,000	9,000	
角落し(材料費)	杉板　500×300×30	枚	3	1,500	4,500	
計					218,200	
単価					218,200	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－20号	蓋 (1)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 500×500用 T-2 落込式(鎖付)細目	単位	枚	数量	1	単価	19,620

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40kg/枚以下 無し 無し	枚	1	19,620	19,620	
計					19,620	
単価					19,620	円／枚

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－21号	蓋 (2)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 600×600用 T-25 ﾎﾞﾙﾄ固定式 細目	単位	枚	数量	1	単価	64,030

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	64,030	64,030	
計					64,030	
単価					64,030	円／枚

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－22号	蓋 (3)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 700×700用 T-25 ﾎﾞﾙﾄ固定式 細目	単位	枚	数量	1	単価	81,930

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	81,930	81,930	
計					81,930	
単価					81,930	円／枚

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－23号	蓋 (4)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 700×700用 T-2 落込式(鎖付)細目	単位	枚	数量	1	単価	38,230

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	38,230	38,230	
計					38,230	
単価					38,230	円／枚

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－24号	蓋 (5)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 900×900用 T-2 落込式(鎖付)細目	単位	枚	数量	1	単価	58,430

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	58,430	58,430	
計					58,430	
単価					58,430	円／枚

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－25号	蓋 (6)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1200×1200用 T-2 落込式(鎖付)細目	単位	枚	数量	2	単価	102,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	2	1,024	2,048	
桝蓋(材料費)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1200×1200用 T-2 落込式(鎖付)細目	組	1	203,000	203,000	
計					205,048	
単価					102,600	円／枚

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－26号	蓋 (7)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1500×1500用 T-2 落込式(鎖付)細目	単位	枚	数量	2	単価	151,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版設置工	夜間作業なし170を超え300kg/枚以下　時間制約無し	枚	2	1,288	2,576	
桝蓋(材料費)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1500×1500用 T-2 落込式(鎖付)細目	組	1	300,000	300,000	
計					302,576	
単価					151,300	円／枚

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－27号	蓋 (8)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1500×1500用 T-25 ﾎﾞﾙﾄ固定式 細目	単位	枚	数量	2	単価	129,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版設置工	夜間作業なし170を超え300kg/枚以下　時間制約無し	枚	2	1,288	2,576	
桝蓋(材料費)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1500×1500用 T-25 ﾎﾞﾙﾄ固定式 細目	組	1	256,000	256,000	
計					258,576	
単価					129,300	円／枚

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－28号	蓋 (9)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 500×1000用 T-2 落込式(鎖付)細目	単位	枚	数量	1	単価	62,830

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	62,830	62,830	
計					62,830	
単価					62,830	円／枚

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－29号	蓋 (10)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1000×1000用 T-2 落込式(鎖付)細目	単位	枚	数量	1	単価	81,630

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	81,630	81,630	
計					81,630	
単価					81,630	円／枚

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－30号	立入防止柵(木杭)	柵高1.1m 設置	単位	m	数量	1	単価	1,724

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
立入防止柵設置（材工共）	柵高 1.1m	m	1	1,724	1,724	
計					1,724	
単価					1,724	円／m

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－31号	防草ｼｰﾄ	t=2mm 目付量310g/m2以上	単位	m2	数量	1	単価	1,962

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
防草シート設置	無し 露出 固定ピンのみによる設置 法面部(1：2.0以下) 有り 1.2m2	m２	1	1,962	1,962	
計					1,962	
単価					1,962	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－32号	床掘り	土砂	単位	m3	数量	1	単価	2,275

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 上記以外(小規模) 全ての費用	ｍ３	1	2,275	2,275	
計					2,275	
単価					2,275	円／m3

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－33号	埋戻し	土砂	単位	m3	数量	1	単価	4,056

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	上記以外(小規模) 土砂 全ての費用	ｍ３	1	4,056	4,056	
計					4,056	
単価					4,056	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－34号	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	内幅 0.3m 内高 0.3m	単位	m	数量	1	単価	32,720

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ボックスカルバート	据付 2.0m/個 0＜B≦1.25 0＜H≦1.25 基礎砕石+均しｺﾝｸﾘｰﾄ 無し 標準	m	1	18,220	18,220	
ボックスカルバート（材料費）	各種	m	1	14,500	14,500	
計					32,720	
単価					32,720	円／m

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－35号	道路除草(複合) (1)	肩掛け式	単位	m2	数量	1	単価	151.5

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械除草（肩掛式）・集草・積込運搬	有り ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ(ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ・通称2t積級) 14.5km以下 全ての費用	m２	1	151.5	151.5	
計					151.5	
単価					151.5	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－36号	道路除草(複合) (2)	ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式	単位	m2	数量	1	単価	83.24

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械除草（ハンドガイド式）・集草・積込運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ(ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･通称2t積級) 14.5km以下 全ての費用	ｍ２	1	83.24	83.24	
計					83.24	
単価					83.24	円／m2

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－37号	除草処分		単位	kg	数量	1,000	単価	21

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｔ）		t	1	21,000	21,000	
計					21,000	
単価					21	円／kg

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－38号	交通誘導警備員 (1)	昼間･A	単位	人日	数量	1	単価	18,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	1	18,000	18,000	
計					18,000	
単価					18,000	円／人日

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－39号	交通誘導警備員 (2)	昼間･B	単位	人日	数量	1	単価	16,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人日	1	16,800	16,800	
計					16,800	
単価					16,800	円／人日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	U型側溝	据付け 無し 無し 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄU型 JIS A 5372 300B 300×300×600 無し 無し 有り 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0	単位	m	数量	10	単価	10,410

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	Ｌ６００　３００ｋｇ以下　昼　無	m	10	7,035	70,350	
鉄筋コンクリートU形	３００Ｂ　３００×３００×６００	個	16.5	1,970	32,505	
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	ｍ３	0.6	2,000	1,200	
諸雑費（まるめ）		式	1		45	
計					104,100	
単価					10,410	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	U型側溝	据付け 無し 無し 道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 3種 JIS A 5372 300A 300×300×2000 無し 無し 有り	単位	m	数量	10	単価	12,640

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	Ｌ２０００　１０００ｋｇ以下　昼　無	m	10	4,447	44,470	
道路用鉄筋コンクリート側溝	３種　３００Ａ　３００×３００×２０００	個	5	16,100	80,500	
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	ｍ３	0.672	2,000	1,344	
諸雑費（まるめ）		式	1		86	
計					126,400	
単価					12,640	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版	据付け 無し 道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 3種 JIS A 5372 300 41.2×9.5×50 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	3,164

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製	１７０ｋｇ以下　昼　無	枚	100	1,024	102,400	
道路用側溝蓋	３種　３００　４１．２×９．５×５０	枚	100	2,140	214,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					316,400	
単価					3,164	円／枚

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	24,330

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製	１７０ｋｇ以下　昼　無	枚	100	1,024	102,400	
側溝蓋	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 300用 T-25 995×410×95 細目	枚	100	23,300	2,330,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		600	
計					2,433,000	
単価					24,330	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	足掛金具(材料費)	W=300	単位	本	数量	1	単価	2,970

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（本）		本	1	2,970	2,970	
計					2,970	
単価					2,970	円／本

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	足掛金具(材料費)	W=300	単位	本	数量	1	単価	2,970

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（本）		本	1	2,970	2,970	
計					2,970	
単価					2,970	円／本

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	スクリーン設置	W=36.5kg/組	単位	組	数量	1	単価	17,790

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.3	32,300	9,690	
普通作業員		人	0.3	25,300	7,590	
諸雑費（率＋まるめ） 3%		式	1		510	
計					17,790	
単価					17,790	円／組

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	スクリーン(材料費)	部材一式含む　W=36.5kg/組	単位	組	数量	1	単価	400,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（組）		組	1	400,000	400,000	
計					400,000	
単価					400,000	円／組

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	角落し(材料費)	杉板　1000×300×30	単位	枚	数量	1	単価	3,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（枚）		枚	1	3,000	3,000	
計					3,000	
単価					3,000	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	角落し(材料費)	杉板　500×300×30	単位	枚	数量	1	単価	1,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（枚）		枚	1	1,500	1,500	
計					1,500	
単価					1,500	円／枚

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	19,620

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製	４０ｋｇ以下　昼　無	枚	100	415	41,500	
桝蓋(グレーチング蓋)	500×500用　T-2　落込式(鎖付)細目	枚	100	19,200	1,920,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		500	
計					1,962,000	
単価					19,620	円／枚

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	64,030

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製	１７０ｋｇ以下　昼　無	枚	100	1,024	102,400	
桝蓋(グレーチング蓋)	600×600用　T-25　ボルト固定式　細目	枚	100	63,000	6,300,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		600	
計					6,403,000	
単価					64,030	円／枚

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	81,930

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製	１７０ｋｇ以下　昼　無	枚	100	1,024	102,400	
桝蓋(グレーチング蓋)	700×700用　T-25　ボルト固定式　細目	枚	100	80,900	8,090,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		600	
計					8,193,000	
単価					81,930	円／枚

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	38,230

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製	１７０ｋｇ以下　昼　無	枚	100	1,024	102,400	
桝蓋(グレーチング蓋)	700×700用　T-2　落込式(鎖付)細目	枚	100	37,200	3,720,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		600	
計					3,823,000	
単価					38,230	円／枚

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	58,430

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製	１７０ｋｇ以下　昼　無	枚	100	1,024	102,400	
桝蓋(グレーチング蓋)	900×900用　T-2　落込式(鎖付)細目	枚	100	57,400	5,740,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		600	
計					5,843,000	
単価					58,430	円／枚

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	1,024

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製	１７０ｋｇ以下　昼　無	枚	100	1,024	102,400	
桝蓋(グレーチング蓋)	材料費別途計上	枚	100	0	0	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					102,400	
単価					1,024	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	桝蓋(材料費)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1200×1200用 T-2 落込式(鎖付)細目	単位	組	数量	1	単価	203,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（組）		組	1	203,000	203,000	
計					203,000	
単価					203,000	円／組

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版設置工	夜間作業なし170を超え300kg/枚以下　時間制約無し	単位	枚	数量	10	単価	1,288

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.06	32,300	1,938	
特殊作業員		人	0.24	27,100	6,504	
普通作業員		人	0.12	25,300	3,036	
バックホウ（クローラ）［標準・クレーン機能付き］	バケット容量０．２８ｍ３　吊能力１．７ｔ吊	日	0.12	5,960	715	
諸雑費（率＋まるめ） 6%		式	1		687	
計					12,880	
単価					1,288	円／枚

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	桝蓋(材料費)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1500×1500用 T-2 落込式(鎖付)細目	単位	組	数量	1	単価	300,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（組）		組	1	300,000	300,000	
計					300,000	
単価					300,000	円／組

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	桝蓋(材料費)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1500×1500用 T-25 ﾎﾞﾙﾄ固定式 細目	単位	組	数量	1	単価	256,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（組）		組	1	256,000	256,000	
計					256,000	
単価					256,000	円／組

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	62,830

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製	１７０ｋｇ以下　昼　無	枚	100	1,024	102,400	
桝蓋(グレーチング蓋)	500×1000用　T-2　落込式(鎖付)細目	枚	100	61,800	6,180,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		600	
計					6,283,000	
単価					62,830	円／枚

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	81,630

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製	１７０ｋｇ以下　昼　無	枚	100	1,024	102,400	
桝蓋(グレーチング蓋)	1000×1000用　T-2　落込式(鎖付)細目	枚	100	80,600	8,060,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		600	
計					8,163,000	
単価					81,630	円／枚

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	立入防止柵設置（材工共）	柵高 1.1m	単位	m	数量	100	単価	1,724

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人	5	25,300	126,500	
木杭(材料費)	末口9cm　L=1.8m	本	50	760	38,000	
鉄線(材料費)	亜鉛ﾒｯｷ　#8	m	300	26.15	7,845	
諸雑費（まるめ）		式	1		55	
計					172,400	
単価					1,724	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	防草シート設置	無し 露出 固定ピンのみによる設置 法面部(1：2.0以下) 有り 1.2m2	単位	ｍ２	数量	1	単価	1,962

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
防草シート設置（露出）	時間制約無 現場条件1 法面部(1：2.0以下)	ｍ２	1	972	972	
防草シート	チガヤシート	ｍ２	1.2	825	990	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,962	
単価					1,962	円／ｍ２

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	処分費（t）		単位	t	数量	100	単価	21,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費	雑草(大草)	t	100	21,000	2,100,000	
計					2,100,000	
単価					21,000	円／t

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	乗車定員５名　排気量１．５Ｌ	単位	時間	数量	1	単価	6,958

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人	0.25	23,300	5,825	
ガソリン	レギュラー	L	2.7	154	415	
ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	乗車定員５名　排気量１．５Ｌ	時間	1	718	718	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,958	
単価					6,958	円／時間

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	通称２ｔ積級	単位	時間	数量	1	単価	6,084

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人	0.17	23,300	3,961	
軽油		L	3.5	153	535	
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	通称２ｔ積級	時間	1	1,520	1,520	
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	タイヤ	時間	1	68	68	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,084	
単価					6,084	円／時間

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	バックホウ（クローラ型）［標準型］	排出ガス対策型（第２次）バケット容量０．２８ｍ３	単位	時間	数量	1	単価	7,595

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	0.17	27,900	4,743	
軽油		L	5.9	153	902	
バックホウ（クローラ型）［標準型］	排出ガス対策型（第２次）バケット容量０．２８ｍ３	時間	1	1,950	1,950	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					7,595	
単価					7,595	円／時間

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	トラック［クレーン装置付］	通称２ｔ積級　吊能力２．０ｔ	単位	時間	数量	1	単価	7,507

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	0.19	27,900	5,301	
軽油		L	3.9	153	596	
トラック［クレーン装置付］	通称２ｔ積級　吊能力２．０ｔ	時間	1	1,610	1,610	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					7,507	
単価					7,507	円／時間

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	発動発電機［ガソリンエンジン駆動］	２ｋＶＡ	単位	日	数量	1	単価	394

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガソリン	レギュラー	L	0	154	0	
発動発電機［ガソリンエンジン駆動］	２ｋＶＡ	日	1	394	394	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					394	
単価					394	円／日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	常温合材	袋物	単位	t	数量	1	単価	31,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（ｔ）		t	1	31,500	31,500	
計					31,500	
単価					31,500	円／ｔ

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	交通誘導警備員Ａ		単位	人日	数量	1	単価	18,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人	1	18,000	18,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					18,000	
単価					18,000	円／人日

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	交通誘導警備員Ｂ		単位	人日	数量	1	単価	16,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人	1	16,800	16,800	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					16,800	
単価					16,800	円／人日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（本）		単位	本	数量	1	単価	2,970

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
足掛金具	W=300	本	1	2,970	2,970	
計					2,970	
単価					2,970	円／本

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（組）		単位	組	数量	1	単価	400,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
スクリーン	部材一式含む　W=36.5kg/組	組	1	400,000	400,000	
計					400,000	
単価					400,000	円／組

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（枚）		単位	枚	数量	1	単価	3,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
角落し	杉板　1000×300×30	枚	1	3,000	3,000	
計					3,000	
単価					3,000	円／枚

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（枚）		単位	枚	数量	1	単価	1,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
角落し	杉板　500×300×30	枚	1	1,500	1,500	
計					1,500	
単価					1,500	円／枚

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（組）		単位	組	数量	1	単価	203,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
桝蓋	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1200×1200用 T-2 落込式(鎖付)細目	組	1	203,000	203,000	
計					203,000	
単価					203,000	円／組

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（組）		単位	組	数量	1	単価	300,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
桝蓋	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1500×1500用 T-2 落込式(鎖付)細目	組	1	300,000	300,000	
計					300,000	
単価					300,000	円／組

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（組）		単位	組	数量	1	単価	256,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
桝蓋	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1500×1500用 T-25 ﾎﾞﾙﾄ固定式 細目	組	1	256,000	256,000	
計					256,000	
単価					256,000	円／組

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	木杭(材料費)	末口9cm　L=1.8m	単位	本	数量	1	単価	760

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（本）		本	1	760	760	
計					760	
単価					760	円／本

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鉄線(材料費)	亜鉛ﾒｯｷ　#8	単位	m	数量	1,000	単価	26.15

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（ｋｇ）		ｋｇ	98.7	265	26,155	
計					26,155	
単価					26.15	円／m

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（ｔ）		単位	t	数量	1	単価	31,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
常温合材	袋物	t	1	31,500	31,500	
計					31,500	
単価					31,500	円／ｔ

参考資料（３）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（本）		単位	本	数量	1	単価	760

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
木杭	末口9cm　L=1.8m	本	1	760	760	
計					760	
単価					760	円／本

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（ｋｇ）		単位	ｋｇ	数量	1	単価	265

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄線	亜鉛メッキ　#8	ｋｇ	1	265	265	
計					265	
単価					265	円／ｋｇ

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－1号	道路除草(複合) (1)	肩掛け式	単位	m2	数量	1	単価	151.5

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械除草（肩掛式）・集草・積込運搬	有り ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ(ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･通称2t積級) 14.5km以下 全ての費用	ｍ２	1	151.5	151.5	
計					151.5	
単価					151.5	円／m2

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－2号	除草処分		単位	kg	数量	1,000	単価	21

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｔ）		t	1	21,000	21,000	
計					21,000	
単価					21	円／kg

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－3号	交通誘導警備員 (1)	昼間･A	単位	人日	数量	1	単価	18,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	1	18,000	18,000	
計					18,000	
単価					18,000	円／人日

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－4号	交通誘導警備員 (2)	昼間･B	単位	人日	数量	1	単価	16,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人日	1	16,800	16,800	
計					16,800	
単価					16,800	円／人日

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	処分費（t）		単位	t	数量	100	単価	21,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費	雑草(大草)	t	100	21,000	2,100,000	
計					2,100,000	
単価					21,000	円／t

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	乗車定員５名　排気量１．５Ｌ	単位	時間	数量	1	単価	6,958

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人	0.25	23,300	5,825	
ガソリン	レギュラー	L	2.7	154	415	
ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	乗車定員５名　排気量１．５Ｌ	時間	1	718	718	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,958	
単価					6,958	円／時間

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	通称２ｔ積級	単位	時間	数量	1	単価	6,084

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人	0.17	23,300	3,961	
軽油		L	3.5	153	535	
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	通称２ｔ積級	時間	1	1,520	1,520	
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	タイヤ	時間	1	68	68	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,084	
単価					6,084	円／時間

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	バックホウ（クローラ型）［標準型］	排出ガス対策型（第２次）バケット容量０．２８ｍ３	単位	時間	数量	1	単価	7,595

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	0.17	27,900	4,743	
軽油		L	5.9	153	902	
バックホウ（クローラ型）［標準型］	排出ガス対策型（第２次）バケット容量０．２８ｍ３	時間	1	1,950	1,950	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					7,595	
単価					7,595	円／時間

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	トラック［クレーン装置付］	通称２ｔ積級　吊能力２．０ｔ	単位	時間	数量	1	単価	7,507

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	0.19	27,900	5,301	
軽油		L	3.9	153	596	
トラック［クレーン装置付］	通称２ｔ積級　吊能力２．０ｔ	時間	1	1,610	1,610	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					7,507	
単価					7,507	円／時間

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	発動発電機［ガソリンエンジン駆動］	２ｋＶＡ	単位	日	数量	1	単価	394

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガソリン	レギュラー	L	0	154	0	
発動発電機［ガソリンエンジン駆動］	２ｋＶＡ	日	1	394	394	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					394	
単価					394	円／日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	常温合材	袋物	単位	t	数量	1	単価	31,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（ｔ）		t	1	31,500	31,500	
計					31,500	
単価					31,500	円／ｔ

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	交通誘導警備員Ａ		単位	人日	数量	1	単価	18,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人	1	18,000	18,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					18,000	
単価					18,000	円／人日

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	交通誘導警備員Ｂ		単位	人日	数量	1	単価	16,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人	1	16,800	16,800	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					16,800	
単価					16,800	円／人日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（ｔ）		単位	ｔ	数量	1	単価	31,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
常温合材	袋物	ｔ	1	31,500	31,500	
計					31,500	
単価					31,500	円／ｔ

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－1号	道路除草(複合) (1)	肩掛け式	単位	m2	数量	1	単価	156.1

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械除草（肩掛式）・集草・積込運搬	有り ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ(ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･通称2t積級) 23.5km以下 全ての費用	ｍ２	1	156.1	156.1	
計					156.1	
単価					156.1	円／m2

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－2号	除草処分		単位	kg	数量	1,000	単価	21

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｔ）		t	1	21,000	21,000	
計					21,000	
単価					21	円／kg

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－3号	交通誘導警備員 (1)	昼間･A	単位	人日	数量	1	単価	18,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	1	18,000	18,000	
計					18,000	
単価					18,000	円／人日

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	処分費（t）		単位	t	数量	100	単価	21,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費	雑草(大草)	t	100	21,000	2,100,000	
計					2,100,000	
単価					21,000	円／t

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	乗車定員５名　排気量１．５Ｌ	単位	時間	数量	1	単価	6,958

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人	0.25	23,300	5,825	
ガソリン	レギュラー	L	2.7	154	415	
ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	乗車定員５名　排気量１．５Ｌ	時間	1	718	718	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,958	
単価					6,958	円／時間

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	通称２ｔ積級	単位	時間	数量	1	単価	6,084

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人	0.17	23,300	3,961	
軽油		L	3.5	153	535	
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	通称２ｔ積級	時間	1	1,520	1,520	
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	タイヤ	時間	1	68	68	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,084	
単価					6,084	円／時間

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	バックホウ（クローラ型）［標準型］	排出ガス対策型（第２次）バケット容量０．２８ｍ３	単位	時間	数量	1	単価	7,595

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	0.17	27,900	4,743	
軽油		L	5.9	153	902	
バックホウ（クローラ型）［標準型］	排出ガス対策型（第２次）バケット容量０．２８ｍ３	時間	1	1,950	1,950	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					7,595	
単価					7,595	円／時間

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	トラック［クレーン装置付］	通称２ｔ積級　吊能力２．０ｔ	単位	時間	数量	1	単価	7,507

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	0.19	27,900	5,301	
軽油		L	3.9	153	596	
トラック［クレーン装置付］	通称２ｔ積級　吊能力２．０ｔ	時間	1	1,610	1,610	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					7,507	
単価					7,507	円／時間

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	発動発電機［ガソリンエンジン駆動］	２ｋＶＡ	単位	日	数量	1	単価	394

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガソリン	レギュラー	L	0	154	0	
発動発電機［ガソリンエンジン駆動］	２ｋＶＡ	日	1	394	394	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					394	
単価					394	円／日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	常温合材	袋物	単位	t	数量	1	単価	31,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（ｔ）		t	1	31,500	31,500	
計					31,500	
単価					31,500	円／ｔ

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	交通誘導警備員Ａ		単位	人日	数量	1	単価	18,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人	1	18,000	18,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					18,000	
単価					18,000	円／人日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（ｔ）		単位	ｔ	数量	1	単価	31,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
常温合材	袋物	ｔ	1	31,500	31,500	
計					31,500	
単価					31,500	円／ｔ

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－1号	立入防止柵(木杭)	柵高1.1m 設置	単位	m	数量	1	単価	1,724

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
立入防止柵設置（材工共）	柵高 1.1m	m	1	1,724	1,724	
計					1,724	
単価					1,724	円／m

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－2号	道路除草(複合) (1)	肩掛け式	単位	m2	数量	1	単価	151.5

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械除草（肩掛式）・集草・積込運搬	有り ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ(ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ・通称2t積級) 14.5km以下 全ての費用	m２	1	151.5	151.5	
計					151.5	
単価					151.5	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－3号	除草処分		単位	kg	数量	1,000	単価	18

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｔ）		t	1	18,000	18,000	
計					18,000	
単価					18	円／kg

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－4号	交通誘導警備員 (1)	昼間･A	単位	人日	数量	1	単価	18,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	1	18,000	18,000	
計					18,000	
単価					18,000	円／人日

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－5号	交通誘導警備員 (2)	昼間･B	単位	人日	数量	1	単価	16,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人日	1	16,800	16,800	
計					16,800	
単価					16,800	円／人日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	立入防止柵設置（材工共）	柵高 1.1m	単位	m	数量	100	単価	1,724

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人	5	25,300	126,500	
木杭(材料費)	末口9cm　L=1.8m	本	50	760	38,000	
鉄線(材料費)	亜鉛ﾒｯｷ　#8	m	300	26.15	7,845	
諸雑費（まるめ）		式	1		55	
計					172,400	
単価					1,724	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	処分費（t）		単位	t	数量	100	単価	18,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費	雑草(大草)	t	100	18,000	1,800,000	
計					1,800,000	
単価					18,000	円／t

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	乗車定員５名　排気量１．５Ｌ	単位	時間	数量	1	単価	6,958

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人	0.25	23,300	5,825	
ガソリン	レギュラー	L	2.7	154	415	
ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	乗車定員５名　排気量１．５Ｌ	時間	1	718	718	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,958	
単価					6,958	円／時間

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	通称２ｔ積級	単位	時間	数量	1	単価	6,084

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人	0.17	23,300	3,961	
軽油		L	3.5	153	535	
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	通称２ｔ積級	時間	1	1,520	1,520	
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	タイヤ	時間	1	68	68	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,084	
単価					6,084	円／時間

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	バックホウ（クローラ型）［標準型］	排出ガス対策型（第２次）バケット容量０．２８ｍ３	単位	時間	数量	1	単価	7,595

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	0.17	27,900	4,743	
軽油		L	5.9	153	902	
バックホウ（クローラ型）［標準型］	排出ガス対策型（第２次）バケット容量０．２８ｍ３	時間	1	1,950	1,950	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					7,595	
単価					7,595	円／時間

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	トラック［クレーン装置付］	通称２ｔ積級　吊能力２．０ｔ	単位	時間	数量	1	単価	7,507

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	0.19	27,900	5,301	
軽油		L	3.9	153	596	
トラック［クレーン装置付］	通称２ｔ積級　吊能力２．０ｔ	時間	1	1,610	1,610	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					7,507	
単価					7,507	円／時間

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	発動発電機［ガソリンエンジン駆動］	２ｋＶＡ	単位	日	数量	1	単価	394

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガソリン	レギュラー	L	0	154	0	
発動発電機［ガソリンエンジン駆動］	２ｋＶＡ	日	1	394	394	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					394	
単価					394	円／日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	常温合材	袋物	単位	t	数量	1	単価	31,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（ｔ）		t	1	31,500	31,500	
計					31,500	
単価					31,500	円／ｔ

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	交通誘導警備員Ａ		単位	人日	数量	1	単価	18,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人	1	18,000	18,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					18,000	
単価					18,000	円／人日

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	交通誘導警備員Ｂ		単位	人日	数量	1	単価	16,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人	1	16,800	16,800	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					16,800	
単価					16,800	円／人日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	木杭(材料費)	末口9cm　L=1.8m	単位	本	数量	1	単価	760

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（本）		本	1	760	760	
計					760	
単価					760	円／本

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鉄線(材料費)	亜鉛ﾒｯｷ　#8	単位	m	数量	1,000	単価	26.15

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（ｋｇ）		ｋｇ	98.7	265	26,155	
計					26,155	
単価					26.15	円／m

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（ｔ）		単位	ｔ	数量	1	単価	31,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
常温合材	袋物	ｔ	1	31,500	31,500	
計					31,500	
単価					31,500	円／ｔ

参考資料（３）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（本）		単位	本	数量	1	単価	760

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
木杭	末口9cm　L=1.8m	本	1	760	760	
計					760	
単価					760	円／本

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（ｋｇ）		単位	ｋｇ	数量	1	単価	265

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄線	亜鉛メッキ　#8	ｋｇ	1	265	265	
計					265	
単価					265	円／ｋｇ

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－1号	道路除草(複合) (1)	肩掛け式	単位	m2	数量	1	単価	162.9

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械除草（肩掛式）・集草・積込運搬	有り ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ(ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･通称2t積級) 32.0km以下 全ての費用	ｍ２	1	162.9	162.9	
計					162.9	
単価					162.9	円／m2

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－2号	除草処分		単位	kg	数量	1,000	単価	21

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｔ）		t	1	21,000	21,000	
計					21,000	
単価					21	円／kg

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－3号	交通誘導警備員 (1)	昼間･A	単位	人日	数量	1	単価	18,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	1	18,000	18,000	
計					18,000	
単価					18,000	円／人日

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－4号	交通誘導警備員 (2)	昼間･B	単位	人日	数量	1	単価	16,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人日	1	16,800	16,800	
計					16,800	
単価					16,800	円／人日

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	処分費（t）		単位	t	数量	100	単価	21,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費	雑草(大草)	t	100	21,000	2,100,000	
計					2,100,000	
単価					21,000	円／t

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	乗車定員５名　排気量１．５Ｌ	単位	時間	数量	1	単価	6,958

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人	0.25	23,300	5,825	
ガソリン	レギュラー	L	2.7	154	415	
ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	乗車定員５名　排気量１．５Ｌ	時間	1	718	718	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,958	
単価					6,958	円／時間

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	通称２ｔ積級	単位	時間	数量	1	単価	6,084

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人	0.17	23,300	3,961	
軽油		L	3.5	153	535	
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	通称２ｔ積級	時間	1	1,520	1,520	
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	タイヤ	時間	1	68	68	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,084	
単価					6,084	円／時間

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	バックホウ（クローラ型）［標準型］	排出ガス対策型（第２次）バケット容量０．２８ｍ３	単位	時間	数量	1	単価	7,595

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	0.17	27,900	4,743	
軽油		L	5.9	153	902	
バックホウ（クローラ型）［標準型］	排出ガス対策型（第２次）バケット容量０．２８ｍ３	時間	1	1,950	1,950	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					7,595	
単価					7,595	円／時間

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	トラック［クレーン装置付］	通称２ｔ積級　吊能力２．０ｔ	単位	時間	数量	1	単価	7,507

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	0.19	27,900	5,301	
軽油		L	3.9	153	596	
トラック［クレーン装置付］	通称２ｔ積級　吊能力２．０ｔ	時間	1	1,610	1,610	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					7,507	
単価					7,507	円／時間

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	発動発電機［ガソリンエンジン駆動］	２ｋＶＡ	単位	日	数量	1	単価	394

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガソリン	レギュラー	L	0	154	0	
発動発電機［ガソリンエンジン駆動］	２ｋＶＡ	日	1	394	394	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					394	
単価					394	円／日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	常温合材	袋物	単位	t	数量	1	単価	31,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（ｔ）		t	1	31,500	31,500	
計					31,500	
単価					31,500	円／ｔ

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	交通誘導警備員Ａ		単位	人日	数量	1	単価	18,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人	1	18,000	18,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					18,000	
単価					18,000	円／人日

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	交通誘導警備員Ｂ		単位	人日	数量	1	単価	16,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人	1	16,800	16,800	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					16,800	
単価					16,800	円／人日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（ｔ）		単位	ｔ	数量	1	単価	31,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
常温合材	袋物	ｔ	1	31,500	31,500	
計					31,500	
単価					31,500	円／ｔ

共通仮設費

主たる工種

単独（追加工事）： 道路維持工事　　合算工事： 0

対象工事費	71,496,179	直接工事費	71,496,179	準備費	0	事業損失	0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	1,813,350	現工事	0	合算工事	0

非対象額計（－）	0	
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）
管理費区分２，７	0	（工場原価）
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）
管理費区分９	0	（間接費非対象額）
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）
対象額　支　給　品（＋）	0	
無償貸付機械評価額（＋）	0	

共通仮設費対象額

単独（追加工事）	71,496,179	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く共通仮設費対象額	69,682,829		0		0

共通仮設費（率分）

率（補正前）	6.73 %		0 %
施工地域等補正	0 %	ICT施工補正	1
率（補正後）	6.73 %		
計上額	4,811,000		0

比較結果	当該追加工事	A			
	0	0		調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	69,682,829	直接工事費	71,496,179
非対象額計（－）	1,813,350		
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）	
管理費区分２，７	0	（工場原価）	
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）	
管理費区分９	0	（間接費非対象額）	
管理費区分Ｔ	1,813,350	（直接工事費に含まれる処分費等）	
対象額　支　給　品（＋）	0		
無償貸付機械評価額（＋）	0		
現場環境改善費対象額（Ｐｉ）			
単独（追加工事）	69,682,829	現工事	0
		合算工事	0

現場環境改善費					
率（補正前）	0.85 %		0 %		0 %
施工地域等補正	市街地以外				
率（補正後）	0.85 %				
計上額	592,000		0		0

比較結果	当該追加工事	A	調整工事計上額	0
	0	0		

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	64,225				
運搬費	0	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	0	役務費	0	技術管理費	64,225
営繕費	0	現場環境改善費	0		

共通仮設費計　5,467,225

共通仮設費

主たる工種

単独（追加工事）： 道路維持工事　　合算工事： 0

対象工事費	65,889,546	直接工事費	65,889,546	準備費	0	事業損失	0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	1,680,000	現工事	0	合算工事	0

非対象額計（－）	0	
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）
管理費区分２，７	0	（工場原価）
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）
管理費区分９	0	（間接費非対象額）
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額 ）
対象額　支　給　品（＋）	0	
無償貸付機械評価額（＋）	0	

共通仮設費対象額

単独（追加工事）	65,889,546	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く共通仮設費対象額	64,209,546		0		0

共通仮設費（率分）

率（補正前）	6.93 %		0 %
施工地域等補正	0 %	ICT施工補正	1
率（補正後）	6.93 %		
計上額	4,566,000		0

比較結果	当該追加工事	A		
	0	0	調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	64,209,546	直接工事費	65,889,546
非対象額計（－）	1,680,000		
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）	
管理費区分２，７	0	（工場原価）	
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）	
管理費区分９	0	（間接費非対象額）	
管理費区分Ｔ	1,680,000	（直接工事費に含まれる処分費等）	
対象額　支　給　品（＋）	0		
無償貸付機械評価額（＋）	0		
現場環境改善費対象額（Ｐｉ）			
単独（追加工事）	64,209,546	現工事	0
		合算工事	0

現場環境改善費					
率（補正前）	0.86 %		0 %		0 %
施工地域等補正	市街地以外				
率（補正後）	0.86 %				
計上額	552,000		0		0

比較結果	当該追加工事	A		調整工事計上額	0
	0	0			

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	64,225				
運搬費	0	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	0	役務費	0	技術管理費	64,225
営繕費	0	現場環境改善費	0		

共通仮設費計	5,182,225

共通仮設費

主たる工種

単独（追加工事）：道路維持工事　　合算工事：0

対象工事費	492,673	直接工事費	492,673	準備費	0	事業損失	0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	2,100	現工事	0	合算工事	0

非対象額計（－）	0	
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）
管理費区分２，７	0	（工場原価）
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）
管理費区分９	0	（間接費非対象額）
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）
対象額　支　給　品（＋）	0	
無償貸付機械評価額（＋）	0	

共通仮設費対象額

単独（追加工事）	492,673	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く共通仮設費対象額	490,573		0		0

共通仮設費（率分）

率（補正前）	23.94 %		0 %		
施工地域等補正	0 %	ICT施工補正	1		
率（補正後）	23.94 %				
計上額	117,000		0		0

比較結果	当該追加工事	A		
	0	0	調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	490,573	直接工事費	492,673
非対象額計（－）	2,100		
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）	
管理費区分２，７	0	（工場原価）	
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）	
管理費区分９	0	（間接費非対象額）	
管理費区分Ｔ	2,100	（直接工事費に含まれる処分費等）	
対象額　支　給　品（＋）	0		
無償貸付機械評価額（＋）	0		
現場環境改善費対象額（Ｐｉ）			
単独（追加工事）	490,573	現工事	0
		合算工事	0

現場環境改善費							
率（補正前）	2.3	%		0	%	0	%
施工地域等補正	市街地以外						
率（補正後）	2.3	%					
計上額	11,000			0		0	

比較結果	当該追加工事	Ａ	調整工事計上額	0
	0	0		

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	0				
運搬費	0	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	0	役務費	0	技術管理費	0
営繕費	0	現場環境改善費	0		

共通仮設費計	128,000

共通仮設費

主たる工種

単独（追加工事）：道路維持工事　　合算工事：0

対象工事費	185,533	直接工事費	185,533	準備費	0	事業損失	0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	1,050	現工事	0	合算工事	0

非対象額計（－）	0	
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）
管理費区分２，７	0	（工場原価）
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）
管理費区分９	0	（間接費非対象額）
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）
対象額　支　給　品（＋）	0	
無償貸付機械評価額（＋）	0	

共通仮設費対象額

単独（追加工事）	185,533	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く共通仮設費対象額	184,483		0		0

共通仮設費（率分）

率（補正前）	23.94 %		0 %		
施工地域等補正	1.4	ICT施工補正	1		
率（補正後）	33.52 %				
計上額	62,000		0		0

比較結果	当該追加工事	A		
	0	0	調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	184,483	直接工事費	185,533		
非対象額計（－）	1,050				
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）			
管理費区分２，７	0	（工場原価）			
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分９	0	（間接費非対象額）			
管理費区分Ｔ	1,050	（直接工事費に含まれる処分費等）			
対象額　支　給　品（＋）	0				
無償貸付機械評価額（＋）	0				
現場環境改善費対象額（Ｐｉ）					
単独（追加工事）	184,483	現工事	0	合算工事	0
現場環境改善費					
率（補正前）	5.5　%		0　%		0　%
施工地域等補正	市街地				
率（補正後）	5.5　%				
計上額	10,000		0		0
比較結果	当該追加工事	Ａ		調整工事計上額	0
	0	0			

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	0				
運搬費	0	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	0	役務費	0	技術管理費	0
営繕費	0	現場環境改善費	0		

共通仮設費計	72,000

共通仮設費

主たる工種

単独（追加工事）： 道路維持工事　　合算工事： 0

対象工事費	4,443,924	直接工事費	4,443,924	準備費	0	事業損失	0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	126,000	現工事	0	合算工事	0

非対象額計（－）	0	
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）
管理費区分２，７	0	（工場原価）
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）
管理費区分９	0	（間接費非対象額）
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額 ）
対象額　支　給　品（＋）	0	
無償貸付機械評価額（＋）	0	

共通仮設費対象額

単独（追加工事）	4,443,924	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く共通仮設費対象額	4,317,924		0		0

共通仮設費（率分）

率（補正前）	18.03 %		0 %
施工地域等補正	0 %	ICT施工補正	1
率（補正後）	18.03 %		
計上額	801,000		0

比較結果	当該追加工事	A		
	0	0	調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	4,317,924	直接工事費	4,443,924
非対象額計（－）	126,000		
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）	
管理費区分２，７	0	（工場原価）	
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）	
管理費区分９	0	（間接費非対象額）	
管理費区分Ｔ	126,000	（直接工事費に含まれる処分費等）	
対象額　支　給　品（＋）	0		
無償貸付機械評価額（＋）	0		
現場環境改善費対象額（Ｐｉ）			
単独（追加工事）	4,317,924	現工事	0
		合算工事	0

現場環境改善費							
率（補正前）	1.48	%		0	%	0	%
施工地域等補正	市街地以外						
率（補正後）	1.48	%					
計上額	63,000			0		0	

比較結果	当該追加工事	A	調整工事計上額	0
	0	0		

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	0				
運搬費	0	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	0	役務費	0	技術管理費	0
営繕費	0	現場環境改善費	0		

共通仮設費計	864,000

共通仮設費

主たる工種

単独（追加工事）：道路維持工事　　合算工事：0

対象工事費	484,503	直接工事費	484,503	準備費	0	事業損失	0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	4,200	現工事	0	合算工事	0

非対象額計（－）	0	
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）
管理費区分２，７	0	（工場原価）
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）
管理費区分９	0	（間接費非対象額）
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）
対象額　支　給　品（＋）	0	
無償貸付機械評価額（＋）	0	

共通仮設費対象額

単独（追加工事）	484,503	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く共通仮設費対象額	480,303		0		0

共通仮設費（率分）

率（補正前）	23.94 %		0 %
施工地域等補正	0 %	ICT施工補正	1
率（補正後）	23.94 %		
計上額	115,000		0

比較結果	当該追加工事	A		
	0	0	調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	480,303	直接工事費	484,503
非対象額計（－）	4,200		
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）	
管理費区分２，７	0	（工場原価）	
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）	
管理費区分９	0	（間接費非対象額）	
管理費区分Ｔ	4,200	（直接工事費に含まれる処分費等）	
対象額　支　給　品（＋）	0		
無償貸付機械評価額（＋）	0		
現場環境改善費対象額（Ｐｉ）			
単独（追加工事）	480,303	現工事	0
		合算工事	0

現場環境改善費					
率（補正前）	2.31 %		0 %		0 %
施工地域等補正	市街地以外				
率（補正後）	2.31 %				
計上額	11,000		0		0

比較結果	当該追加工事	Ａ	調整工事計上額	0
	0	0		

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	0				
運搬費	0	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	0	役務費	0	技術管理費	0
営繕費	0	現場環境改善費	0		

共通仮設費計	126,000

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	76,963,404	単独（追加工事）直接工事費	71,496,179	単独（追加工事）共通仮設費	5,467,225
非対象額計（－）	0				
管理費区分２，７	0	（工場原価）			
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分９	0	（間接費非対象額）			
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）			
対象額　支　給　品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	76,963,404	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	75,150,054		0		0
現場管理費対象純工事費 （調整工事入力で使用）					
率（補正前）	33.67 %		0 %		0 %
施工地域等補正	0 %				
施工時期補正	0 %	熱中症補正	0 %	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0 %				
砂防・地すべり補正	0 %		0 %		
率（補正後）	33.67 %		0 %		
計上額	25,913,000		0		0
			5,345,340 （工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）		
比較結果　当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	71,071,771	単独（追加工事）直接工事費	65,889,546	単独（追加工事）共通仮設費	5,182,225
非対象額計（－）	0				
管理費区分２，７	0	（工場原価）			
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分９	0	（間接費非対象額）			
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）			
対象額　支　給　品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	71,071,771	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	69,391,771		0		0
現場管理費対象純工事費　（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	34.1 ％		0 ％		0 ％
施工地域等補正	0 ％				
施工時期補正	0 ％	熱中症補正	0 ％	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0 ％				
砂防・地すべり補正	0 ％		0 ％		
率（補正後）	34.1 ％		0 ％		
計上額	24,235,000		0		0
				（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）	
比較結果　当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	620,673	単独（追加工事）直接工事費	492,673	単独（追加工事）共通仮設費	128,000
非対象額計（－）	0				
管理費区分２，７	0	（工場原価）			
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分９	0	（間接費非対象額）			
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）			
対象額　支　給　品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	620,673	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	618,573		0		0
現場管理費対象純工事費　（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	60.33 %		0 %		0 %
施工地域等補正	0 %				
施工時期補正	0 %	熱中症補正	0 %	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0 %				
砂防・地すべり補正	0 %		0 %		
率（補正後）	60.33 %		0 %		
計上額	374,000		0		0
			（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）		
比較結果　当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	257,533	単独（追加工事）直接工事費	185,533	単独（追加工事）共通仮設費	72,000
非対象額計（－）	0				
管理費区分２，７	0	（工場原価）			
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分９	0	（間接費非対象額）			
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）			
対象額　支　給　品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	257,533	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	256,483		0		0
現場管理費対象純工事費　（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	60.33 %		0 %		0 %
施工地域等補正	1.2				
施工時期補正	0 %	熱中症補正	0 %	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0 %				
砂防・地すべり補正	0 %		0 %		
率（補正後）	72.4 %		0 %		
計上額	186,000		0		0
			（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）		
比較結果　当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	5,307,924	単独（追加工事）直接工事費	4,443,924	単独（追加工事）共通仮設費	864,000
非対象額計（－）	0				
管理費区分２，７	0	（工場原価）			
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分９	0	（間接費非対象額）			
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）			
対象額　支　給　品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	5,307,924	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	5,181,924		0		0
現場管理費対象純工事費　（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	51.62 %		0 %		0 %
施工地域等補正	0 %				
施工時期補正	0 %	熱中症補正	0 %	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0 %				
砂防・地すべり補正	0 %		0 %		
率（補正後）	51.62 %		0 %		
計上額	2,739,000		0		0
				（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）	
比較結果　当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	610,503	単独（追加工事）直接工事費	484,503	単独（追加工事）共通仮設費	126,000
非対象額計（－）	0				
管理費区分２，７	0	（工場原価）			
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分９	0	（間接費非対象額）			
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）			
対象額　支　給　品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	610,503	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	606,303		0		0
現場管理費対象純工事費　（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	60.33 %		0 %		0 %
施工地域等補正	0 %				
施工時期補正	0 %	熱中症補正	0 %	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0 %				
砂防・地すべり補正	0 %		0 %		
率（補正後）	60.33 %		0 %		
計上額	368,000		0		0
			（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）		
比較結果　当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

一般管理費等（当初）

事務所名	高崎河川国道事務所　工務第二課			工事番号	第　0　回変更
発注年月	令和08年04月	契約区分		主工種	道路維持工事

工事原価	102,876,404						
純工事費	76,963,404	現場管理費		25,913,000	工期延長等に伴う現場維持費		0
非対象額計（－）	0						
管理費区分９	0	（支給品を除く間接費非対象額）					
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）					
一般管理費等対象工事原価							
単独（追加工事）	102,876,404		現工事	0		合算工事	0
全処分費等を除く							
一般管理費等対象工事原価	101,063,054		現工事	0		合算工事	0
（調整工事入力で使用）							
前払金支出割合による補正係数	1		現工事				
財団法人等による補正係数	1						
契約保証に係る一般管理費対象工事原価	102,876,404						
契約保証に係る補正値	0.04　%						
一般管理費率							
単独（追加工事）	18.27　%		現工事	0　%		合算工事	0　%
一般管理費	18,829,596						
業務委託料等	0						
調査基準価格	124,300,000						
調査基準価格の100/110	113,000,000	（ 90.69　%）					

工　事　数　量　総　括　表

工 事 名　　Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事

国土交通省 関東地方整備局
高崎河川国道事務所　工務第二課

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
道路維持 国道50号前橋笠懸道路		式		1		
排水構造物工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂	式		1		
埋戻し	土砂	式		1		
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	式		1		
整地	残土受入れ地での処理	式		1		
側溝工		式		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝 (1)	PU1-B300×H300	m		715		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝 (2)	PU3-B300×H300	m		19		
側溝蓋 (1)	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋 300用 T-25 41.2×9.5×50	枚		36		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
側溝蓋 (2)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 300用 T-25 995×410×95 細目	枚		1		
集水桝･ﾏﾝﾎｰﾙ工		式		1		
現場打ち集水桝 (1)	500×500×500(歩)	箇所		2		
現場打ち集水桝 (2)	500×500×600(歩)	箇所		2		
現場打ち集水桝 (3)	600×600×600(車)	箇所		1		
現場打ち集水桝 (4)	700×700×600(車)	箇所		2		
現場打ち集水桝 (5)	700×700×600(歩)	箇所		1		
現場打ち集水桝 (6)	900×900×1700(歩)	箇所		1		
現場打ち集水桝 (7)	900×900×1900(歩)	箇所		1		
現場打ち集水桝 (8)	1200×1200×1700(歩)	箇所		1		
現場打ち集水桝 (9)	1500×1500×1600(歩)	箇所		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
現場打ち集水桝 (10)	1500×1500×2000(車)	箇所		1		
現場打ち集水桝 (11)	1000×500×1000×1000(歩)	箇所		1		
蓋 (1)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 500×500用 T-2 落込式(鎖付)細目	枚		4		
蓋 (2)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 600×600用 T-25 ﾎﾞﾙﾄ固定式 細目	枚		1		
蓋 (3)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 700×700用 T-25 ﾎﾞﾙﾄ固定式 細目	枚		2		
蓋 (4)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 700×700用 T-2 落込式(鎖付)細目	枚		1		
蓋 (5)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 900×900用 T-2 落込式(鎖付)細目	枚		2		
蓋 (6)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1200×1200用 T-2 落込式(鎖付)細目	枚		2		
蓋 (7)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1500×1500用 T-2 落込式(鎖付)細目	枚		2		
蓋 (8)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1500×1500用 T-25 ﾎﾞﾙﾄ固定式 細目	枚		2		
蓋 (9)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 500×1000用 T-2 落込式(鎖付)細目	枚		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
蓋 (10)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1000×1000用 T-2 落込式(鎖付)細目	枚		1		
防護柵工		式		1		
防止柵工		式		1		
立入防止柵(木杭)	柵高1.1m 設置	m		2,000		
道路付属施設工		式		1		
道路付属物工		式		1		
防草ｼｰﾄ	t=2mm 目付量310g/m2以上	m2		5,000		
ｶﾙﾊﾞｰﾄ工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂	式		1		
埋戻し	土砂	式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｶﾙﾊﾞｰﾄ工		式		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	内幅 0.3m 内高 0.3m	m		4		
除草工		式		1		
道路除草工		式		1		
道路除草(複合) (1)	肩掛け式	m2		100,000		
道路除草(複合) (2)	ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式	m2		200,000		
除草処分		kg		80,000		
応急処理工		式		1		
応急処理作業工		式		1		
応急作業 昼間(8～17h)		式		1		
仮設工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員 (1)	昼間･A	人日		50		
交通誘導警備員 (2)	昼間･B	人日		50		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
技術管理費		式		1		
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
道路維持 国道17号上武道路		式		1		
除草工		式		1		
道路除草工		式		1		
道路除草(複合) (1)	肩掛け式	m2		500		
除草処分		kg		100		
応急処理工		式		1		
応急処理作業工		式		1		
応急作業 昼間(8～17h)		式		1		
仮設工		式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員 (1)	昼間･A	人日		10		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
交通誘導警備員 (2)	昼間･B	人日		5		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
道路維持 国道17号高松立体		式		1		
除草工		式		1		
道路除草工		式		1		
道路除草(複合) (1)	肩掛け式	m2		100		
除草処分		kg		50		
応急処理工		式		1		
応急処理作業工		式		1		
応急作業 昼間(8～17h)		式		1		
仮設工		式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員 (1)	昼間･A	人日		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
道路維持 国道17号綾戸ﾊﾞｲﾊﾟｽ		式		1		
防護柵工		式		1		
防止柵工		式		1		
立入防止柵(木杭)	柵高1.1m 設置	m		100		
除草工		式		1		
道路除草工		式		1		
道路除草(複合) (1)	肩掛け式	m2		15,000		
除草処分		kg		7,000		
応急処理工		式		1		
応急処理作業工		式		1		
応急作業 昼間(8～17h)		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
仮設工		式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員 (1)	昼間･A	人日		3		
交通誘導警備員 (2)	昼間･B	人日		10		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
工事原価		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
道路維持 国道18号高崎安中拡幅		式		1		
除草工		式		1		
道路除草工		式		1		
道路除草(複合) (1)	肩掛け式	m2		400		
除草処分		kg		200		
応急処理工		式		1		
応急処理作業工		式		1		
応急作業 昼間(8～17h)		式		1		
仮設工		式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員 (1)	昼間･A	人日		10		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
交通誘導警備員 (2)	昼間･B	人日		5		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		

Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事

（　当　　初　）　請負工事費計算書

(1)直接工事費	71,496,179		
(2)共通仮設費	6,372,225		
(3)純工事費 (1)+(2)	77,868,404		
(4)現場管理費	27,902,000		
(5)工期延長等に伴う現場維持等の費用	0	(16)工場製作純工事費	0
		(17)工場管理費	0
(6)工事原価 (3)+(4)+(5)+(18)	105,770,404	(18)工場製作原価 (16)+(17)	0
(7')一般管理費等(計上額)	18,829,596	((7)一般管理費等(計算額)	18,836,669)
(8')その他費目計	0		
(9)業務委託料等	0		
(10)工事価格 (6)+(7')+(8')+(9)（万円未満切り捨て）	124,600,000		

(11)消費税相当額	12,460,000
(12)請負工事価格 (10)+(11)	137,060,000
(13)入札書比較価格 (請負工事費の100/110)	124,600,000
(14)調査基準価格	124,300,000
(15)調査基準価格の100/110 (万円未満切り捨て)	113,000,000

令和８年度

Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事

特記仕様書

令和８年４月

国土交通省　関東地方整備局

高崎河川国道事務所

第１編　共通編

第１章　総　　則

第１条　適　　用

１．この特記仕様書は、関東地方整備局 土木工事共通仕様書(令和８年度版)(以下「共通仕様書」という。)でいう特記仕様書で、本工事の施工に適用する。

２．この工事の施工にあたっての一般的事項は、共通仕様書によるものとする。

３．この特記仕様書に添付されていない別紙様式等については以下 URL よりダウンロードするものとする。

（URL「https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000015.html」）

４．本工事における「条件明示」については、別紙－１「明示項目及び明示事項」に記載のとおりとする。

第２条　主任技術者等

本工事の主任技術者又は監理技術者は、受注者が提出した競争参加資格確認申請書に記述した配置予定の技術者でなければならない。

第３条　主任技術者等の専任期間

１．契約締結日の翌日から工事の始期までの期間については、主任技術者又は監理技術者の設置を要しない。

２．契約締結日の翌日から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。

３．工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続後、後片付け等のみが残っている期間については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「完成通知書」等における日付）とする。

４．主任技術者又は監理技術者が技術研鑽のための研修、講習、試験等で短期間工事現場を離れる場合は、適切な施工ができる体制を確保したうえで、監督職員の承諾を得るものとする。

第４条　専任特例１号の場合の監理技術者又は主任技術者の配置

本工事は、建設業法第２６条第３項第一号の規定の適用を受ける監理技術者又は主任技術者の配置は認めない。

第５条　専任特例２号の場合の監理技術者の配置

１．本工事において、建設業法第２６条第３項第二号の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「専任特例２号の場合の監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の（１）～（８）の要件を全て満たさなければならない。

（１）建設業法第２６条第３項第二号による監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監

理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。

（２）監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第２７条の規定に基づく技術検定種目は、専任特例２号の場合の監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。

（３）監理技術者補佐は、直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。

（４）同一の専任特例２号の場合の監理技術者が配置できる工事は、本工事を含め同時に２件までとする。なお、専任特例１号の場合の監理技術者又は主任技術者を活用した工事と兼務することは出来ない。

（ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるものについては、これら複数の工事を一の工事とみなす。）

（５）専任特例２号の場合の監理技術者が兼務できる工事は群馬県内の工事でなければならない。

（６）専任特例２号の場合の監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。

（７）専任特例２号の場合の監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。

（８）監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。

２．現場の安全管理体制について、平成７年４月２１日付基発第２６７号の２「元方事業者による建設現場安全管理指針」において、「統括安全衛生責任者の選任を要するときには、その事業場に専属の者とすること。」とされていることから、施工体制に留意すること。

３．本工事の監理技術者が専任特例２号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事を予定している場合、以下の書類を提出すること。

１）監理技術者補佐の資格を有する書類（一級施工管理技士等の国家資格者の合格証の写しなど）

２）監理技術者補佐の直接的かつ恒常的な雇用関係を証明する書類（監理技術者資格者証、市区町村が作成する住民税特別徴収税額通知書、健康保険・厚生年金被保険者標準報酬決定通知書、所属会社の雇用証明書又はこれらに準ずる資料（いずれも写し可））

３）専任特例２号の場合の監理技術者が兼務する工事の箇所、内容を示す書類（ＣＯＲＩＮＳの写し）

４．本工事の監理技術者が専任特例２号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事となった場合、第１項（５）～（８）について施工計画書へ記載し、提出すること。

５．本工事において、専任特例２号の場合の監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、コリンズ（ＣＯＲＩＮＳ）への登録・修正を適切に行うこと。

第６条　コリンズ（CORINS)への登録

１．工事カルテの作成、登録については、土木工事共通仕様書「１－１－１－７コリンズ（CORINS）への登録」によるものとする。

２．受注者は、工事受注後又は施工中において当該工事に係る悪質で不誠実な行為（一括下請負等）が発覚し、指名停止の措置を受けた場合は、登録済みの工事カルテの取り下げを行うものとする。
３．技術者の従事期間は、工期をもって登録するものとする。（余裕期間を含まないことに留意するものとする。）

第７条　コリンズ（CORINS)への位置情報の入力

土木工事共通仕様書１－１－１－７コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、位置情報については以下のとおりとし、工事場所および座標（緯度、経度）を記載するものとする。なお、座標は、世界測地系（JGD2024）に準拠する。

【国道５０号前橋笠懸道路】
起点　群馬県前橋市今井町　　緯度３６°２２’０８”　経度１３９°０９’２１”
終点　群馬県みどり市笠懸町　緯度３６°２３’３７”　経度１３９°１７’０３”
【国道１７号上武道路】
起点　群馬県太田市武蔵島町　緯度３６°１４’２９”　経度１３９°１８’４０”
終点　群馬県太田市武蔵島町　緯度３６°１４’３５”　経度１３９°１８’４２”
【国道１７号高松立体】
起点　群馬県高崎市常磐町　　緯度３６°１９’４６”　経度１３８°５９’４１”
終点　群馬県高崎市並榎町　　緯度３６°１９’５２”　経度１３８°５９’３４”
【国道１７号綾戸バイパス】
起点　群馬県渋川市上白井　　緯度３６°３４’１５”　経度１３９°０２’２７”
終点　群馬県沼田市岩本町　　緯度３６°３５’１７”　経度１３９°０３’１７”
【国道１８号高崎安中拡幅】
起点　群馬県安中市安中　　緯度３６°２０’０１”　経度１３８°５４’１０”
終点　群馬県安中市安中　　緯度３６°２０’００”　経度１３８°５４’１０”

第８条　コリンズ（CORINS)への工事概要の入力

土木工事共通仕様書１－１－１－７コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を受注時に作成するにあたり、工事概要について必須登録とし、記載例を参考にすること。

記載例）
【国道５０号前橋笠懸道路】
排水構造物工　　１式
防護柵工　　１式
道路付属施設工　　１式
防草シート　　５，０００ｍ２
除草工　　１式
道路除草工　　３００，０００ｍ２
応急処理工　　１式
仮設工　　１式
【国道１７号上武道路】
除草工　　１式

道路除草工　５００ｍ２
応急処理工　１式
仮設工　１式
【国道１７号高松立体】
除草工　１式
道路除草工　１００ｍ２
応急処理工　１式
仮設工　１式
【国道１７号綾戸バイパス】
防護柵工　１式
除草工　１式
道路除草工　１５，０００ｍ２
応急処理工　１式
仮設工　１式
【国道１８号高崎安中拡幅】
除草工　１式
道路除草工　４００ｍ２
応急処理工　１式
仮設工　１式

第９条　コリンズ（CORINS)への設計業務名及びテクリス番号の入力

土木工事共通仕様書１－１－１－７コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、設計業務名およびテクリス番号を登録すること。設計業務名およびテクリス番号については以下のとおりとする。

コリンズへ登録する業務名およびテクリス番号

業　務　名	テクリス番号
Ｈ３１前橋笠懸道路詳細修正設計他業務	4037218261
Ｒ５前橋笠懸道路他設計業務	4055492527
Ｒ６国道５０号前橋笠懸道路詳細修正設計他業務	4058281460

第１０条　施工体制台帳

工事成績優秀企業に認定され、認定有効期限内に、工事発注の契約を行った工事の監理技術者、主任技術者（工事成績優秀企業に認定された下請負を含む）は、工事成績優秀企業認定マークの使用や金色帯線（黄色もしくは橙色の帯線でも可）を名札上部に印刷することが出来るものとする。



注 1:用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。

注 2:所属会社の写真とする。

第１１条　調査・試験に対する協力（低入札価格調査制度調査対象工事について）

１．契約担当官等が工事の中間において技術検査の必要を認めた場合は、速やかに監督職員の指示に従い、検査を受けなければならない。なお、検査は工事請負契約書及び共通仕様書に適用する条項に準じて行うものとする。

２．予算決算及び会計令第８５条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、受注者は下記の調査に協力しなければならない。

（１）受注者は、下請負者の協力を得て間接工事費等諸経費動向調査票（営繕工事においては共通費実態調査票）の作成を行い、工事完了後、速やかに発注者に提出するものとする。

（２）受注者は、提出された間接工事費等諸経費動向調査票（営繕工事においては共通費実態調査票）の費用の内訳についてヒアリング調査に応じるものとする。この場合において、受注者は下請負者についてもヒアリングに参加させるものとする。

（３）工事コスト調査（調査結果でも可）に係る資料は、下記のとおりとし、関東地方整備局又は高崎河川国道事務所のホームページにより公表する。

（４）低入札価格調査と工事コスト調査の結果に大きな乖離がある場合、又は、工事コスト調査資料の提出が無い場合には、工事成績評点を減点する場合がある。

なお、低入札価格調査対象工事については、工事コスト調査終了後に、工事成績評点を通知する。

公表資料は以下のとおり。

資　料　名	内　訳
低価格理由とその詳細	当該工事が低価格で施工可能となる理由を示した資料
比較表－1	積算内訳書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表－２	積算内訳書に対する明細書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表－３	元請の手持ち資材の当初と実績の比較表
比較表－４	元請の資材購入先一覧の当初と実績の比較表
比較表－５	手持ち機械の当初と実績の比較表
比較表－６	労務者確保計画の当初と実績の比較表
比較表－７	工種別労務者配置計画の当初と実績の比較表
比較表－８	建設副産物の搬出の当初と実績の比較表
諸経費動向調査（工事費）	元請、下請の工事費内訳

第１２条　低入札契約におけるモニターカメラの設置

本工事は、予算決算及び会計令第８５条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、工事の監督補助としてモニターカメラの設置を行う対象工事とする。

なお、モニターカメラの設置費用については、発注者の負担によるものとする。

第１３条　不可視部分の出来形管理について

予算決算及び会計令第８５条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、以下に示す工種の不可視部分について、ビデオカメラを用いた出来形管理を行うこととし、撮影した映像については監督職員に提出するものとする。

【国道５０号前橋笠懸道路】

１）排水構造物工

２）防護柵工

３）カルバート工

【国道１７号綾戸バイパス】

１）防護柵工

第１４条　不具合等発生時の措置

受注者は、工事施工途中に工事目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、又は公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督職員に直ちに通知しなければならない。

第１５条　工事書類の作成

１．工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類作成マニュアル（令和７年３月）」に基づき実施するものとする。

２．工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類スリム化ガイド（令和７年３月）」を参考に書類の電子化、受発注者間での作成書類の役割分担の明確化、書類の削減等に留意すること。

３．「工事関係書類一覧表」（別紙様式－１５）により、工事着手前に「作成書類の役割分担」、「作成書類の位置付け」に関して「協議」するものとする。
また、「協議」の内容を変更する場合は、改めて、受発注者で協議を行うものとする。

４．電子により提出、提示した書類については、検査時その他の場合においても紙での提示、提出は行わないものとする。

第１６条　設計図書の照査

発注者は、設計図書の照査の範囲を超える資料の作成については、監督職員の指示とし、その作成費用は、設計変更の対象とする。なお、設計変更の対象については、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和７年３月」によるものとする。

第１７条　情報共有システムの活用

１．本工事は、監督職員及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの活用対象工事である。なお、活用にあたっては「土木工事・業務の情報共有システム活用ガイドライン」（令和７年３月版）に基づき実施すること。

２．受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、使用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

・工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件（Rev５．７）令和７年３月版国土交通省（国土技術政策総合研究所）

３．監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーＩＤ数、ディスク容量等の仕様やワークフロー機能の対象者等については、監督職員の確認を得た上で決定すること。

４．受注者は、サービス提供者と次の内容を含めた契約を締結するものとする。

①情報共有システムに関する障害を適正に処理、解決できる体制を整える旨

②サービス提供者が善良なる管理者の注意をもってしても防御し得ない不正アクセス等により、情報漏洩、データ破壊、システム停止等があった場合、速やかに受注者に連絡を行い適正な処置を行う旨

③②の場合において、サービス提供者に重大な管理瑕疵があると監督職員若しくは受注者が判断した場合、又は復旧若しくは処理対応が不適切な場合には、受注者はサービス提供者と協議の上情報共有システムの利用を停止することができる旨

５．受注者は、監督職員等から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第１８条　設計・施工技術連絡会議（三者会議）の設置

本工事は、「設計・施工技術連絡会議（三者会議）」（ 以下、「三者会議」という。）の対象工事では無いが、受注者から「三者会議」の開催を要請した場合、明らかに会議開催の必要性が乏しいと判断される場合を除き、公共工事の品質確保及び円滑な事業執行を目的として、発注者、設計者、施工者（工事受注者）の三者が工事着手前等において一堂に会して、事業目的、設計思想・条件等の情報の共有及び施工上の課題、新たな技術提案に対する意見交換等を行う「三者会議」を開催するものとする。

受注者は、「三者会議」の開催を要請する場合、監督職員と協議するものとする。「三者会議」の運用にあたっては、「設計・施工技術連絡会議（「三者会議」） 運用方針」（http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html）によるものとする。

第１９条　設計審査会の設置

本工事は、発注者と受注者が一堂に会して、現場着手前（準備期間内）に工事工程クリティカルパスの共有及び工事工程の照合（クロスチェック）を実施し、併せて協議資料作成等の受発注者間の役割分担を明確にする場、また、設計変更手続きの透明性と公正性の向上及び迅速化のため、設計変更の妥当性の審議及び設計変更等に伴う工事中止等の判断等を行う場として開催する「設計審査会」（以下、「審査会」という。）の設置対象工事である。

「審査会」の運用にあたっては、「設計審査会設置運用方針」（http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html）によるものとする。

第２０条　工事環境の改善

本工事の実施にあたっては、工事環境の改善に取り組むウィークリースタンスを考慮するものとする。

ウィークリースタンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html に掲載している工事環境改善実施要領に基づき、監督職員と確認・調整した内容について取り組むものとする。

第２１条　ワンデーレスポンス

１．この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。

・「ワンデーレスポンス」とは

受注者からの質問、協議等への回答は、基本的に「その日のうち」に指示、通知等を行うよう対応する。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」に通知することである。

２．受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。

３．受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は、速やかに文書にて監督職員へ報告すること。

４．ワンデーレスポンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html に掲載しているワンデーレスポンス実施の手引き（令和５年１２月）に基づき、取り組むものとする。

５．効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。

第２２条　契約内容の変更手続きについて

本工事における契約内容の変更は、以下によるものとする。

①本工事における設計変更や契約変更は書面に基づき行うことを徹底し、指示書・協議書があるもののみを契約変更の対象とする。

②受注者は、工事期間中及び工事完成後において、監督職員から契約図書の規定に違反する等の不適切な指示を受けたと思料されるときは、当該監督職員を経由せずに、事務所長へ直接又は契約担当課長経由で書面により、その旨を報告することができる。

第２３条　設計図書の変更

設計変更等については、契約書第１８条から第２５条及び共通仕様書共通編１－１－１－１７から１－１－１－１９に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和７年３月」によることとする。

第２４条　契約変更手続きの透明性を確保するための第三者による適正性チェックの試行

１．本工事は、契約変更手続きの透明性を確保するため、契約変更前に必要に応じて第三者による適正性チェックを実施する試行工事である。

２．第三者による適正性チェックの実施は、発注者が対応するものとし、実施にあたっては、既存資料等による実施に努め、過度な資料作成は行わないものとする。

第２５条　スライド条項

工事請負契約書第２６条（スライド条項）については、物価水準の変動により請負代金が不適当となったと認められた時に、相手方に請負代金の変更を請求することができる条項となっている。

単品スライドについては、鋼材類・燃料油の他、コンクリート類、購入土などの主要工事材料も対象となるので、物価水準の変動により請負代金が不適当となった場合には、相手方に対して請負代金額の変更を請求することができる。

第２６条　再生資材の活用

受注者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。

資　材　名	規　格	備　考
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	構造物基礎、応急処理

なお、使用に際し「舗装再生便覧」等を遵守するものとする。

第２７条　特定建設資材の分別解体等の再生資源化等

１．本工事は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（(平成１２年法律第１０４号最終改正令和４年６月１７日法律第６８号)。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「８解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により予定した条件により難い場合は監督職員と協議するものとする。

（１）分別解体等の方法

	工　程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設	仮設工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有　□無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他 （　　）	その他の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

２．受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン（平成１４年５月）」に定めた様式１〔再生資源利用計画書（実施書）〕及び様式２〔再生資源利用促進計画書（実施書）〕を兼ねるものとする。

・再資源化等が完了した年月日
・再資源化等をした施設の名称及び所在地
・再資源化等に要した費用

３．工事発注後に明らかになった事情により予定していた条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第２８条　廃棄物等の処理

１．本工事における、廃棄物の搬出は下記によるものとする。

廃棄物の種類	施設の名称	所在地
【国道５０号前橋笠懸道路】 雑草（大草）	(有)坂東資源	群馬県伊勢崎市八斗島町 723-1 他
【国道１７号上武道路】 雑草（大草）	(有)坂東資源	群馬県伊勢崎市八斗島町 723-1 他
【国道１７号高松立体】 雑草（大草）	(有)坂東資源	群馬県伊勢崎市八斗島町 723-1 他
【国道１７号綾戸バイパス】 雑草（大草）	(株)フジモク	群馬県沼田市大釜町八幡平 333-1 他
【国道１８号高崎安中拡幅】 雑草（大草）	(有)坂東資源	群馬県伊勢崎市八斗島町 723-1 他

上記については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合でも設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量のの変更等、受注者の責によるものでない事項については、監督職員と協議の上、契約変更の対象とすることができる。

２．受入時間

(有)坂東資源　　：８時００分～１７時００分

(株)フジモク　　：８時００分～１７時００分

第２９条　建設リサイクル法第１１条通知の徹底

受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成１２年５月３１日法律第１０４号）第１１条に基づく、都道府県知事に対する通知を行った旨の書面を監督職員より受領した後に、工事着手（建設リサイクル法第１０条第１項に規定する工事着手をいう。）するものとする。

なお、これによりがたい場合は監督職員と協議の上決定するものとする。

第３０条　コンクリート副産物から再生された資源について

１．コンクリート副産物から再生された資材を利用する場合には、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途別品質基準」によるものとする。

２．受注者は、コンクリート副産物から再生された資材の利用を希望する場合は、工事着手時にその適用の有無を監督職員と協議するものとする。

３．受注者は、工場が発行する再生骨材コンクリートの配合計画書及び納入書を整備および管理し、監督職員または検査職員からの請求があった場合は速やかに提示しなければならない。

４．受注者は、再生骨材コンクリートの品質を確かめるための検査を JIS A 5022（再生骨材Ｍを用いたコンクリート）、JIS A 5023（再生骨材Ｌを用いたコンクリート）により実施しなければならない。また、再生骨材Ｍを用いたプレキャストコンクリート製品の検査については、JIS A 5365（プレストキャストコンクリート製品－検査方法通則）に

より実施しなければならない。なお、生産者等に検査のため試験を代行させる場合は受注者がその試験に臨場しなければならない。

5．再生骨材コンクリートの配合については、「土木工事共通仕様書第１編３－３－３配合」に従うものとする。

第３１条　施工管理

1．本工事の施工管理は、関東地方整備局土木工事施工管理基準及び規格値(令和８年度版)によるものとする。なお、この管理基準により難い場合及び基準、規格値が定められていない工種については、監督職員と協議の上、施工管理を行うものとする。

2．本工事の写真管理は、関東地方整備局土木工事写真管理基準(令和８年度版)によるものとする。なお、「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。

3．本工事の施工管理における適用工種毎の基準類は、ＩＣＴ活用工事実施要領(令和８年３月改定)の関連要領等一覧（ＵＲＬ「https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html」）によるものとする。

第３２条　デジタル工事写真の小黒板情報電子化について

デジタル工事写真の小黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事では、以下の１．から４．の全てを実施することとする。

1．対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、関東地方整備局土木工事写真管理基準（令和８年度版）（以下、写真管理基準）「２－２撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。

なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」（URL「https://www.cryptrec.go.jp/list.html」）に記載している技術を使用していること。

また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例を以下に示す。

【使用機器の事例】

デジタル工事写真の小黒板情報電子化対応ソフトウェア，（一社）施工管理ソフトウェア産業協会，<https://www.jcomsia.org/kokuban>.

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。

2．デジタル工事写真における小黒板情報の電子的記入

受注者は、同条１．の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黒板情報の電子的記入を行う項目は、写真管理基準（令和８年３月）「２－２撮影方法」による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

３．小黒板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、写真管理基準及びデジタル写真管理情報基準（令和５年３月）（以下、デジタル写真管理情報基準）に準ずるが、同条２．に示す小黒板情報の電子的記入については、写真管理基準「２－５ 写真編集等」及びデジタル写真管理情報基準「６.写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

４．小黒板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、同条２．に示す小黒板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黒板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者は改ざん検知機能（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。

なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

また、下記のチェックツールを使用して信憑性確定を行い、結果を出力したものでもよい。

【チェックツールの事例】

信憑性チェックツール（一社）施工管理ソフトウェア産業協会

<http://www.jcomsia.org/kokuban>

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を実施しない工事写真がある場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得ること。

第３３条　ＩＣＴ活用工事（作業土工（床掘工））について

１．ＩＣＴ活用工事

本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、ＩＣＴ施工技術の全面的活用を図るため、受注者の提案・協議により、起工測量、設計図書の照査、施工、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用するＩＣＴ活用工事の対象工事である。

２．定義

（１）i-Construction とは、ＩＣＴ施工技術の全面的な活用、規格の標準化、施工時期の平準化等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセス全体の最適化を図る取り組みである。本工事では、受注者の希望により、その実現に向けてＩＣＴ施工技術を活用した工事（ＩＣＴ活用工事）を実施するものとする。

（２）ＩＣＴ活用工事とは、施工プロセスの以下段階において、ＩＣＴ施工技術を全面的に活用する工事である。また、本工事においては、次の①（選択）②③⑤の段階でＩＣＴ施工技術を活用することをＩＣＴ活用工事とする。

対象は、作業土工（床掘工）を含む工事とする。

① 起工測量（選択）

② ３次元設計データ作成

③ ＩＣＴ建設機械による施工

④ 該当なし

⑤ ３次元データの納品

３．受注者は、特記仕様書に指定された作業土工以外の工種に、ＩＣＴ施工技術の活用を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更

施工計画書の提出を含む）までに監督職員へ提案・協議を行い、協議が整った場合に以下４～６によりＩＣＴ施工技術の活用を行うことができる。

４．ＩＣＴ施工技術を用い、土工について以下の施工を実施する。

① 起工測量（選択）

受注者は、起工測量にあたって、従来手法による起工測量またはＩＣＴ施工技術を用いた起工測量を選択できるものとし、作業土工以外の工種で取得した３次元起工測量データがある場合は、積極的に活用するものとする。

ＩＣＴ施工技術を用いた起工測量としては、３次元測量データを取得するため、以下１）～７）から選択（複数選択可）して測量を行うことができるものとする。

１）空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量

２）地上型レーザースキャナーを用いた起工測量

３）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量

４）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量

５）ＴＳ等光波方式を用いた起工測量

６）ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量

７）ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量

② ３次元設計データ作成

受注者は、４．①で得られたデータと発注者が貸与する発注図データを用いて、ＩＣＴ建設機械による施工を行うため、３次元設計データを作成する。

③ ＩＣＴ建設機械による施工

４．②で作成した３次元設計データを用いて、作業に応じて以下に示すＩＣＴ建設機械を選択して施工を実施する。位置・標高をリアルタイムに取得するに当たっては、国土地理院の電子基準点のほか、国土地理院に登録された民間等電子基準点を活用することができる。

なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則（令和５年３月３１日 国土交通省告示第２５０号）付録１測量機器検定基準２－６の性能における検定基準を満たすこと。

１）３次元ＭＣまたは３次元ＭＧ建設機械※

※ＭＣとは「マシンコントロール」、ＭＧとは「マシンガイダンス」の略称である。

建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に基づき建設機械の作業装置を自動制御する３次元マシンコントロール技術または、建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分を表示し、建設機械の作業装置を誘導する３次元マシンガイダンス技術を用いて、河川・海岸・道路土工の掘削等を実施する。

但し、現場条件により、③ＩＣＴ建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監督職員との協議の上、従来型建設機械による施工を実施してよいものとするが、丁張設置等には積極的に３次元設計データ等を活用するものとする。

④ ３次元出来形管理等の施工管理

作業土工であるため、該当しない。

⑤ ３次元データの納品

４．②により作成した３次元設計データを工事完成図書として電子納品する。

ただし、１－３①において、３次元起工測量を実施した場合は、取得した３次元測量デー

タも３次元データ納品の対象とする。

５．上記４．①（選択）②③の施工を実施するために使用するＩＣＴ機器類は、受注者が調達すること。また、施工に必要な施工用データは、受注者が作成するものとする。使用するアプリケーション・ソフト、ファイル形式については、事前に監督職員と協議するものとする。

発注者は、３次元設計データの作成に必要となる詳細設計において作成したＣＡＤデータを受注者に貸与する。また、ＩＣＴ施工技術の活用を実施する上で有効と考えられる詳細設計等において作成した成果品と関連工事の完成図書は、施工区間の前後を含め必要な範囲を積極的に受注者に貸与するものとする。

６．本特記仕様書に疑義を生じた場合または記載のない事項については、監督職員と協議するものとする。

第３４条　ＩＣＴ活用工事における適用（用語の定義）について

図面とは、入札に際して発注者が示した設計図、発注者から変更または追加された設計図、工事完成図、３次元モデルを復元可能なデータ（以下「３次元データ」という。）等をいう。

なお、設計図書に基づき監督職員が受注者に指示した図面及び受注者が提出し、監督職員が書面により承諾した図面を含むものとする。

第３５条　ＩＣＴ活用工事（作業土工（床掘））の費用について

１．受注者が、契約後施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに、作業土工（床掘工）及び作業土工（床掘工）以外の工種に関するＩＣＴ活用の具体的な工事内容・数量及び対象範囲について明示し、監督職員へ協議を行い、協議が整った場合、ＩＣＴ施工技術の活用を実施する項目については、各段階を設計変更の対象とし、以下の積算要領より費用を計上することとする。

・ＩＣＴ活用工事（作業土工（床掘工））積算要領

ただし、監督職員の指示に基づき、３次元起工測量を実施するとともに３次元設計データの作成を行った場合は、受注者は発注者からの依頼に基づき、見積書を提出するものとする。

２．施工合理化調査を実施する場合はこれに協力すること。

第３６条　ＩＣＴ活用工事の活用効果等に関する調査

ＩＣＴ活用工事を行った施工者は、活用目的等の把握のための「ＩＣＴ活用工事の活用効果等に関する調査」の対象であり、別途監督職員より指示される調査票に基づき実施するものとする。

施工者は、工事完了後直ちに調査票を監督職員へ提出・確認後、発注者が指示するメールアドレスまで調査票を電子メールにより提出すること。また調査票の聞き取り調査等を実施する場合はこれに協力するものとする。

調査費用については当初は計上していないため、設計変更の対象とする。

第３７条　現場環境改善（快適トイレの設置）

１．内 容

受注者は、現場に以下の（１）～（１１）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。（１２）～（１７）については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

（１）洋式（洋風）便器

（２）水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）

（３）臭い逆流防止機能

（４）容易に開かない施錠機能

（５）照明設備

（６）衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を５kg 以上とする）

【付属品として備えるもの】

（７）現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示

（８）周囲からトイレの入口が直接見えない工夫

（９）サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）

(10) 鏡と手洗器

(11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

(12) 室内寸法９００㎜×９００㎜以上（面積ではない）

(13) 擬音装置（機能を含む）

(14) 着替え台

(15) 臭気対策機能の多重化

(16) 室内温度の調整が可能な設備

(17) 小物置き場（トイレットペーパー予備置き場等）

２．快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記１の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】（１）～（６）及び【付属品として備えるもの】（７）～（１１）の費用については、従来品相当を差し引いた後、５１，０００円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各１基ずつ２基／工事（施工箇所）※までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、２基／工事（施工箇所）※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。

※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。

３．快適トイレの「質の向上」に要する費用

快適トイレの「質の向上」として、積算上限額を超える費用について現場環境改善費（率）を充当することができる。現場環境改善費（率）の充当を希望する場合は、上記２．の協議時に見積書を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとする。

なお、現場環境改善費（率）を充当することにより、特記仕様書に明示されたその他の費目の実施が困難な場合には、実施費目数の変更を合わせて協議することとする。

４．その他
快適トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

第３８条　工事中の安全確保

１．工事の施工にあたっては、関東地方整備局長が定める「重点的安全対策」について留意し、工事事故の防止を図らなければならない。
なお、令和８年度における重点的安全対策項目は以下の７項目である。
Ⅰ．架空線等上空施設の損傷事故防止
Ⅱ．建設機械等の稼働に関連した人身事故防止
Ⅲ．資機材等の下敷きによる人身事故防止
Ⅳ．足場・法面等からの墜落事故防止
Ⅴ．地下埋設物の損傷事故防止
Ⅵ．第三者の負傷・第三者車両等に対する損害
Ⅶ．事故防止

２．受注者は、工事に従事する就業制限業務及び作業主任者を選任する業務における資格者のうち、資格取得後一定期間経過した資格者に対し、次に掲げる再教育の受講が推進されるよう努めるものとする。
①労働安全衛生法第１９条の２に基づく足場組立等作業主任者等に対する能力向上教育
②労働安全衛生法第６０条の２に基づく車両系建設機械運転従事者、移動式クレーン運転士、玉掛業務従事者等に対する危険有害業務従事者教育
③厚生労働省通達に基づくドラグ・ショベル運転業務従事者等に対する危険再認識教育

３．工事の施工にあたっては、工事等の時期、工事等の方法の概要及び工事等を行う場合における道路交通に対する措置について「道路工事保安施設設置基準（案）（令和６年２月）」に基づき監督職員へ確認を行うものとする。

４．工事中看板、工事情報看板及び工事説明看板の記載内容及び設置箇所については、監督職員の承諾を得るものとする。

５．工事期間中に配置する交通誘導警備員は、以下のとおり計上するものとする。ただし、交通管理者等との協議条件など社会的要件、現地精査に基づき配置人員の変更が必要になった場合は、監督職員と協議するものとする。

工　種	作業区分	交通誘導警備員	備　考
国道５０号前橋笠懸道路	昼間作業	１００人（うち有資格誘導員５０人）	
国道１７号上武道路地区	昼間作業	１５人（うち有資格誘導員１０人）	
国道１７号高松立体	昼間作業	１人（うち有資格誘導員　１人）	
国道１７号綾戸バイパス	昼間作業	１３人（うち有資格誘導員　３人）	
国道１８号高崎安中拡幅	昼間作業	１５人（うち有資格誘導員１０人）	
合計		１４４人（うち有資格誘導員７４人）	

第３９条　熱中症対策に資する現場管理費の補正

６．本工事は、夏季における真夏日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症対策に掛かる経費に関して「熱中症対策に資する現場管理費の補正」を行う試行工事である。

７．真夏日の考え方は下記のとおりである。
（１）真夏日の定義
日最高気温が３０℃以上の日を指す。
ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が３０℃以上の場合とする。

（２）試行にあたっての真夏日の計上の考え方

下記①～③のいずれかに該当する場合、真夏日として計上する。

①環境省が公表している暑さ指数（WBGT）が日最高２５℃以上の場合。

施工現場から最寄りの環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）が２５℃以上となる日を、真夏日とみなす。

②気象庁が公表している地上気象観測所の日最高気温が３０℃以上の場合。

施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温が３０℃以上の日を、真夏日とする。

③夜間工事については、作業時間帯の最高気温が３０℃以上の場合。

施工現場から最寄りの観測地点における作業時間帯の最高気温が３０℃以上、又は暑さ指数（WBGT）が２５℃以上の場合を真夏日とする。

なお、休工日においては、上記に該当した場合でも真夏日としない。

上記①～③によりがたい場合は、監督職員と協議すること。

（３）工期

工事着手から工事完成日までの期間を指す。なお、年末年始休暇６日間、 夏季休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

（４）基準日

受発注者協議により、「基準日」を定めるものとする。「基準日」は工事着手日を基本とする。

当該「基準日」より工期末までの期間のうち、真夏日にあたる日数を算出する。

なお、夏季休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、現場休工日は含まないものとする。

（５）真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

・真夏日率 ＝ 基準日から工期末までの真夏日 ÷ 工期

（６）現場管理費の補正

現場管理費の補正は、工期中の日最高気温の状況に応じて補正値を算出し、現場管理費率に加算する。

なお、補正は変更契約において行うものとする。

・補正値（％） ＝ 真夏日率 × 補正係数※

※ 真夏日補正係数：１．２

第４０条　安全管理推進技術者等認定について

１．概要

関東地方整備局（港湾・空港部・営繕部関係を除く）が発注した工事（以下、「直轄工事」という）において、無事故で完成させた技術者に対して、「安全管理推進技術者」（以下、「認定技術者」という）として認定する。

２．認定条件

対象とする技術者は、以下の条件によって認定する。

・直轄工事において、無事故にて完成させた「安全管理担当者」として、施工期間中、全ての工事（準備工を除く）に従事した者。なお、「安全管理担当者」とは、施工体制上、受注者が配置する「統括安全衛生責任者」、「元方安全衛生管理者」、「ずい道等救護技

術管理者」、「店社安全衛生管理者」、「工事現場責任者」として安全管理に従事した者で、現場代理人または、主任（監理）技術者が兼務した場合も認定するものとする。

・直轄工事にて、認定技術者として過去５回認定された者については、「優秀安全管理推進技術者」（以下、「優秀認定技術者」という）として認定する。

３．認定技術者の認証

・認定技術者及び優秀認定技術者に認定された者については、「安全管理推進技術者認定ロゴマーク」（以下、「認定ロゴマーク」という）を「企業の名刺」、「ヘルメット貼付」等に使用（印刷、シール）することができる。

・紛失等による認定書の再発行は行わない。

・「認定ロゴマーク」については、当該地方整備局管内で行う直轄工事のみに使用でき、それに要する費用は、当該企業が負担するものとする。

４．認定技術者の認証期間

認定技術者へ授与した認証については、その使用期間に制限を設けないものとする。

５．不適切事項への措置による認証の取り扱い

認定技術者が関係する工事にて、粗雑工事等の発覚より、関東地方整備局から措置（指名停止、文書注意、口頭注意）を受けた場合であっても、過去の認証の取り消しは行わない。ただし、工事完成後、安全管理に関して不適切な事象が発覚した場合、または、不正による認定取得が確認された場合については、認定を取り消す。

第４１条　交通誘導警備員の資格

交通誘導警備員については、資格者（警備業法第２３条に規定する都・県公安委員会の行う１級又は２級検定に合格した者）を１名以上を充て、他は経験１年以上の者を配置すること。

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第４２条　路上工事の縮減等

受注者は路上工事による交通への影響の緩和を図るため、施工方法・規制時間帯・施工日数の短縮等の検討を行い、監督職員へ提出するとともに工事完了時に実施結果を提出するものとし、路上工事の縮減に努めるものとする。

第４３条　交通規制日数の報告

現道上での（改築・維持修繕）工事等により交通規制を実施した場合には、月毎に実交通規制日数を監督職員へ提出するものとする。

第４４条　特定調達品目調達実績の調査について

受注者は、本工事の資材、建設機械の使用にあたっては、必要とされる強度や耐久性、機能の確保等に留意しつつ、環境物品等の調達の推進に関する基本方針に定められた国土交通省の特定調達品目（以下、「特定調達品目」という）の使用を積極的に推進するものとする。設計図書に定めがあるものについて、特定調達品目への変更が可能である場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

ただし、東日本大震災の影響により、特定調達品目の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。

受注者は、特定調達品目の調達実績の集計を行い、工事完了後に、電子データにより監督

職員に提出する。

ものとする。集計の方法については、監督職員より指示する。

第４５条　環境対策（建設機械の使用）

受注者は、本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和６２年３月３０日建設省経機第５８号）に基づき低騒音型建設機械の使用原則を図られた場合は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」（平成９年建設省告示第１５３６号、最終改正平成１３年国土交通省告示４８７号）に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。

第４６条　交通安全管理

受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

１．積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
２．さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
３．過積載車輌、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等過積載等を助長することのないようにすること。
４．取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行った場合、さし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
５．建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
６．以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

第４７条　特殊車両通行許可関係図書の確認及び提出

共通仕様書１－１－１－３７交通安全管理第１４項における道路法第４７条の２に基づく通行許可の確認は、下記について実施するものとする。また監督職員からの求めがあった場合には確認結果等を提示しなければならない。

①当該車両に関する特殊車両通行許可証
②現場到着地点及び現場出発時における荷姿（荷姿全景、ナンバープレート等通行許可証と照合可能な写真を撮影しておくこと）
③車両通行記録計（タコグラフ）（夜間走行条件の場合のみ）

なお、当該車両の特殊車両通行許可証については、当該経路に関する部分の写しを、共通仕様書１－１－１－４０官公庁等への手続等第３項に基づき、監督職員へ提示するものとする。

第４８条　通行許可等

１．受注者は、建設機械、資材の運搬にあたり、道路法第４７条第１項、車両制限令第３条における一般的制限値を超える車両を通行させようとする場合は、運搬資機材毎に運搬計画（車種区分、車両番号等、車両諸元及び積載重量、資材の積載限度数量、通行経路、許可証等の有効期限等の確認方法と確認頻度）を作成し、施工計画書に記載しなければならない。
２．受注者は、運搬計画どおりに運行していることを確認しなければならない。
また、確認を行った資料については、整理保管するとともに、監督職員または検査職員の要求があった場合は速やかに提示しなければならない。

第４９条　工事現場の現場環境改善

１．現場環境改善として実施する内容は、下記のとおりとするが、現場条件等により実施が困難になった場合には、監督職員と協議するものとする。

(1)仮設備関係

「環境対策の充実」を実施するものとする。

(2)営繕関係

「現場休憩所の充実（交通誘導警備員待機室を含む）」を実施するものとする。

(3)安全関係

「工事標識・照明等安全施設の充実」を実施するものとする。

(4)地域連携

「現場景観向上（美装化・デザイン看板等）」を実施するものとする。

２．現場環境改善については具体的な内容、実施時期について施工計画書に含め提出するものとする。

３．主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策については、工事契約後、監督職員と協議するものとし、現場環境改善費（率計上）の１００%を上限として設計変更の対象とする。

費　　目	実 施 す る 内 容 の 例 （ 率 計 上 分 ）
仮設備関係	１．昇降設備の充実 ２．環境対策の充実 ３．ＩＣＴ設備の充実 ４．作業負荷の低減
営繕関係	１．現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） ２．労働者宿舎の充実 ３．現場休憩所の充実（交通誘導警備員待機室を含む） ４．衛生設備・厚生施設の充実等
安全関係	１．工事標識・照明等安全施設の充実 ２．盗難防止対策 ３．健康関連施設の充実 ４．野生生物・害虫対策等
地域連携	１．広報活動等（完成予想図、パンフレット、工法説明、ＰＲ看板等） ２．見学会・イベント等の開催（見学施設等設置・管理運営等含む） ３．社会貢献・地域対策費等（地域行事等の経費含む） ４．現場景観向上（美装化・デザイン看板等）

第５０条　工期変更

１．工期は、雨天、休日等８６日を見込み、工事の始期から令和９年３月３１日までとする。

なお、休日には、日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季休暇の他、作業期間内の全ての土曜日を含んでいる。

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）に加えて以下の事項を見込んでいる。

①　準備期間	５０日間
②　後片付け期間	２０日間

③雨休率（猛暑日補正有り） （実働工期日数に休日と天候等による作業不能日※を見込むための係数）	０．７４

※雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日は以下の通りである。
（当該工事の作業不能日ではない。）
イ）１日の降雨・降雪量が１０㎜/日以上の日：２５日間
ロ）８時から１７時までの WBGT 値が３１以上の時間を足し合わせた日数：６日間
（少数第１位を四捨五入（整数止め）し、日数換算した日数）
過去５か年（２０２１年～２０２５年）の気象庁（前橋観測所）及環境省（前橋地点）のデータより年間の平均発生日数を算出（雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日）

２．著しい悪天候や気象状況より工程（官積算）で見込んでいる「天候等による作業不能日」以上に作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

３．後片付け期間後に、検査に要する各種電子データの作成期間を３０日間見込んでいるが、これにより難い場合は、受注者は発注者へ工期の延長又は短縮変更を協議することができる。

４．本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間と実工事期間を合わせた全体工期を設定した工事（フレックス方式）であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できる。
なお、受注者は契約を締結するまでの間に、別紙様式－１６により、工事の始期及び終期を通知すること。
余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。
なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

全体工期：工事の始期から令和９年３月３１日まで

第５１条　工事工程クリティカルパスの共有

受注者は、現場着手前（準備期間内）に設計図書等を踏まえた工事工程表（クリティカルパスを含む）を作成し、監督職員と共有すること。工程に影響する事項がある場合は、その事項の処理対応者（「発注者」又は「受注者」）を明確にすること。

施工中に工事工程表のクリティカルパスに変更が生じた場合は、適切に受発注者間で共有することとし、工程の変更理由が以下の①～⑤に示すような受注者の責によらない場合は、工期の延長が可能となる場合があるので協議すること。

①受発注者間で協議した工事工程の条件に変更が生じた場合
②著しい悪天候や気象状況より「天候等による作業不能日」が工程（官積算）で見込んでいる日数から著しく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合
③工事中止や工事一部中止により全体工程に影響が生じた場合
④資機材や労働需要のひっ迫により、全体工程に影響が生じた場合
⑤その他特別な事情により全体工程に影響が生じた場合

第５２条　工事工程表の開示試行工事

１．本工事は、工期設定の根拠とした工事に必要な関係機関との調整、住民合意、用地確保、法定手続きなどの進捗状況を踏まえた工事工程表を開示するとともに、設計審査会等において工事工程クリティカルパスの共有や発注者が作成する工程と受注者が作成する工事工程の照合（クロスチェック）を行うことにより、適切な工期設定の取組を行う「工事工程表の開示の試行工事」である。

２．工事契約後、設計審査会等において、「前条　工事工程クリティカルパスの共有」により作成した工事工程表を確認し、受注者・発注者間でクリティカルパスの共有を行うものとする。

３．設計審査会等において、発注者が開示した工事工程表（別紙-５）との照合（クロスチェック）を実施し、必要に応じて工期延伸の判断について審査を行うなど、適正な工事工程の確保に努めるものとする。

４．本試行に関するアンケート調査を実施する場合はこれに協力すること。

第５３条　悪天候等により工期変更が必要となる場合の協議を簡素化する試行

１．受注者は、著しい悪天候により作業不稼働日が多く発生し、工期内に工事を完成することが困難な場合はその理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。

著しい悪天候とは、当該工事の工期月の雨休率が、直近５カ年における工期月の雨休率の平均値を超える場合をいう。

工期月とは、工事着手日から工事完成予定日までの期間のうちの、工期の延長変更請求時までにかかる月（ただし、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は除く）をいう。

なお、本工事の降雨降雪日は、「国道５０号前橋笠懸道路」、「国道１７号上武道路」は伊勢崎観測所（気象庁のデータ）、「国道１７号高松立体」は前橋観測所（気象庁のデータ）、「国道１７号綾戸バイパス」は沼田観測所（気象庁のデータ）、「国道１８号高崎安中拡幅」は上里見観測所（気象庁のデータ）における１日の降雨・降雪量雨が１０㎜以上/日の日を想定している。

２．アンケート調査を行う場合は、これに協力すること。

第５４条　個人情報の取扱について

（基本的事項）

１．受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務を処理するための個人情報の取扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の保護に関する法律（平成１５年５月３０日法律第５７号）第６６条第２項第１号の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない。

（秘密の保持）

２．受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。

この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

（取得の制限）

３．受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。

また、当該利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を取得しなければならない。

（利用及び提供の制限）

４．受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための利用目的以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

（複写等の禁止）

５．受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するために発注者から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

（再委託の禁止）

６．受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための個人情報については自ら取り扱うものとし、第三者にその取り扱いを伴う事務を再委託してはならない。なお、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）には、受注者は当該第三者に対して、個人情報の保護に関する法律（平成１５年５月３０日法律第５７号）第６６条第２項第４号に基づく個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じさせなければならない。

（事案発生時における報告）

７．受注者は、個人情報の漏えい等の事案が発生し、又は発生するおそれがあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

（資料等の返却等）

８．①受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から貸与され、又は受注者が収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、この契約の終了後又は解除後速やかに発注者に返却し、又は引き渡さなければならない。ただし、発注者が廃棄又は消去など別の方法を指示したときは、当該指示に従うものとする。なお、発注者の指示または承諾により個人情報が記録された資料等を複写等した場合には、確実にそれらを廃棄または消去するとともに、証明書（別紙－２）を発注者に提出しなければならない。

②前項の規定は、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）において準用する。

（管理の確認等）

９．発注者は、受注者における個人情報の管理の状況について適時確認することができる。また、発注者は必要と認めるときは、受注者に対し個人情報の取り扱い状況について報告を求め、又は検査することができる。

（管理体制の整備）

１０．受注者は、この契約による事務に係る個人情報の管理に関する責任者を特定するなど管理体制を定めなければならない。

（従事者への周知）

１１．受注者は、従事者に対し、在職中及び退職後においてもこの契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならないことなど、個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

第５５条　施工時期及び施工時間の変更

本工事は、下記の工事による影響箇所の工事着手については監督職員の指示によるものと

する。

本工事の作業区分は下記によるものとする。

作業区分	施　工　区　分	標準作業時間
昼間作業	全ての工事	８：００～１７：００

上記については、積算上の条件明示であり、作業時間を指定するものではない。

※各々の標準作業時間には、日々の作業準備、後片付け、ＫＹ等安全活動なども含まれる。

ただし、上記区分に変更を要する場合は、監督職員と協議するものとする。

第５６条　他工事との調整

１．下記工事の受注者とは、現場が連続し施工が輻輳することから、施工手順・工程については十分な打ち合わせを行い、工事の円滑な進捗に努めるものとする。

２．本工事との調整工事は以下のとおりとする。

【国道５０号前橋笠懸道路】

工事名	施工範囲	工期（予定）
Ｒ７国道５０号前橋笠懸道路 二之宮地区改良その５工事	道路改良 №3+90～№8+13	令和８年４月～令和８年１２月
Ｒ７国道５０号前橋笠懸道路 赤堀今井地区改良その５工事	道路改良 №51+20～№53	令和８年４月～令和９年１月
Ｒ６国道５０号前橋笠懸道路 赤堀今井地区改良その４工事	道路改良 №59+80～№64+82.38	令和７年４月～令和８年６月

【国道１７号綾戸バイパス】

工事名	施工範囲	工期（予定）
Ｒ５国道１７号綾戸ＢＰ棚下 地区改良その１工事	道路改良 №20+10.717～№0+0.0	令和６年３月～令和８年６月

【国道１８号高崎安中拡幅】

工事名	施工範囲	工期（予定）
Ｒ７・８国道１８号高崎安中拡 幅安中地区改良工事	道路改良 №295+19.85～№284+0.0	令和８年１月～令和８年１１月

第５７条　新技術の活用「新技術の定義」

１．本工事は、新技術活用の促進を図ることを目的とした、新技術活用工事である。

２．新技術の定義

新技術活用の原則化における新技術の定義は以下による。

①技術の成立性が技術を開発した民間事業者等により実験等の方法で確認されている技術

②公共工事等において実用段階に達している技術

③当該技術の適用範囲において従来技術に比べて活用の効果が同程度以上の技術又は同程度以上と見込まれる技術

④実用段階に達していない技術又は要素技術など研究開発段階にある技術であって国により導入促進を図る技術

３．対象とする新技術

新技術活用の原則義務化の対象とする新技術は以下のとおりとする。

１）新技術情報提供システム（NETIS）登録技術

URL https://www.netis.mlit.go.jp

２）NETIS のテーマ設定型の技術比較表に掲載されている技術

３）新技術導入促進（Ⅱ）型により活用する技術

４）新技術のニーズ・シーズマッチングにより現場実証し、従来技術と同等以上と確認できた技術

対象とする技術は、NETIS「マッチング」に掲載された技術のうち、「普及促進技術」に該当するものとする。

なお、NETIS 掲載期間終了技術は対象外とする。

第５８条　新技術の活用（施工者選定型）

１．本工事は、施工者が原則１技術以上の新技術を選択したうえで活用を図る新技術活用工事である。

２．本工事において、第５７条　新技術の活用「新技術の定義」３．対象とする新技術に示す１）～４）の技術が選定されていない場合、受注者は施工に先立ち、当該工事内容について十分把握の上、新技術を原則一つ以上選定し、監督職員の承諾を得た上で活用するものとし、活用する新技術の名称及び内容等を施工計画書に記載するものとする。

活用する新技術が NETIS 登録技術の場合は新技術活用計画書も提出するものとする。

３．受注者は、選定した新技術が第５７条　新技術の活用「新技術の定義」３．対象とする新技術に示す１）～４）のいずれの新技術であるか確認できるよう、施工計画書に記載する。

４．当該技術については、設計図書等で定められた事項に係る部分でない場合は、設計変更の対象としない。

５．受注者は、試行現場照会中の技術を活用する場合において当該技術の施工にあたり NETIS 申請者が実施する「試行調査」に協力するものとする。

なお、試行調査に係る費用は NETIS 申請者が負担する。

６．試行現場照会中の技術を活用する場合、当該工事の実施箇所において標準的に使用される技術の施工費相当額を超える費用については、試行調査に係る費用とみなし、NETIS 申請者の負担とする。

７．受注者は、活用する新技術が情報種別記号「－ＶＥ」以外の NETIS 登録技術の場合は、当該技術の施工にあたり「活用効果調査」を行うものとする。「活用効果調査」は「新技術情報提供システム(NETIS)」より作成し、監督職員に提出するものとする。

８．受注者は、本工事によって知り得た当該技術に係わる情報は、監督職員の許可なく公表してはならない。

第５９条　建設現場の遠隔臨場における遠隔臨場の実施（発注者指定型）

１．建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）と Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものとする。

なお、遠隔臨場の実施にあたっては「建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）Ｒ５．３」を参考に実施するものとする。

「URL　https://www.mlit.go.jp/tec/content/001594449.pdf」

２．遠隔臨場を適用する工種、確認項目

現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用する工種・確認項目を選定することとする。

３．実施内容

（１）段階確認・材料確認、立会での確認

①受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により取得した映像及び音声を Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うものとする。

②確認実施者が現場技術員の場合、現場技術員は使用する PC にて遠隔臨場の映像（実施状況）を画面キャプチャ等で記録し、情報共有システム（ASP）等に登録して保管する。（従来の立会資料の管理と同様とする。）

（２）動画撮影

動画撮影は、撮影者の安全を確保するため、撮影者が移動の際に横転等が考えられるいわゆる「歩きスマホ」（カメラを手に持って歩きながら撮影）での撮影はしないこと。

動画撮影は、静止して撮影又は撮影者のヘルメットや胸ポケットに付ける等の安全に配慮するものとする。

（３）機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し決定するものとする。

なお、配信に利用するシステムは、「パッケージ化したシステム」、「情報共有システム（ASP）」、「Web 会議システム（teams､zoom 等）」等、何れのシステムを利用してよい。

（４）遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行うものとする。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。

なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

（５）フォローアップ調査

工事完了時に別紙様式-１９を監督職員へ提出するものとする。

また、遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。

詳細は、監督職員の指示によるものとする。

（６）費用

遠隔臨場にかかる費用については、工事実施に必要な施工管理費として、全必要額を技術管理費に積み上げ計上し、設計変更するものとする。

なお、機器の手配は基本的にリースとし、その賃料を計上するものとするが、やむを得ず購入せざるを得ない機器がある場合は、その購入費に、機器の耐用年数に対す

る使用期間（日単位）割合を乗じた分を計上するものとする。

また、受注者が所持する機器を使用する場合も、基本的には同様の考え方とするものとする。

（７）不正行為

遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、「建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準　令和７年１２月１２日（国不建第１２１号）」等に従い、監督処分を実施する場合がある。

第６０条　建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

１．建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

「遠隔臨場を活用した工事検査」は、受注者における「工事検査に伴う移動時間の削減や工事関係書類の簡素化」や発注者（監督職員・検査職員）における「現場実地（現場臨場）の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、３６０度カメラ等）と Web 会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査項目を遠隔で行うものである。なお、遠隔臨場による工事検査は、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』の内容に従い実施する。

２．遠隔臨場を活用した工事検査の対象

遠隔臨場を活用した工事検査は、完成検査、中間技術検査、既済部分検査、完済部分検査における、工事実施状況、出来形、品質、出来ばえの各検査項目を対象とし、以下の表に示す。また、全ての検査を対象とするが、現場条件や、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「７．３検査項目の適応性」を踏まえ、従来方法（対面書類検査、現場実地検査）を選択することも可能である。

凡例　○：遠隔臨場による工事検査の対象

	工事実施状況	出来形		品質		出来ばえ	
	書類	書類	実地	書類	実地	書類	実地
完成検査	○	○	○	○	○	○	○
中間技術検査	×	×	×	×	×	×	×
既済部分検査	○	○	○	○	○	○	○
完済部分検査	○	○	○	○	○	○	○

３．遠隔臨場を活用した工事検査を適用する検査項目

現場条件により遠隔臨場による工事検査の適応性が一致しない場合も想定されることから、検査項目での適用・不適用については、監督職員が検査職員と調整・決定し、受注者に遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目を連絡する。遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目については、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ判断する。

４．実施内容

（1）技術検査、工事検査での実施

受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、３６０度カメラ等）により取得した映像及び音声を Web 会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの

各検査を実施するものである。

（2）機器の準備

遠隔臨場による工事検査に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員と協議し決定するものとする。

（3）遠隔臨場による工事検査を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場による工事検査が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で予備日を取り決めて検査日を連絡する。

（4）効果の検証

遠隔臨場による工事検査を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

（5）費用

遠隔臨場による工事検査にかかる費用については、受発注者間の協議を踏まえ、技術管理費に積上げ計上する。なお、監督業務で遠隔臨場を実施する工事については、遠隔検査を行うために追加で要する費用が生じた場合に監督職員と協議するものとする。

（6）不正行為

遠隔臨場による工事検査において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準 令和７年１２月１２日（国不建第１２１号）』等に従い、監督処分を実施する場合がある。

第６１条　契約後ＶＥ方式

ＶＥ提案の定義について

「ＶＥ提案」とは、契約書第１９条の２の規定に基づき、設計図書に定める工事の目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする工事材料、施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案である。

ＶＥ提案の意義及び範囲について

１．受注者がＶＥ提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のものとする。

２．以下の提案は、ＶＥ提案の範囲に含まないものとする。

（１）施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案。

（２）契約書第１８条に規定された条件変更等に該当する事実との関係が認められる提案。

（３）提案の実施に当たり、関係機関協議等、第三者との調整等を要する提案。

ＶＥ提案書の提出について

３．受注者は、前項のＶＥ提案を行う場合は、次に掲げる事項をＶＥ提案書（別紙様式－１～４）に記載し、発注者に提出しなければならない。

（１）設計図書に定める内容とＶＥ提案の内容の対比及び提案理由

（２）ＶＥ提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）

（３）ＶＥ提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠

（４）発注者が別途発注する関連工事との関係

（５）工業所有権等の排他的権利を含むＶＥ提案である場合、その取扱いに関する事項

（６）その他ＶＥ提案が採用された場合に留意すべき事項

４．発注者は、提出されたＶＥ提案書に関する追加的資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。

５．受注者は、前項のＶＥ提案を契約の締結日より、当該ＶＥ提案に係る部分の施工に着手する３５日前までに、発注者に提出できるものとする。
６．ＶＥ提案の提出費用は、受注者の負担とする。
ＶＥ提案の審査について
提出されたＶＥ提案は、施工の確実性、安全性が確保され、かつ設計図書に定める工事の目的物と比較し、機能、性能等が同等以上で経済性が優位であると判断されるものについては、ＶＥ提案として採用することを原則として審査を行い、当該提案の採否を決定するものとする。
ＶＥ提案の採否等について
ＶＥ提案の採否について、原則として、ＶＥ提案の受領後１４日以内に書面（別紙様式－５）により通知するものとする。ただし、受注者の同意を得た上でこの期間を延長することができるものとする。
また、ＶＥ提案を採用しなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。
ＶＥ提案を採用した場合の設計変更等について
７．ＶＥ提案を採用した場合において、必要があるときは、発注者は設計図書の変更を行わなければならない。
８．前項の規定により設計図書の変更が行われた場合において、発注者は、必要があるときは請負代金額を変更しなければならない。
９．前項の変更を行う場合においては、ＶＥ提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の１０分の５に相当する金額（以下「ＶＥ管理費」という。）を削減しないものとする。
１０．ＶＥ提案を採用した後、契約書第 18 条の条件変更が生じた場合、発注者がＶＥ提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。
なお、ＶＥ管理費については、原則として、変更しないものとする。
ＶＥ提案の活用と保護について
評定の結果、当該ＶＥ提案内容の活用が効果的であると認められた場合は、他の工事においても積極的に活用を図るものとする。その場合、工業所有権等の排他的権利を有する提案については、当該権利の保護に留意するものとする。
ＶＥ提案の責任の所在について
発注者がＶＥ提案等を採用し、設計図書の変更を行った場合においても、ＶＥ提案を行った受注者の責任が否定されるものではない。

第６２条　生産性向上チャレンジ工事

１．試行の実施
本工事は、受注者の発案による施工手順の工夫等の創意工夫による生産性向上の取組みを推進する「生産性向上チャレンジ」の試行対象工事である。
２．試行の内容
工事契約後、受注者は、当該工事において、省人化等の生産性向上に資する取組みを実施することができる。
本取組みを実施する場合は,施工計画書に「生産性向上チャレンジ工事」の項目を設け、①
取組み内容②期待される効果等を明記するものとし、完成検査までに実施内容及び効果を報告するものとする。また、期待される効果等について、人員削減や作業時間削減等の定量的な効果を記載できる場合は記載することとする。

なお、「技術提案で提案済みの内容」及び「特記仕様書第５７条　新技術活用「新技術の定義」」において採用した取組みについては本試行の対象外とする。

３．工事成績評定

施工計画書で位置づけられた「生産性向上チャレンジ工事」の取組の履行が確認できた場合は加点を行うこととする。

４．本試行に係る費用については、原則、受注者負担によるものとする。

第６３条　出来高部分払方式

本工事の部分払は、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施し、円滑かつ速やかな工事代金の流通を確保することによって、より双務性及び質の高い施工体制の確保を目指すため、「出来高部分払方式実施要領」[国土交通省ＨＰ https://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000052.html 参照]に基づき行うものとする。

第６４条　施工箇所が点在する工事の適用

本工事は、施工箇所が点在する工事であり、国道５０号前橋笠懸道路、国道１７号高松立体、国道１７号上武道路、国道１７号綾戸バイパス、国道１８号高崎安中拡幅で施工を行う工事である。

第６５条　１日未満で完了する作業の積算

１．「１日未満で完了する作業の積算」の適用が可能な工事である。

２．受注者は、土木工事標準積算基準による金額相当と乖離があった場合に、「１日未満で完了する作業の積算」の適用について協議の発議を行うことができる。

３．同一作業員の作業が他工種・細別の作業と組合せで１日作業となる場合には、「１日未満で完了する作業の積算」は適用しない。

４．受注者は、協議に当って、「１日未満で完了する作業の積算」に該当することを示す書面その他協議に必要となる根拠資料（日報、実際の費用がわかる資料等）を監督職員に提出すること。実際の費用がわかる資料（見積書、契約書、請求書等）により、土木工事標準積算基準による金額相当との乖離が確認できない場合には、「１日未満で完了する作業の積算」は適用しない。

５．通年維持工事、災害復旧工事等で人工精算する場合、「時間的制約を受ける公共土木工事の積算」を適用して積算する場合等、「１日未満で完了する作業の積算」以外の方法によることが適当と判断される場合には、適用しない。

６．「１日未満で完了する作業の積算」「３．判定方法（３）判定に使用する作業量の考え方」により、別箇所として扱う箇所は、第６４条　の箇所とする。

第６６条　直轄土木工事における賃金・労働時間等の実態調査（試行）

１．本工事は、受注者の協力の下、賃金・労働時間・労務費（以下「賃金・労働時間等」という。）の実態を調査する試行工事である。

２．受注者は、契約締結後、賃金・労働時間等の実態調査に協力する意向がある場合には、実態調査に協力する工種・種別・細別（以下、「工種等」という。）を発注者へ報告するものとする。

３．発注者は、実態調査に協力する工種等の報告を受けた工種等より調査対象を選定するとともに、調査対象工種等の施工が完了した後、受注者は、別途監督職員より通知される実態調査要領に基づき資料を提出するものとする。

４．発注者は、提出された資料をもとに賃金、労働時間等の実施率・達成率を算出後、積算上の作業時間を示した資料を提出するとともに、賃金、労働時間等の実施率・達成率を工事完成検査後に受注者、下請業者（注文者）、下請業者（使用者）に通知するものとする。

第６７条　猛暑期間における現場施工回避の協議

猛暑期間の現場施工を回避することにより工期延期が必要となる場合には、監督職員と議を行うことができる。

第６８条　猛暑時間における現場施工回避（早朝・夜間施工）の支援

受注者は、猛暑時間における現場施工回避（早朝・夜間施工）するにあたり、警察や地元等との調整を行う際に、監督職員の臨場について協議することができる。

第２章　土　　工

第６９条　建設発生土の受け入れ地

発生土、残土の仮置き場は、国道５０号前橋笠懸道路事業用地（群馬県伊勢崎市野町地先）とする。

・国道５０号前橋笠懸道路からの搬出

１）受入距離は、２．０ｋｍとする。

２）発生土の種類　土砂（岩塊・玉石混り土含む）

３）受入時間　８時００分～１７時００分

４）小割、仮置き等の有無　無

５）受入地での処理方法は、整地を見込んでいる。

第７０条　作業土工（床掘・埋戻し）

・国道５０号前橋笠懸道路

構造物の床掘により発生した土砂は埋戻しに利用するものとする。また残土は国道５０号前橋笠懸道路事業用地（群馬県伊勢崎市野町　Ｌ＝２．０ｋｍ以下）に運搬し、整地するものとする。運搬先については監督職員より別途指示する。

第３章　無筋・鉄筋コンクリート

第７１条　レディーミクストコンクリート

１．コンクリートは、レディーミクストコンクリートを原則とし、下記の仕様によるものとする。

No.	使用区分	呼び強度	粗骨材の最大寸法	水セメント比	セメントの種類	摘要

		N/㎟	㎜	％以下		
1	均しコンクリート 現場打集水桝 （１）～（５）	１８	２５（２０）	－	高炉セメント Ｂ種	
2	現場打集水桝 （６）～（１１）	１８	４０	60	高炉セメント Ｂ種	

No.	参考スランプ ※注１
	㎝
1	８
2	８

ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

※注１

本工事の特記仕様書、数量総括表及び図面に記載されたスランプは、積算上の参考値である。

現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたっては、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン（平成 29 年 3 月）」を基本とし、構造物の種類、部材の種類と大きさ、鋼材の配筋条件、コンクリートの運搬、打込み、締固め等の作業条件を適切に考慮し、スランプ値を設定するものとする。契約後に受発注者間でスランプ値の確認を行い、施工条件等により、協議の上、スランプを指定することができる。

ただし、（１） 使用するコンクリートの単位水量、単位セメント量、水セメント比を配合計画書により確認する（２）使用するコンクリートの目標スランプが 12cm を超える場合には、（１）に加え、試し練りを行い材料分離抵抗性を確認すること。

２．コンクリートの耐久性向上の対策は「コンクリートの耐久性向上」仕様書（土木編）（平成１４年８月一部改正）により行うものとする。

第７２条　配合

水セメント比については、示方配合表により監督職員の確認を得なければならない。なお、水セメント比を減じることにより施工性が著しく低下する場合は、必要に応じて、高性能減水剤の使用等を検討しなければならない。また、下記構造物については適用除外とする。

・仮設構造物（建設後数年の内に撤去するもの。）
・最大高さ１ｍ未満の擁壁・水路・側溝及び街渠等の構造物。
・管（函）渠等（φ６００未満、６００㎜×６００㎜未満）の構造物。
・道路照明、標識、防護柵等の構造物。
・耐久性を期待しない構造物。

第７３条　モルタル

モルタルに使用するセメントの種類は、普通ポルトランドセメントでセメント量は、５３０kg/m3 以上（又は１：３）とする。

第７４条　型枠穴孔の補修

型枠セパレータで除去タイプのコーンを用いる場合は、セパレータ端部が鉄筋かぶり内に残らないようにすること。

また、モルタル等による型枠穴孔の補修を行う場合は、専用コテ等で入念に仕上げること。

型枠穴孔の補修材の落下による第三者被害が想定される箇所については、落下の懸念が少ない方法によることとし、その方法を施工計画書に記載しなければならない。

第２編　材料編

第１章　土木工事材料

第７５条　その他の砂利、砕石、砂

構造物の基礎にはＲＣ－４０を使用するものとする。

第７６条　低炭素型コンクリート試行工事（プレキャスト）

本工事は、建設関連業界等のカーボンニュートラルに向けた取組を促進するとともに、調達上の課題等を検証するため、セメント置換率の高いコンクリートなどのコンクリート製造時のＣＯ２排出量（コンクリートの材料のＣＯ２排出を含む）を削減した「プレキャスト製品による低炭素型コンクリート」の試行工事である。

①低炭素型コンクリート製品の規定・確認

低炭素型コンクリートはポルトランドセメントの置換率が５５％以上のもの又はこれと同等以上のＣＯ２排出削減効果のあるものとする。受注者は、低炭素型コンクリート製品の購入前に、以下が確認出来る資料を監督職員に提出し、施工数量について監督職員と協議するものとする。

・低炭素型コンクリート製品の出荷を予定している工場の所在
・低炭素型コンクリート製品の出荷を予定している工場と施工現場までの運搬距離
・低炭素型コンクリート製品の見積書
・低炭素型コンクリート製品によるＣＯ２排出削減効果（算出可能な場合に限る）

低炭素型コンクリート製品の配合品質証明書等を監督職員に提出し、監督職員は置換率が５５％以上であること又は同等以上のＣＯ２排出削減効果があることを確認するものとする。なお、費用対効果等を考慮し、低炭素型コンクリートを使用しない場合がある。

②試行工事の実施に要する費用

当該試行工事の実施に要する低炭素型コンクリート製品の費用は見積によるものとし、設計変更の対象とする。

③試行結果の検証への協力

施行にあたり受注者は実施状況や結果検証のための調査に協力するものとする。

第３編　土木工事共通編

第１章　総　　則

第７７条　現場技術員

本工事は、現場技術員の配置対象工事であり、現場技術業務を建設コンサルタント等に委託する予定としている。

第７８条　座標値

本工事の契約図書に記載されている座標は以下のとおり

工種	測地系	平成２３年（２０１１年）東北地方太平洋沖地震に伴う座標補正の必要の有無
国道５０号前橋笠懸道路	世界測地系 2000	無
国道１８号高崎安中拡幅	世界測地系 2011	無

座標補正を行う必要がある場合は、補正の実施内容について監督職員と協議するものとする。

第７９条　施工体制調査員

本工事は、現場における施工体制の点検補助を建設コンサルタント等に委託している。また、本工事の施工体制の点検を担当する施工体制調査員の氏名は、別途監督職員より通知する。

なお、施工体制調査員は、工事の情報共有システム（ＡＳＰ）により電子書類を閲覧し、点検を行うため、施工体制調査員を情報共有システム（ＡＳＰ）のユーザーに登録するものとする。（「閲覧のみ可能」で登録）

第８０条　施工体制の点検

１．受注者は「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成１２年法律第１２７号　最終改正令和６年１２月１３日)第１５条３により発注者から施工体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。

２．施工体制の点検員は当該工事の監督職員、施工体制調査員及び発注担当事務所の職員である。

３．施工体制調査員は、業務証明書を携帯し、胸に委託業務名、委託先、業務職（施工体制調査員）、氏名、顔写真の入った名札を着用している。

４．当該工事の監督職員及び発注担当事務所の職員は、所属、氏名、顔写真の入った名札を着用している。

５．施工体制調査員は、施工体制の点検を行う者で、指示等の権限は有しない。

６．施工体制調査員は、電子書類の点検を工事の情報共有システム（ＡＳＰ）により「閲覧」し、点検する。

７．施工体制調査員は、第１回目の現地点検は現地で点検するが、以降の点検は、映像により点検が可能な項目は、必要に応じ、工事の受注者が導入しているＷＥＢ会議や遠隔臨場システムを活用し、点検することを可能とする。

ただし、立会や打合せ等においてＷＥＢ会議や遠隔臨場システムを導入していない工

事や現地での点検を希望する工事は、従来通り、現地で点検する。

第８１条　品質証明

本工事は、品質証明対象工事とする。なお、提出様式は別紙様式－１２によるものとする。

第８２条　工事完成図書の納品

１．本工事は電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「工事完成図書の電子納品等要領（令和５年３月）：（以下「要領」という。）」に基づいて作成した電子データを指す。

「要領」で特に記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定する。

なお、電子納品の運用にあたっては、「電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】（令和６年３月）」を参考とするものとする。

２．本工事は「オンライン電子納品実施要領」に基づき、オンライン電子納品を行うものとする。

オンライン電子納品は、発注者が用意した電子納品保管管理サーバへのオンラインによる納品を原則とする。

なお、オンラインによる納品が実施できない場合は、監督職員と協議の上、電子媒体に格納して納品するものとする。

３．成果品の提出の際は、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで提出すること。

第８３条　書類限定検査

１．本工事は、検査に必要な書類を限定し、監督職員と技術検査官の重複確認廃止の徹底及び受注者における説明用資料等の書類削減により効率化を図る「書類限定検査」の対象である。

２．書類限定検査とは、検査時に下記の１０書類に限定して資料検査を行うものとする。

①施工計画書	⑥出来形管理図表
②施工体制台帳（下請引取検査書類を含む。）	⑦品質管理図表
③工事打合せ簿（協議）	⑧品質規格証明書
④工事打合せ簿（提出）	⑨品質証明書
⑤工事打合せ簿（承諾）	⑩工事写真

なお、以下の工事については対象外とする。

・「低入札価格対象工事」又は「監督体制強化工事」は対象外

・施工中、監督職員より文書等により改善指示が発出された工事は対象外

３．実施状況や改善点等を把握するためのアンケートに協力する。

第８４条　ウイルス対策

受注者は、電子納品時のみならず、監督職員に工事に関する事項について電子データを提出する際には、ウイルス対策を実施した上で提出しなければならない。

また、ウイルスチェックソフトは常に最新データに更新（アップデート）しなければならない。

受注者は、日々の作業が終了した時に速やかに関係書類（出来高報告）を作成し、その確認を受けなければならない。

第４編　道路編

第１章　道路維持

第８５条　一般事項

応急処理とは道路上で発生し、短時間で処理可能な全般的な作業をいう。

１．作業日、作業場所、作業内容は全て監督職員の指示に基づいて行うものとする。

２．作業終了後、関係書類を速やかに提出し、監督職員の確認を得るものとする。

３．応急処理（処置）の数量は、別紙Ａの応急処理内訳表に示すとおりであるが、監督職員との協議により設計変更の対象とする。

第５編　その他

第８６条　道路台帳

道路台帳等の資料作成は、監督職員の指示により作成し、提出するものとする。

第８７条　震災対策

１．地震発生等の天災に備えて、あらかじめその対応策を定めておくものとする。

２．地震注意情報等が発令された場合は、直ちに工事を中断し、その情報に応じた適切な保全措置を講ずるものとする。

第８８条　地震発生後の建設工事現場の点検について

地震発生後の建設工事現場の点検実施及び報告時期については、以下によることとする。

①気象庁地震計で震度４の地震が発生した場合。

イ）現場稼働日（開庁日）の夜間に発生した場合には、翌現場稼働日（開庁日）の始業時に点検。異常があった場合は直ちに監督職員に報告。異常が無い場合は、開庁日に速やかに監督職員へ報告。

ロ）現場休工日（閉庁日）に発生した場合には、翌現場稼働日（開庁日）の始業時に点検。異常があった場合は直ちに監督職員に報告。異常が無い場合は、開庁日に速やかに監督職員へ報告。

※開庁日に現場が休工であった場合は開庁日を優先して判断し建設工事現場の点検を

行うこと。
②気象庁地震計で震度５弱以上の地震が発生した場合。
夜間・現場休工日（休祭日）に関わらず直ちに点検。点検結果については、速やかに監督職員へ報告。

第８９条　道路施設基本データの作成

本工事完成時には、以下に示す『道路施設基本データ』を作成し、監督職員に提出するものとする。ただし、本工事に該当しない施設の基本データは作成しないものとする。

なお、完成後でも、発注者は受注者に対して、『道路施設基本データ』の内容について、説明を求めることがある。

１．道路施設基本データの種類

区分	施設番号	施設名	区分	施設番号	施設名
道路構造	C020	縦断勾配	付属物および付属施設	E060	道路情報板
	C030	平面線形		E070	交通遮断機
	C050	舗装		E080	Ｉ．Ｔ．Ｖ
	C060	道路交差点		E090	車両感知器
	C070	鉄道交差点		E100	車両諸元計測施設
	C080	歩道及び自転車歩行車道		E110	気象観測施設
	C090	独立専用自歩道		E120	災害予知装置
	C100	中央帯		E130	自動車駐車場等
	C110	環境施設帯		E140	自転車駐車場
構造物	D010	橋梁		E150	雪崩防止施設
	D020	橋側歩道橋		E160	落石防止施設
	D030	横断歩道橋		E170	消雪パイプ
	D040	トンネル		E180	ロードヒーティング
	D050	洞門		E190	除雪ステーション
	D060	スノーシェッド		E200	防災備蓄
	D070	地下横断歩道		E210	共同溝
	D080	道路ＢＯＸ等		E220	ＣＡＢ電線共同溝
	D090	横断ＢＯＸ等		E230	植栽
	D100	パイプカルバート		E240	遮音施設
	D120	擁壁		E250	遮光フェンス
	D130	スノーシェルター		E270	流雪溝
	E010	防護柵		E310	防雪林
	E020	道路照明		E320	路側放送
	E030	視線誘導標（反射式）		E330	光ケーブル施設
	E040	視線誘導標（自光式）		E340	道路反射鏡
	E050	道路標識		E350	ビーコン

２．道路施設基本データの作成は、別に定める『道路管理データベースデータ作成マニュアル（案）』によるものとする。

３．道路施設基本データは、『道路施設基本データ作成システム』で作成する。
４．道路施設基本データ作成にあたって工事番号は、ＣＯＲＩＮＳ登録時の「工事契約コード番号」とする。
５．道路施設基本データに係わる以下のものを電子データにて提出すること。
①道路施設台帳作成総括表
②道路施設基本データ総括表
③道路施設基本データ一覧表
④道路施設台帳チェックシート
⑤「道路工事完成図等チェックプログラム」によるチェック結果
⑥「電子納品チェックプログラム」によるチェック結果
⑦工事数量総括表

第９０条　「問合せ番号」及び「路上規制情報システム」

受注者は、「路上規制情報提供システム」への入力を行うものとし、別途監督職員が通知する「問合せ番号」を工事情報看板及び工事説明看板に掲示するものとする。

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第９１条　工事現場における説明性の向上

受注者は、事業名、事業の目的・内容・効果、工事名、工事内容、連絡先を記した工事説明書を作成し、近隣住民等から事業内容等の説明を求められた場合は、工事の安全確保に支障のない範囲において、当該工事説明書を配布する等、工事現場の説明性の向上を図るものとする。

また、受注者は、工事現場作業員に対し、工事内容及び事業目的・効果を周知するものとする。

第９２条　特定外来生物の対応

本工事施工にあたり、道路区域内で「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」による特定外来生物が確認された場合は、速やかに監督職員に報告するものとし、対応については監督職員の指示によるものとする。

第９３条　様　式

本特記仕様書中の各様式等については、高崎河川国道事務所ホームページ（http://www.ktr.mlit.go.jp/takasaki/）の[入札・契約情報]－［技術情報］－[特記仕様書様式等]よりダウンロードすること。

ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

別紙－１

明示項目及び明示事項

明示項目	明示事項	記載条項
工程関係	□ 他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工事等に影響がある場合は、影響箇所及び他の工事の内容、開始又は完了の時期。	第５６条
	□ 施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合は、制限される施工内容、施工時期、施工時間及び施工方法。	第５５条
	□ 当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合は、制約を受ける内容及びその協議内容、成立見込み時期。	第５５条
	□ 関係機関、自治体等との協議の結果、特定された条件が付され当該工事の工程に影響がある場合は、その項目及び影響範囲。	第５５条
	□ 余裕工期を設定して発注する工事については、工事の着手時期。	第５０条
	□ 設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数。	第５０条
安全対策関係	□ 交通安全施設等を指定する場合は、その内容、期間。	第３８条
	□ 鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事での施工方法、作業時間等に制限がある場合は、その内容。	第５５条
	□ 落石、雪崩、土砂崩落等に対する防護施設が必要な場合は、その内容。	第３８条
	□ 交通誘導員、警戒船及び発破作業等の保全設備、保安要員の配置を指定する場合又は発破作業等に制限がある場合は、その内容。	第３８条
	□ 有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として、換気設備等が必要な場合は、その内容。	第３８条
建設副産物関係	□ 建設発生土が発生する場合は、残土の受入場所及び仮置き場所までの距離、時間等の処分及び保管条件。	第６９条
	□ 建設副産物の現場内での再利用及び減量化が必要な場合は、その内容。	第２７条
	□ 建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合は、その処理方法、処理場等の処理条件。 なお、再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合は、その受入場所、距離、時間等の処分条件。	第２７条
その他	□ 関係機関・自治体等との近接協議に係る条件等その内容。	第５５条

別紙－２

証明書

工事（業務）名：

受 注 業 者：

証　明　者：

個人情報が記録された資料等について、廃棄又は消去したことを証明します。

※以下は、紙により提出する場合において、押印を省略する場合のみ記載すること。
連絡先は２以上記載すること。

本件責任者（会社名・部署名・氏名）：
担当者（会社名・部署名・氏名）：
連絡先１：
連絡先２：

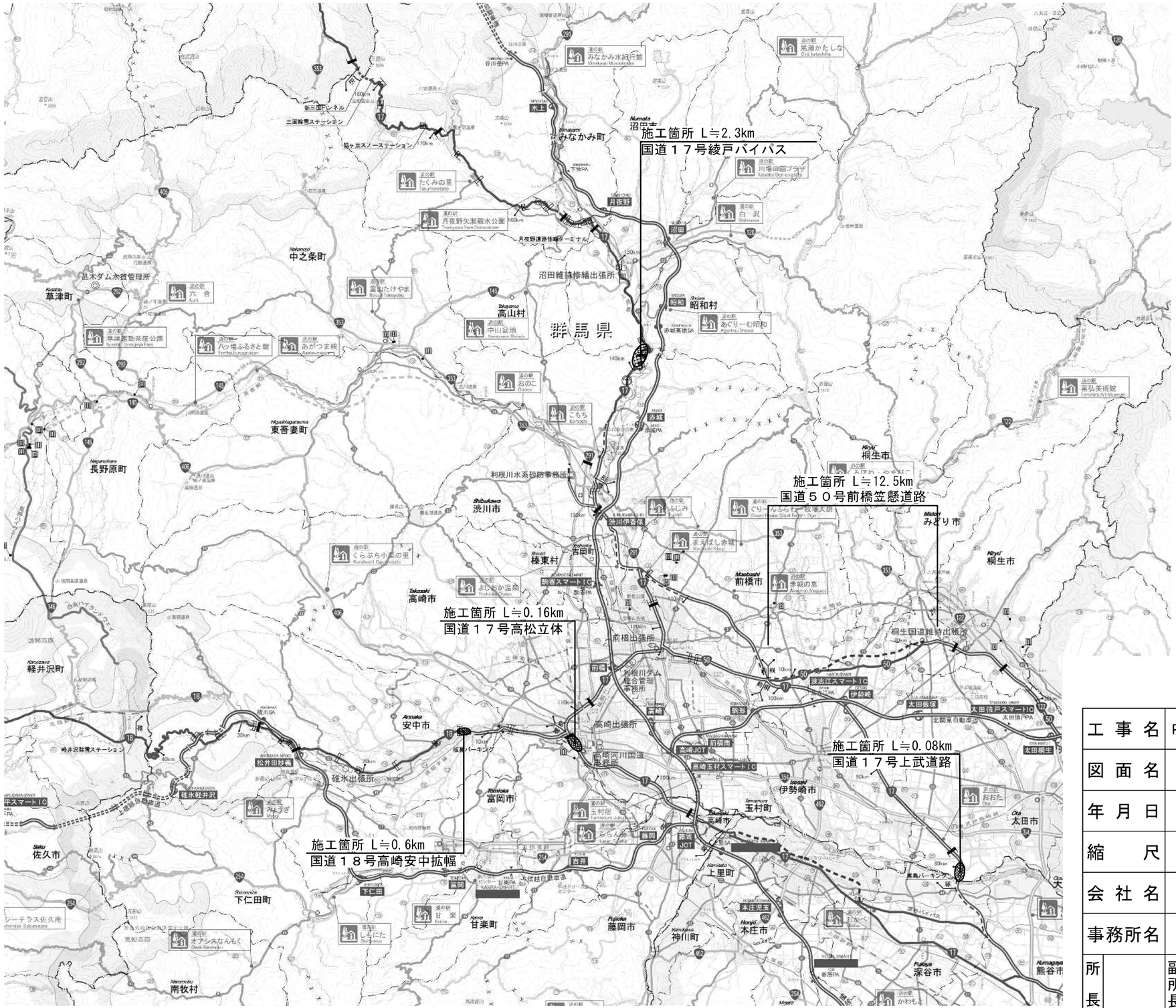
（※証明者について
工事については、「現場代理人」又は「主任（監理）技術者」が行うものとする。
業務については、「管理技術者」が行うものとする。　　）

概略工事工程表
工事名：R８国道50号前橋笠懸道路外環境整備工事

工　種		単位	数量	令和８年 5月	6月	7月	8月	9月	１０月	１１月	１２月	令和９年 1月	2月	3月	備　考（パーティ(pt)数等）
準備工															・50日間
【国道５０号前橋笠懸道路】															
排水構造物工		式	1												（1pt）
防護柵工		式	1												（1pt）
道路付属施設工		式	1												
防草シート		ｍ２	5,000												（1pt）
除草工		式	1												
道路除草工		ｍ２	300,000												（1pt）
応急処理工		式	1												（1pt）
仮設工		式	1												
【国道１７号高松立体】		式	1												
除草工		式	1												
道路除草工		ｍ２	100												（1pt）
仮設工		式	1												
【国道１７号綾戸バイパス】		式													
防護柵工		式	1												（1pt）
除草工		式	1												
道路除草工		ｍ２	15,000												（1pt）
応急処理工		式	1												（1pt）
仮設工		式	1												
【国道１８号高崎安中拡幅】															
除草工		式	1												
道路除草工		ｍ２	400												（1pt）
仮設工		式	1												
後片付け															・20日間
制約条件	関連工事	R７国道５０号前橋笠懸道路二之宮地区改良その５工事													
		R７国道５０号前橋笠懸道路赤堀今井地区改良その５工事													
		R６国道５０号前橋笠懸道路小坂今井地区改良その４工事													
		R５国道１７号綾戸ＢＰ棚下地区改良その１工事													
		R７・R８国道１８号高崎安中拡幅安中地区改良工事													
	年末年始・GW・お盆														・4月下旬～5月上旬 ・8月中旬 ・12月下旬～１月上旬
雨休率の適用		準備・後片付けを除く、雨休率（猛雪日補正あり）を適用													

工期：工事の始期から令和９年３月３１日まで

位置図　S=1:150,000



工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事			
図面名	位置図			
年月日	令和 8 年 4 月　日			
縮尺	1:150,000	図面番号	28 の 1	
会社名	株式会社　綜合技術コンサルタント 大日コンサルタント株式会社 株式会社 復建技術コンサルタント			
事務所名	国土交通省 高崎河川国道事務所			

所長		副所長		課長		係長		設計	

全体平面図(1)　S=1:20,000

国道５０号前橋笠懸道路

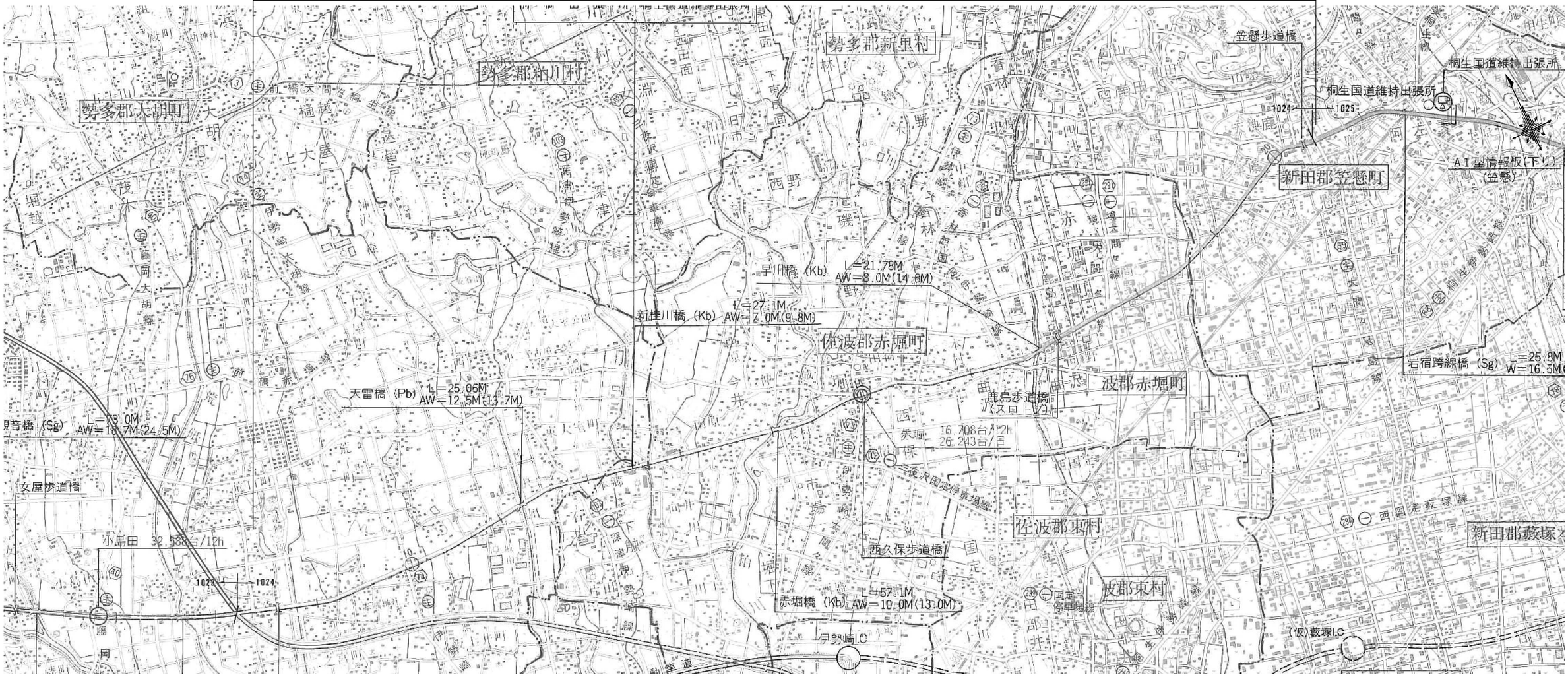
工事起点
No.0.00

工事終点
No.124.0+70.0

道路維持　排水構造物工　作業土工 1式　側溝工 1式　集水桝・ﾏﾝﾎｰﾙ工 1式　防護柵工　防止柵工　立入防止柵(木杭) L=2,000m　道路付属施設工　道路付属物工　防草ｼｰﾄ A=5,000m2

ｶﾙﾊﾞｰﾄ工　作業土工 1式　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｶﾙﾊﾞｰﾄ工 1式　除草工　道路除草工　道路除草(複合)(1) A=100,000m2　道路除草(複合)(2) A=200,000m2　除草処分 W=80,000kg

応急処理工　応急処理作業工　応急作業 1式　仮設工　交通管理工 1式



工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	全体平面図(1)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	1:20,000	図面番号	28 の 2
会社名			
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

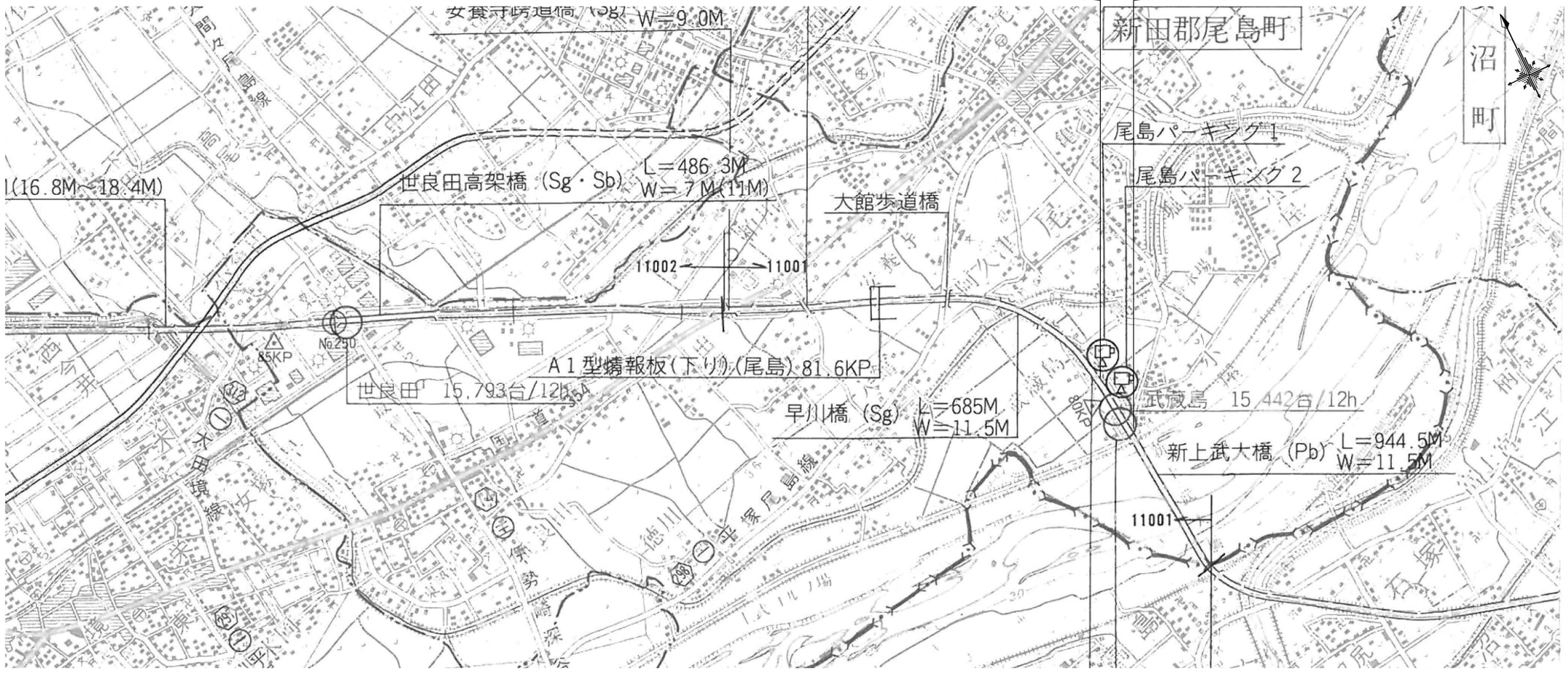
全体平面図(2)　S=1:12,500

国道１７号上武道路

工事終点
No.4+0.00

工事起点
No.0+0.00

道路維持　除草工　道路除草工　道路除草(複合)(1) A=500m2　除草処分 W=100kg　応急処理工　応急処理作業工　応急作業　１式
仮設工　交通管理工 1式



工事名	R８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	全体平面図(2)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	1:12,500	図面番号	28 の 3
会社名			
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

全体平面図(3)　S=1:12,500

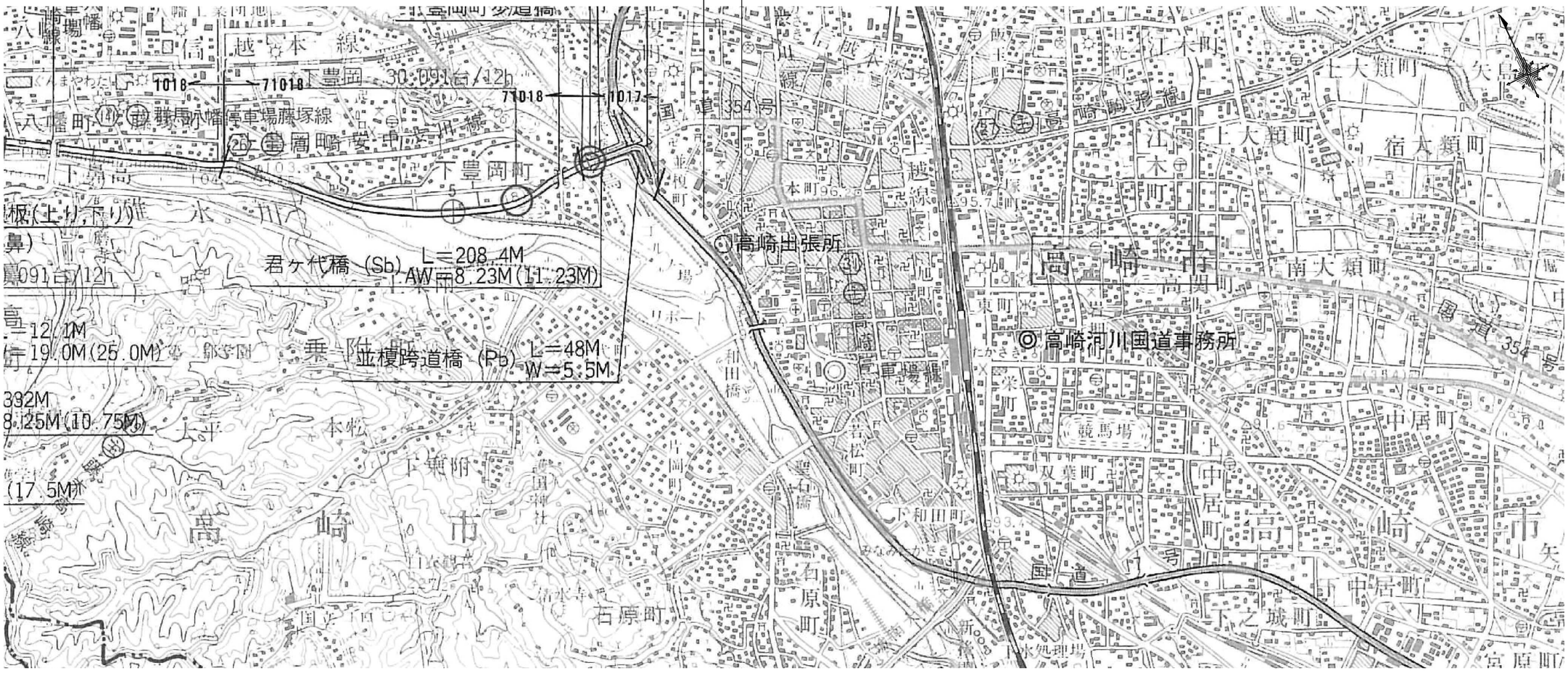
国道１７号高松立体

工事終点
No.12+0.00

工事起点
No.4+0.00

道路維持　除草工　道路除草工　道路除草(複合)(1) A=100m2　除草処分 W=50kg　応急処理工　応急処理作業工　応急作業　1式

仮設工　交通管理工 1式



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	全体平面図(3)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	1:12,500	図面番号	28 の 4
会社名			
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

全体平面図(4)　S=1:4,000

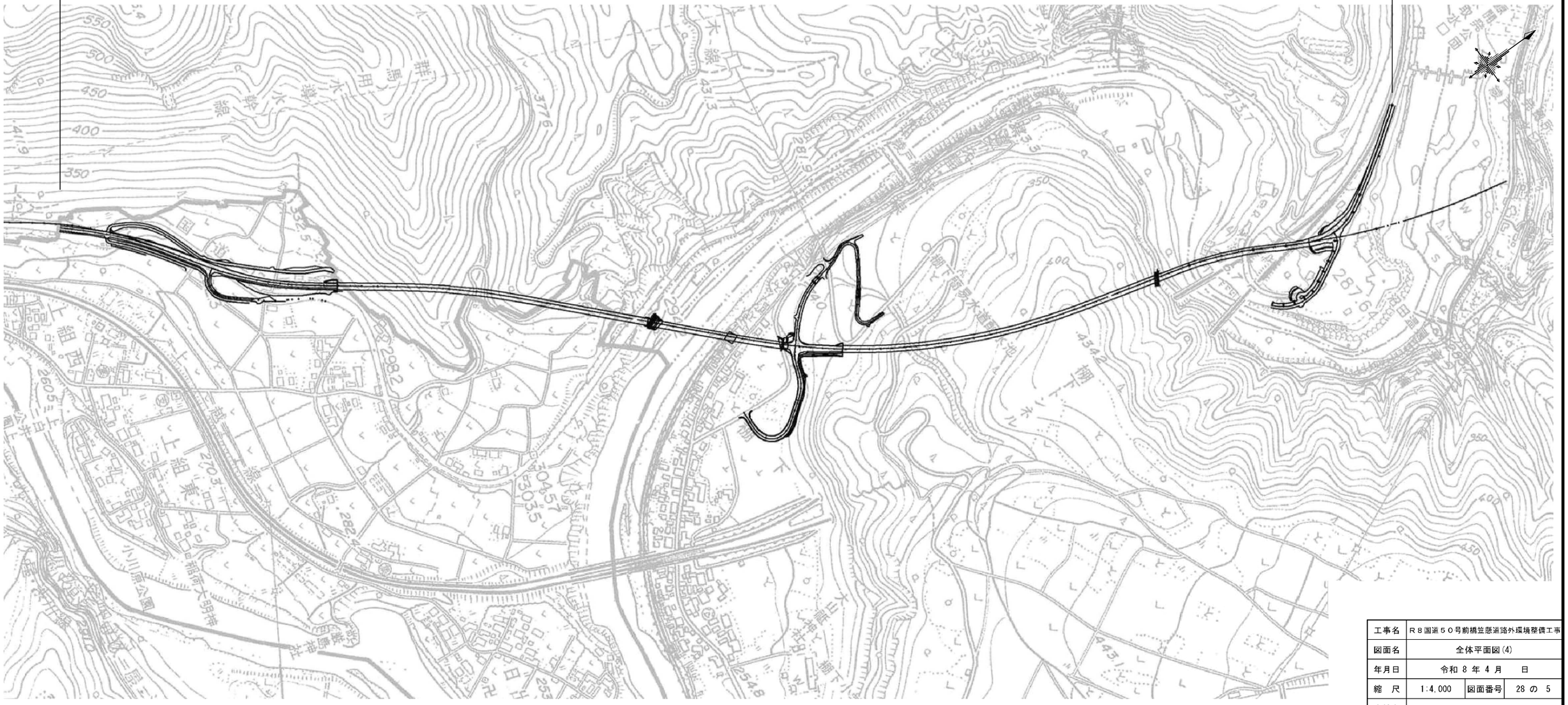
国道１７号綾戸バイパス

工事起点
No.0+0.0

工事終点
No.122.0+0.0

道路維持　防護柵工　防止柵工　立入防止柵(木杭) L=100m　除草工　道路除草工　道路除草(複合)(1) A=15,000m2　除草処分 W=7,000kg

応急処理工　応急処理作業工　応急作業 1式　仮設工　交通管理工 1式



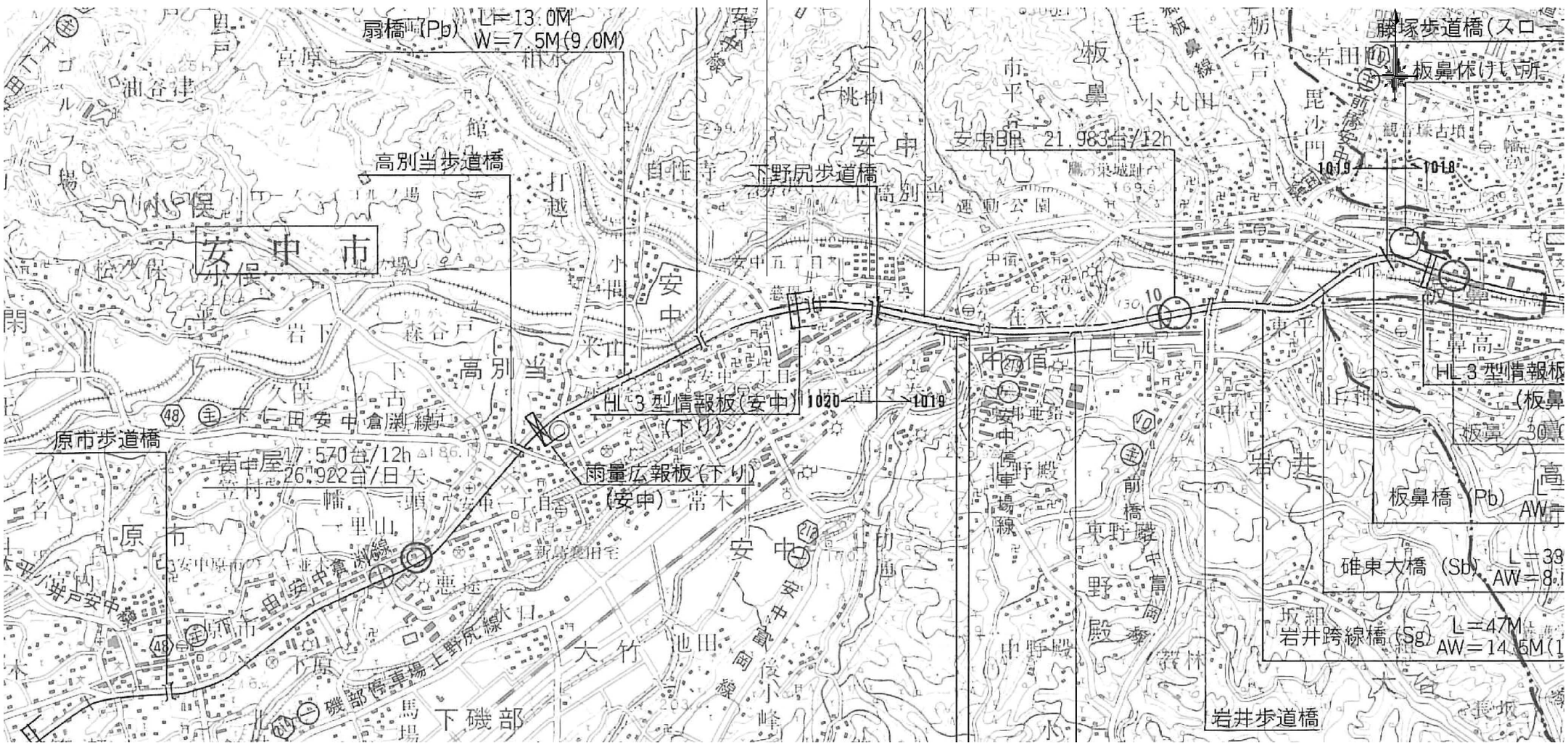
全体平面図(5)　S=1:12,500

国道１８号高崎安中拡幅

工事終点
No.298+16.10

工事起点
No.268+16.10

道路維持　除草工　道路除草工　道路除草(複合)(1) A=400m2　除草処分 W=200kg　応急処理工　応急処理作業工　応急作業　１式
仮設工　交通管理工 1式



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	全体平面図(5)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	1:12,500	図面番号	28 の 6
会社名			
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

平面図(1)　S=1:1000

国道５０号前橋笠懸道路

工事起点
No.71+40.0

道路維持　排水構造物工　作業土工 1式　側溝工 1式　集水桝・ﾏﾝﾎｰﾙ工 1式　ｶﾙﾊﾞｰﾄ工　作業土工 1式　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｶﾙﾊﾞｰﾄ工 1式

(施工済)
第4号雪堤工(耐圧ﾎｰｽ/ﾘﾓﾃﾝﾄﾛﾌﾟ 幅φ1000) L=97.60m

現場打ち集水桝(8)N=1箇所
蓋(6)N=2枚

現場打ち集水桝(1) N=1箇所
蓋(1) N=1枚

現場打ち集水桝(1) N=1箇所
蓋(1) N=1枚

現場打ち集水桝(2) N=1箇所
蓋(1) N=1枚

ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝(1) L=16.70m ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝(1) L=65.90m ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝(1) L=43.40m

現場打ち集水桝(11) N=1箇所
蓋(9) N=1枚
蓋(10) N=1枚
(角落し)

ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝(1) L=109.00m

現場打ち集水桝(10) N=1箇所
蓋(8) N=2枚

減速車線長 L=80.00

加速車線長 L=160.00

テーパ長 L=50.00

本線シフト長 L=35.00

右折車線長 L=50.00
テーパ長 L=20.00
滞留長 L=30.00

滞留長 L=30.00
テーパ長 L=20.00
右折車線長 L=50.00

本線シフト長 L=35.00

減速車線長 L=80.00

テーパ長 L=55.00

ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝(1) L=110.70m

現場打ち集水桝(9) N=1箇所
蓋(7) N=2枚

ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ L=4.20m

ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝(2) L=19.30m
側溝蓋(1) N=36枚
側溝蓋(2) N=1枚

ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝(1) L=81.20m

ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝(1) L=36.20m

現場打ち集水桝(4) N=1箇所
蓋(3) N=1枚

現場打ち集水桝(4) N=1箇所
蓋(8) N=1枚

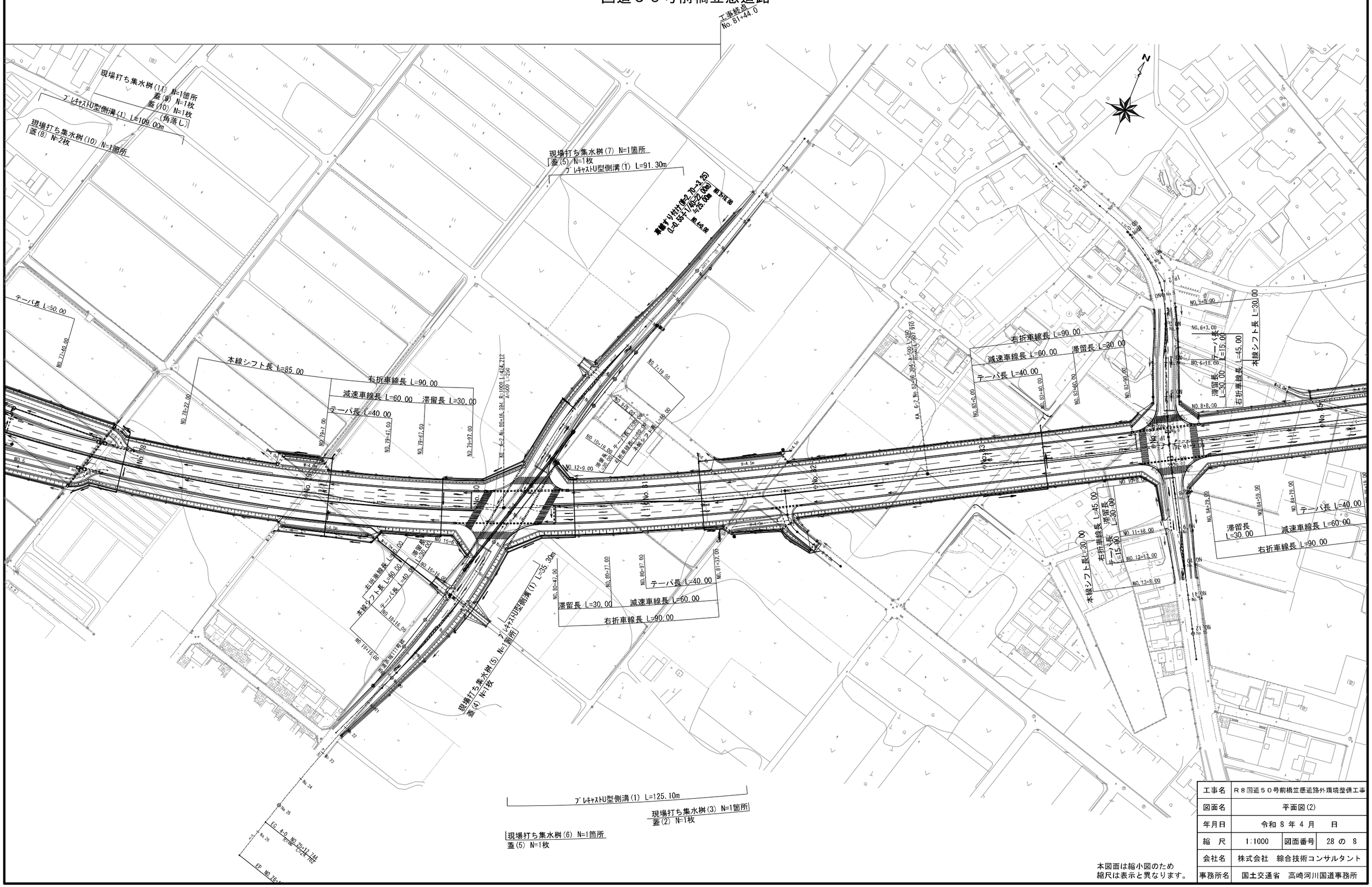
現場打ち集水桝(2) N=1箇所
蓋(1) N=1枚

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

工事名	R８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	平面図(1)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	1:1000	図面番号	28 の 7
会社名	株式会社　綜合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

平面図(2)　S=1:1000

国道５０号前橋笠懸道路



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

工事名	R８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	平面図(2)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	1:1000	図面番号	28 の 8
会社名	株式会社　綜合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

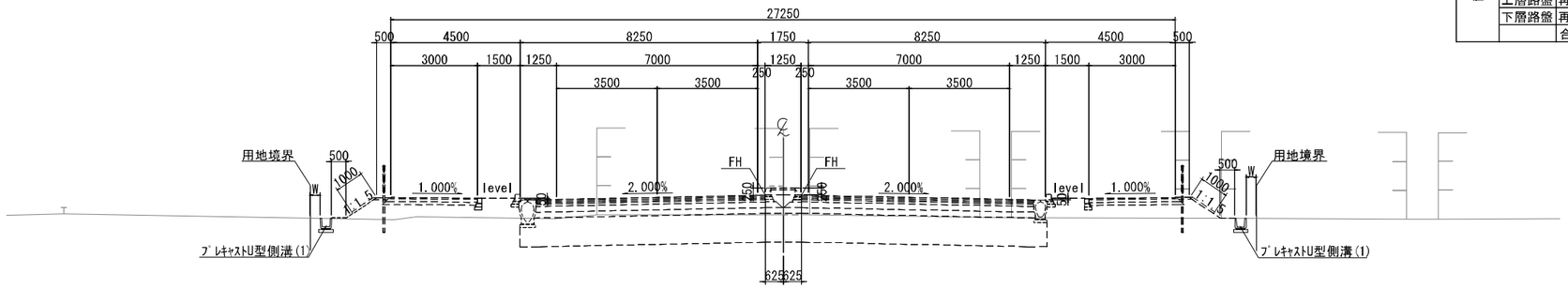
標準横断図　S=1:100

国道５０号前橋笠懸道路

設　計　条　件

本線					
規格基準	道路規格		第3種 第1級		
	設計速度		V=80Km/hr		
設計条件	設計期間		20年		
	交通量の区分		N7 (D交通)		
	設計CBR		12%		
	目標値		TA=33		
設計値			舗装厚	換算値	TA
	表層	アスファルト混合物	15cm	1.00	15.00
	中間層				
	基層				
	上層路盤	再生アスファルト安定処理	8cm	0.80	6.40
	上層路盤	再生粒度調整砕石	20cm	0.35	7.00
	下層路盤	再生クラッシャーラン	20cm	0.25	5.00
		合計	63cm	－	33.40

一　般　部



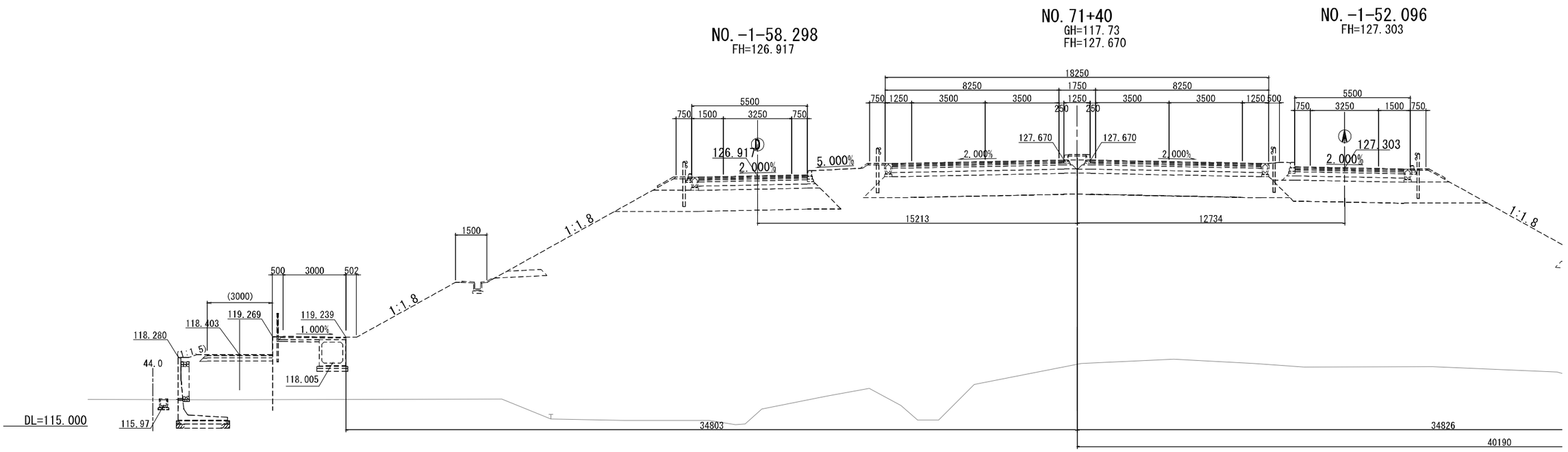
用地余裕幅(W)	設　置　幅　(m)
盛土	0.30
切土	0.30

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	標準横断図		
年月日	令和 8 年 4 月　　日		
縮　尺	1:100	図面番号	28 の 9
会社名	株式会社　綜合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

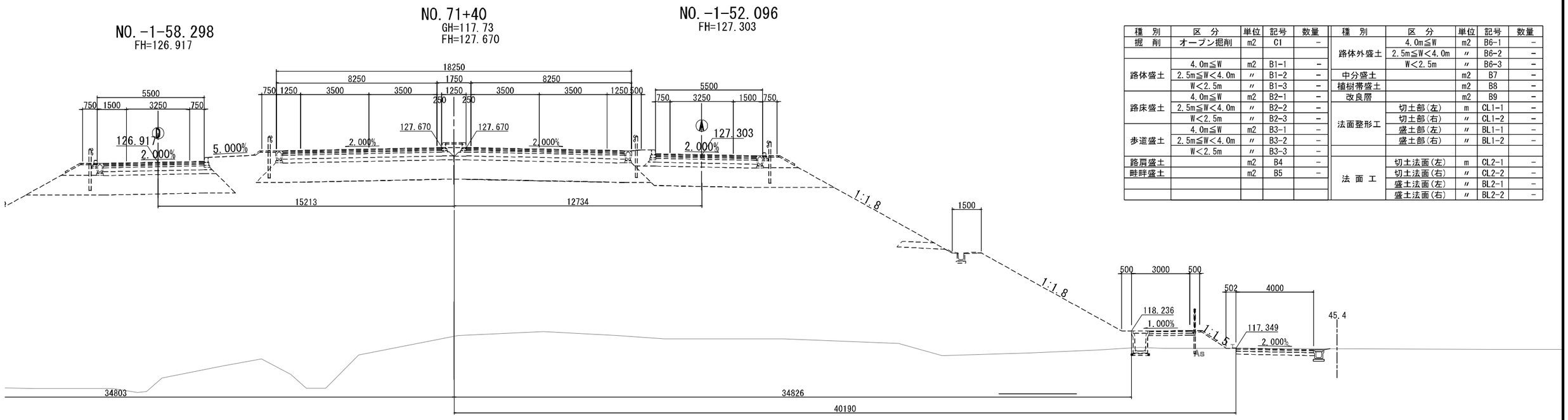
横断図(1)　S=1:100

国道５０号前橋笠懸道路



横断図(1)　S=1:100

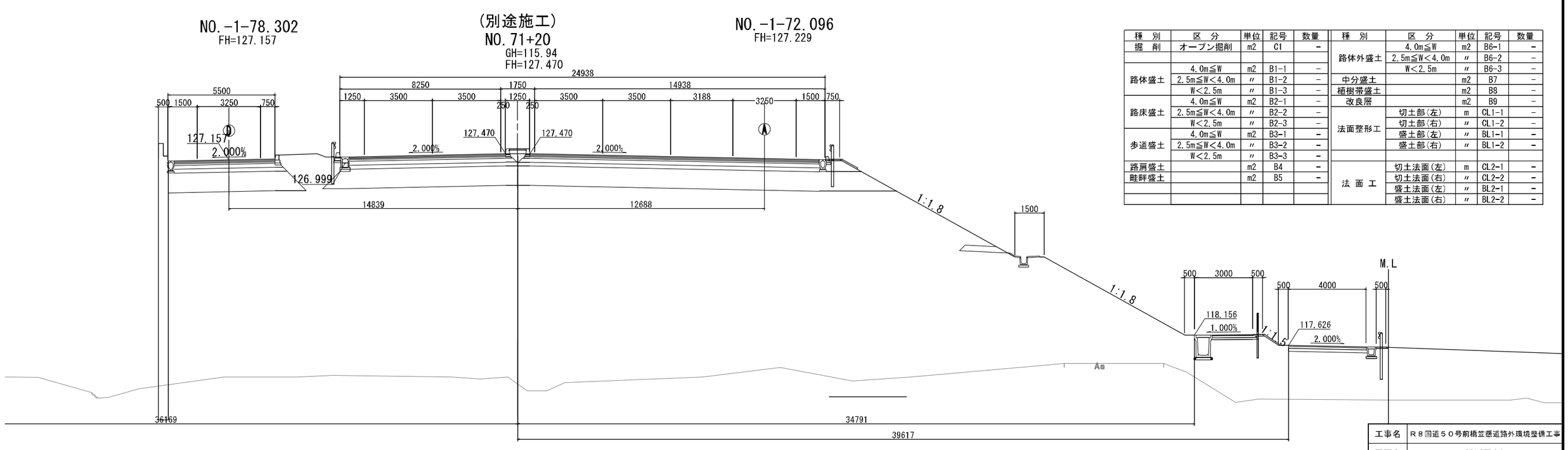
国道５０号前橋笠懸道路



種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法面工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

（別途施工）



種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

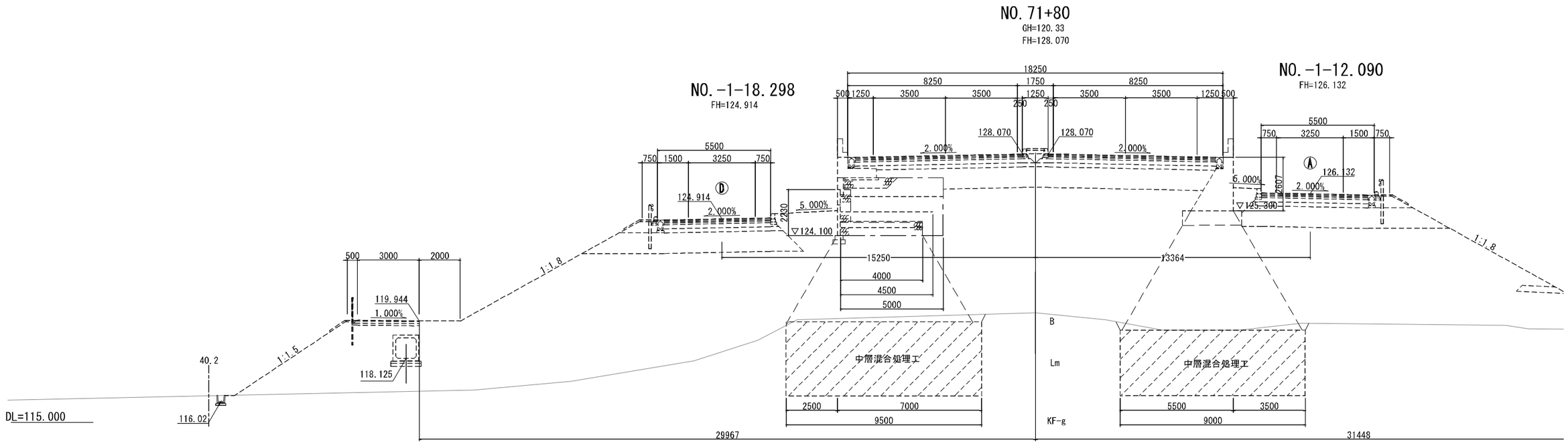
種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法面工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

工事名	R８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	横断図(1)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	1:100	図面番号	28 の 10
会社名	株式会社　綜合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

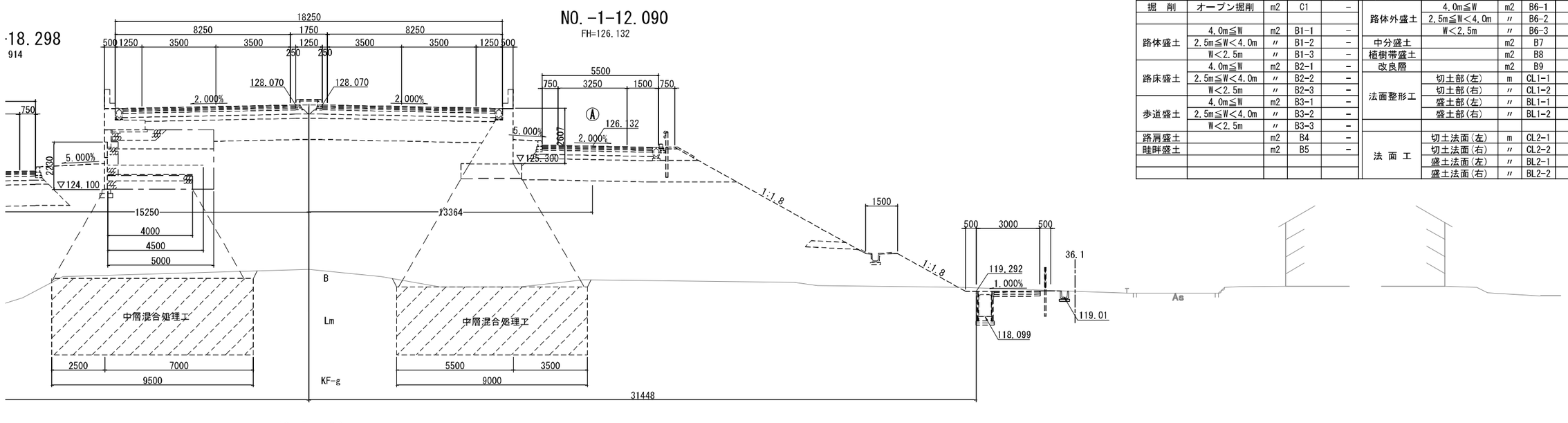
横断図(2)　S=1:100

国道５０号前橋笠懸道路



横断図(2)　S=1:100

国道５０号前橋笠懸道路



種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法　面　工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法　面　工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

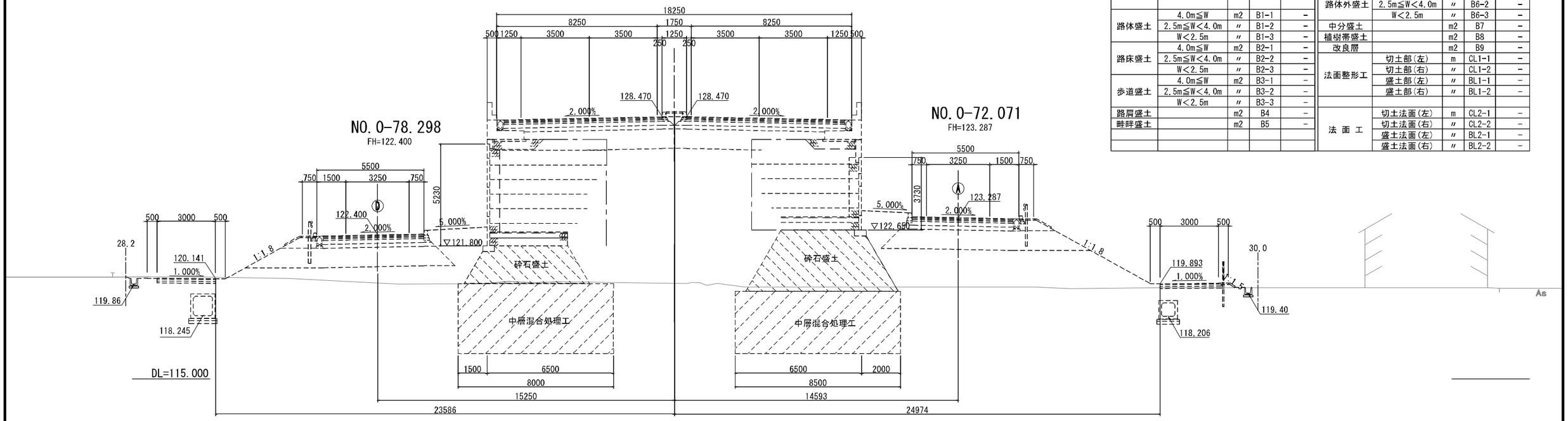
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	横断図(2)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	1:100	図面番号	28 の 11
会社名	株式会社　綜合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

横断図(3)　S=1:100

NO.72+20　国道５０号前橋笠懸道路

GH=119.90
FH=128.470

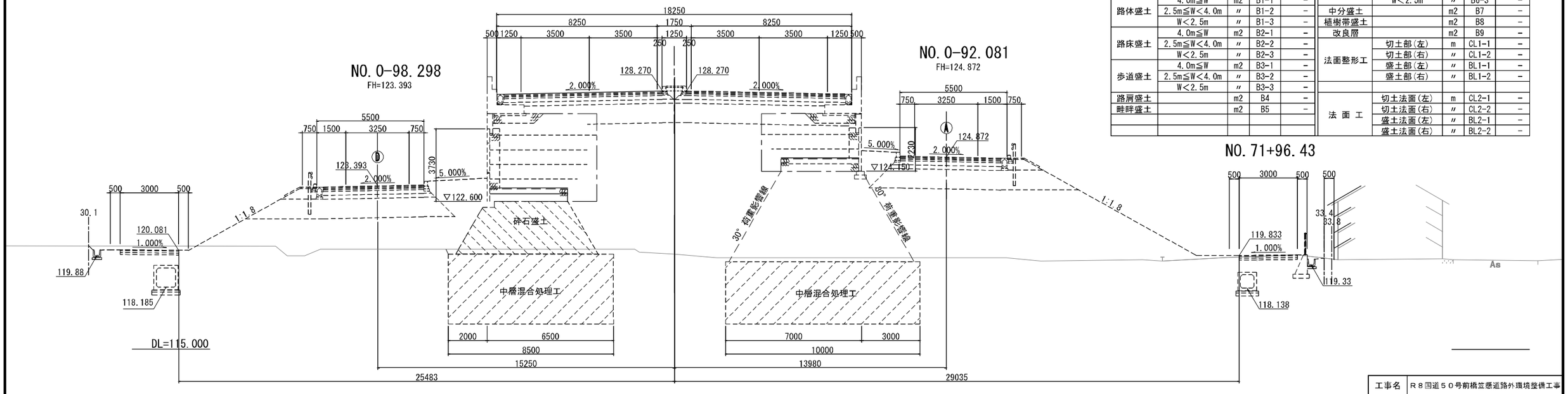


種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法　面　工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

NO.72

GH=119.89
FH=128.270



NO.71+96.43

種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法　面　工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

工事名	R８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	横断図(3)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	1:100	図面番号	28 の 12
会社名	大日コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

横断図(4)　S=1:100

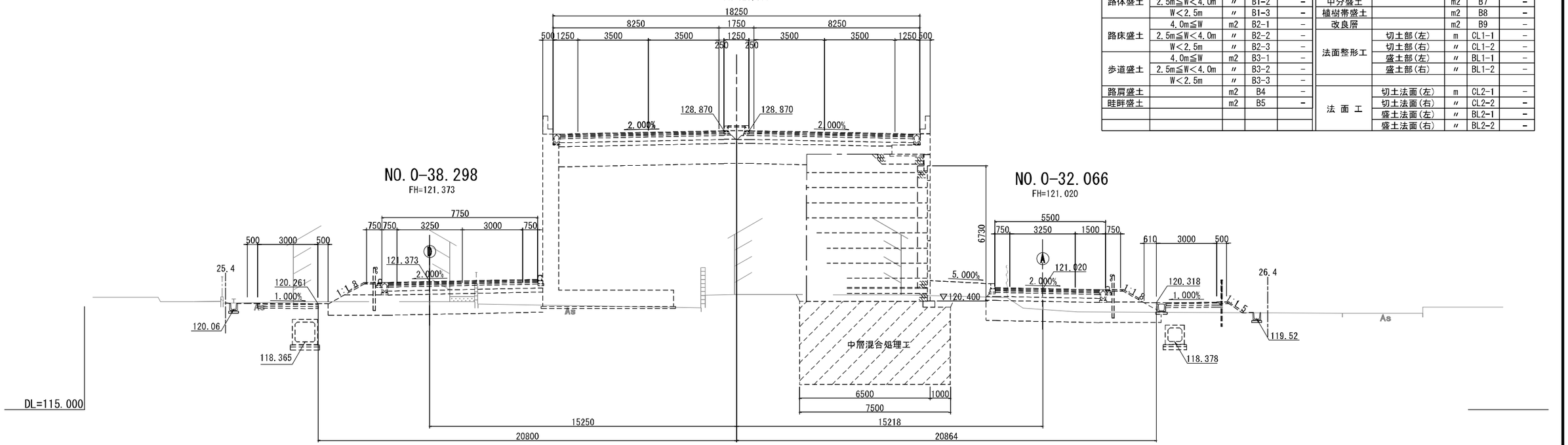
国道５０号前橋笠懸道路

NO.72+60

GH=120.72
FH=128.870

種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	-
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	-
	W＜2.5m	〃	B1-3	-
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	-
	W＜2.5m	〃	B2-3	-
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	-
	W＜2.5m	〃	B3-3	-
路肩盛土		m2	B4	-
畦畔盛土		m2	B5	-

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	-
	W＜2.5m	〃	B6-3	-
中分盛土		m2	B7	-
植樹帯盛土		m2	B8	-
改良層		m2	B9	-
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	-
	切土部(右)	〃	CL1-2	-
	盛土部(左)	〃	BL1-1	-
	盛土部(右)	〃	BL1-2	-
法 面 工	切土法面(左)	m	CL2-1	-
	切土法面(右)	〃	CL2-2	-
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	-
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	-

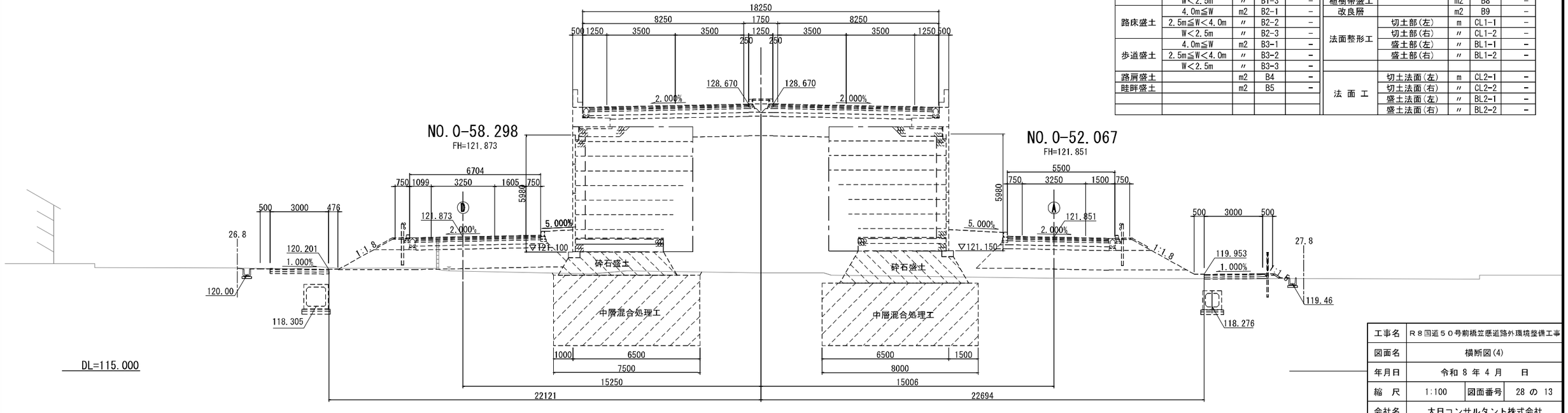


NO.72+40

GH=120.02
FH=128.670

種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	-
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	-
	W＜2.5m	〃	B1-3	-
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	-
	W＜2.5m	〃	B2-3	-
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	-
	W＜2.5m	〃	B3-3	-
路肩盛土		m2	B4	-
畦畔盛土		m2	B5	-

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	-
	W＜2.5m	〃	B6-3	-
中分盛土		m2	B7	-
植樹帯盛土		m2	B8	-
改良層		m2	B9	-
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	-
	切土部(右)	〃	CL1-2	-
	盛土部(左)	〃	BL1-1	-
	盛土部(右)	〃	BL1-2	-
法 面 工	切土法面(左)	m	CL2-1	-
	切土法面(右)	〃	CL2-2	-
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	-
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	-



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

工事名	R８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	横断図(4)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	1:100	図面番号	28 の 13
会社名	大日コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

横断図(5)　S=1:100

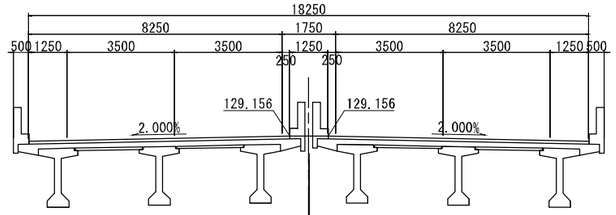
国道５０号前橋笠懸道路

（別途施工）

NO.73

GH=120.46

FH=129.156



種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

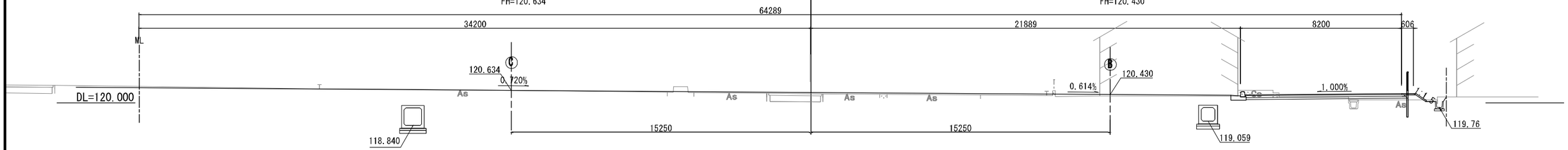
種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法面工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

NO.0+1.702

FH=120.634

NO.0+7.934

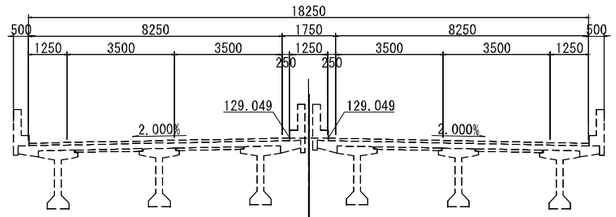
FH=120.430



NO.72+80

GH=120.33

FH=129.049



種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

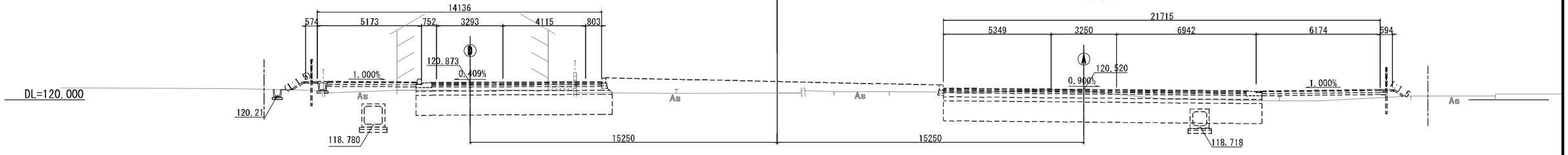
種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法面工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

NO.0-18.298

FH=120.873

NO.0-12.066

FH=120.520

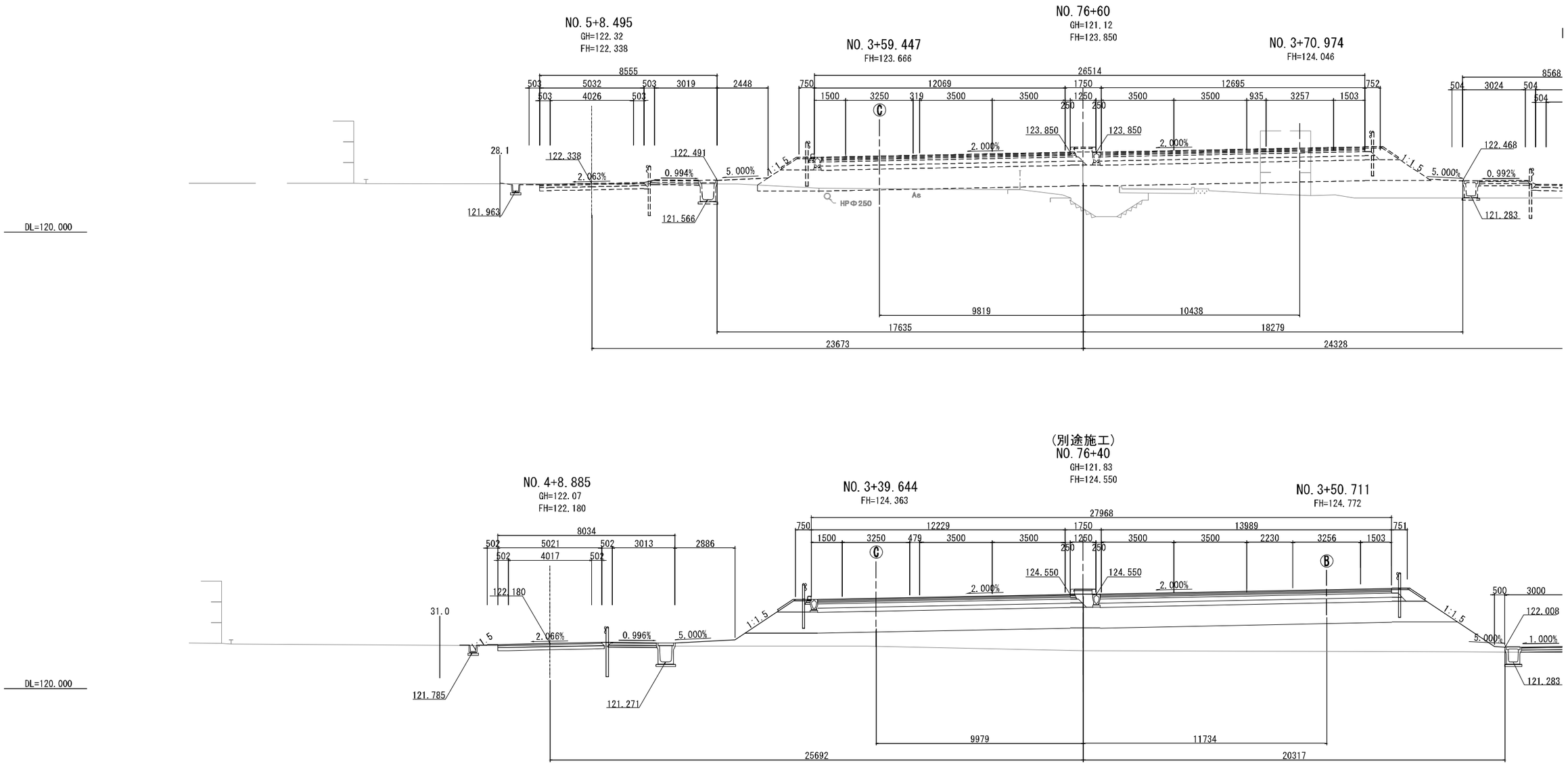


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

工事名	R８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	横断図(5)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	1:100	図面番号	28 の 14
会社名	大日コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

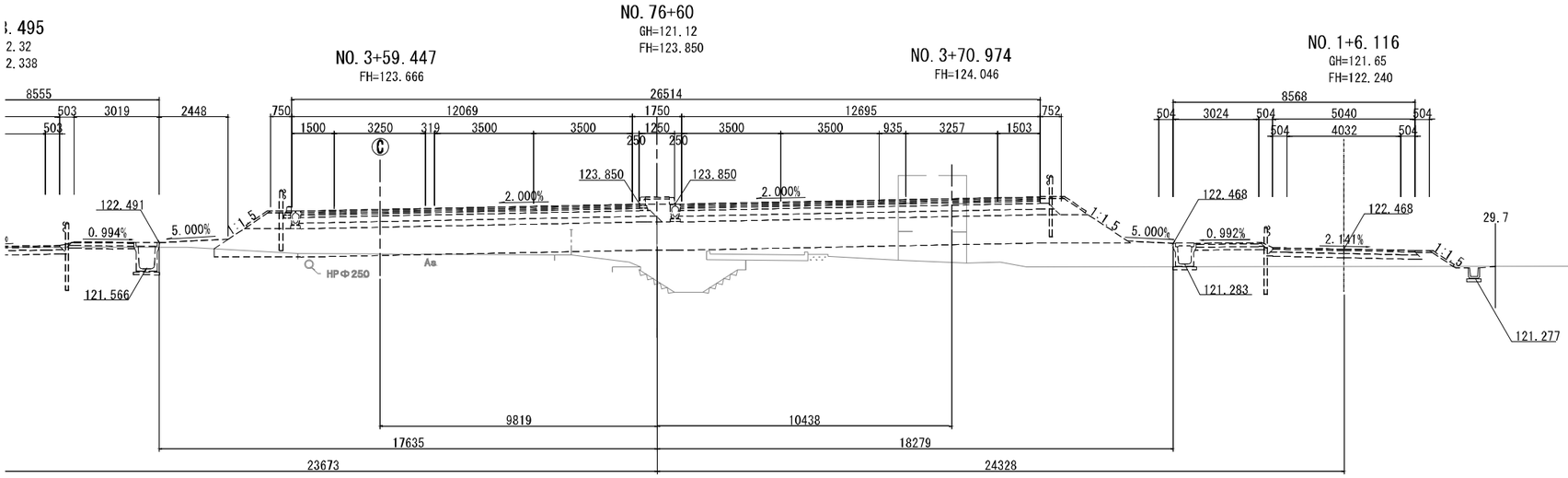
横断図(6)　S=1:100

国道５０号前橋笠懸道路



横断図(6)　S=1:100

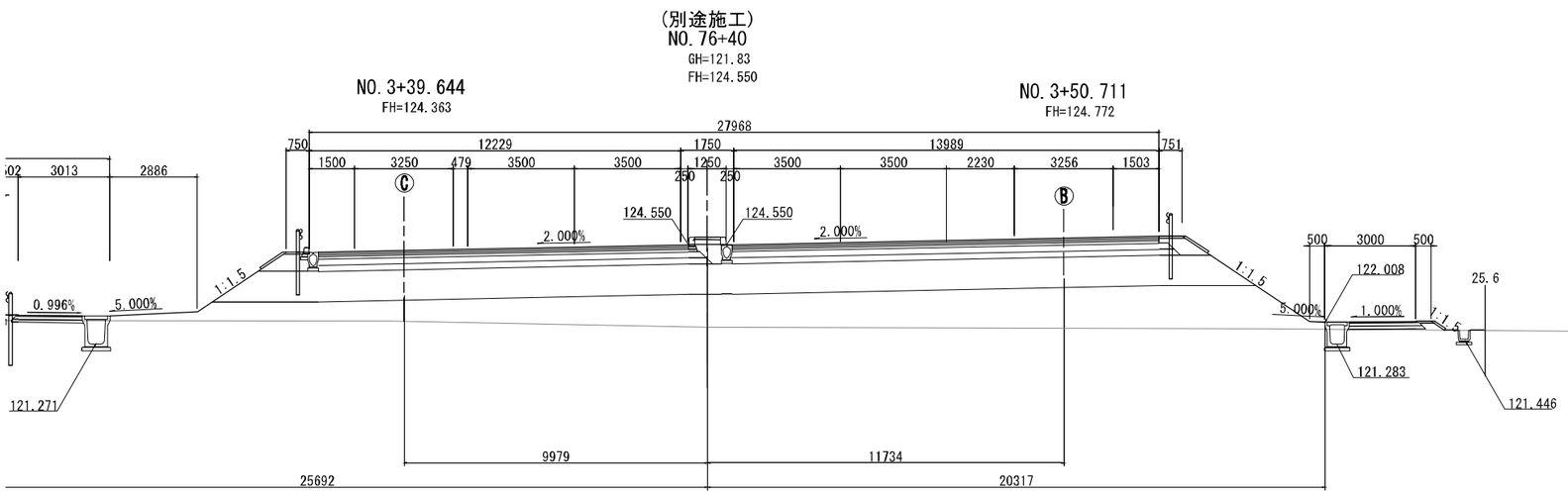
国道５０号前橋笠懸道路



種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	-
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	-
	W＜2.5m	〃	B1-3	-
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	-
	W＜2.5m	〃	B2-3	-
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	-
	W＜2.5m	〃	B3-3	-
路肩盛土		m2	B4	-
畦畔盛土		m2	B5	-

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	-
	W＜2.5m	〃	B6-3	-
中分盛土		m2	B7	-
植樹帯盛土		m2	B8	-
改良層		m2	B9	-
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	-
	切土部(右)	〃	CL1-2	-
	盛土部(左)	〃	BL1-1	-
	盛土部(右)	〃	BL1-2	-
法面工	切土法面(左)	m	CL2-1	-
	切土法面(右)	〃	CL2-2	-
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	-
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	-

（別途施工）
NO.76+40
GH=121.83
FH=124.550



種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	-
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	-
	W＜2.5m	〃	B1-3	-
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	-
	W＜2.5m	〃	B2-3	-
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	-
	W＜2.5m	〃	B3-3	-
路肩盛土		m2	B4	-
畦畔盛土		m2	B5	-

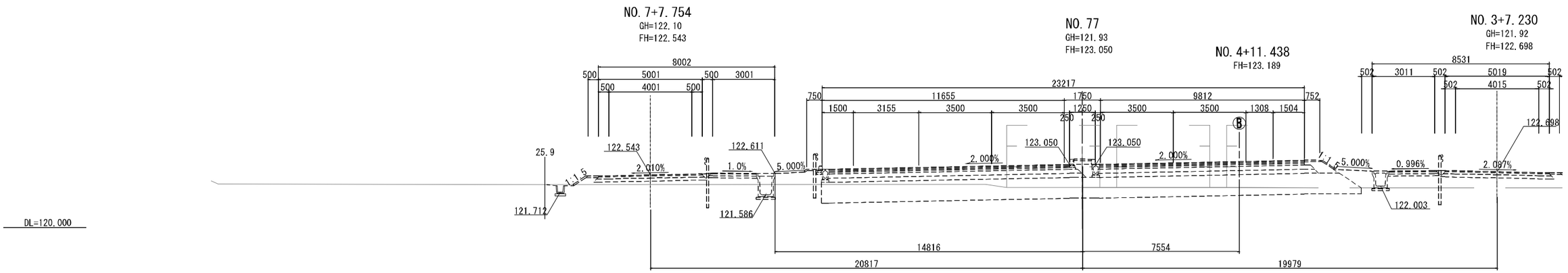
種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	-
	W＜2.5m	〃	B6-3	-
中分盛土		m2	B7	-
植樹帯盛土		m2	B8	-
改良層		m2	B9	-
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	-
	切土部(右)	〃	CL1-2	-
	盛土部(左)	〃	BL1-1	-
	盛土部(右)	〃	BL1-2	-
法面工	切土法面(左)	m	CL2-1	-
	切土法面(右)	〃	CL2-2	-
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	-
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	-

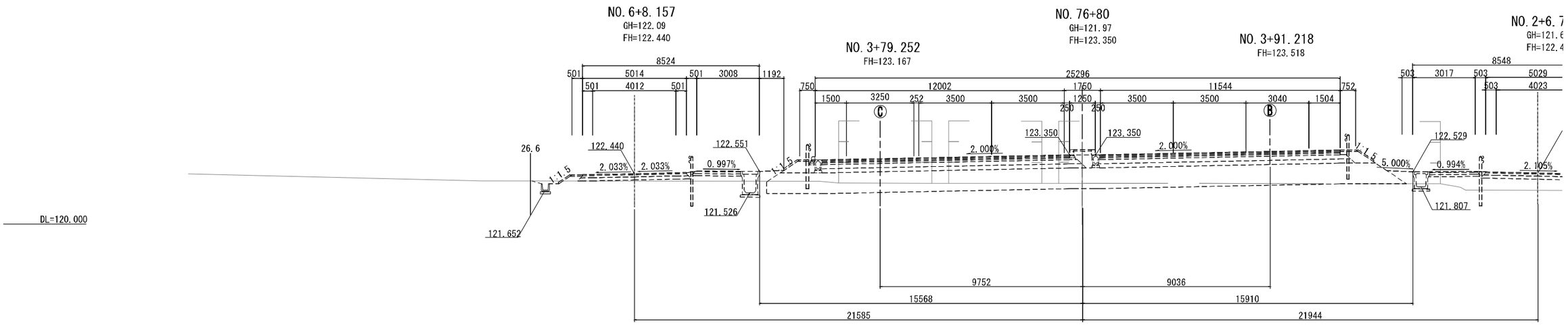
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	横断図(6)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	1:100	図面番号	28 の 15
会社名	株式会社　綜合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

横断図(7)　S=1:100

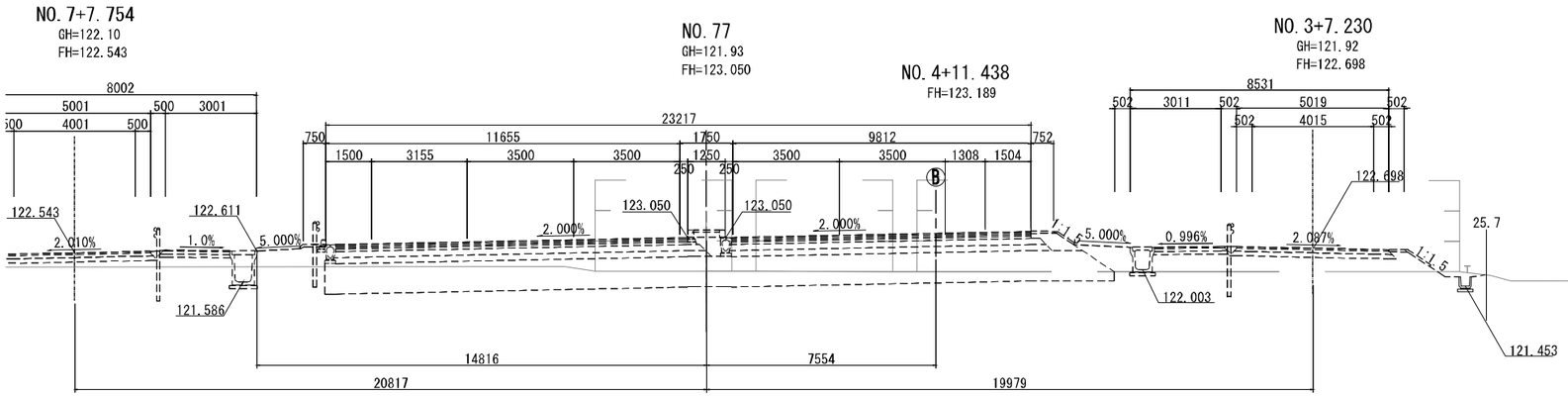
国道５０号前橋笠懸道路





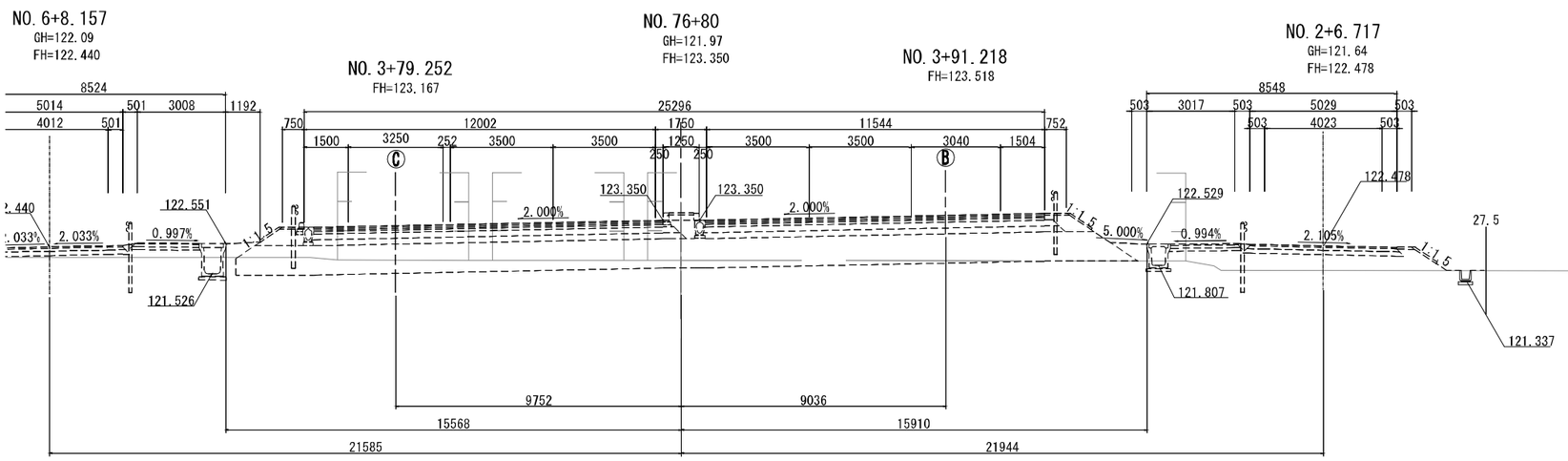
横断図(7)　S=1:100

国道５０号前橋笠懸道路



種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法面工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－



種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

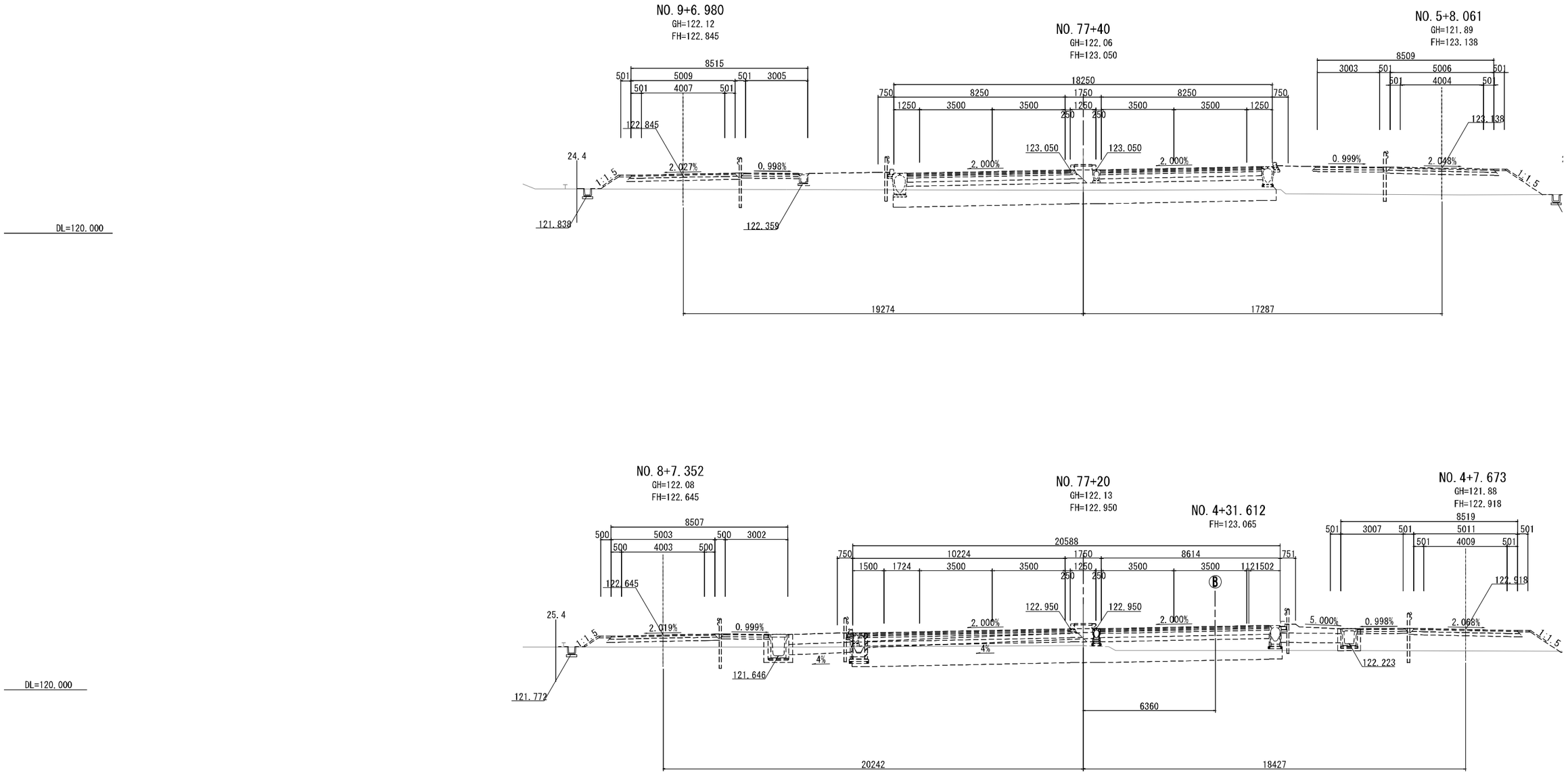
種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法面工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	横断図(7)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	1:100	図面番号	28 の 16
会社名	株式会社　綜合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

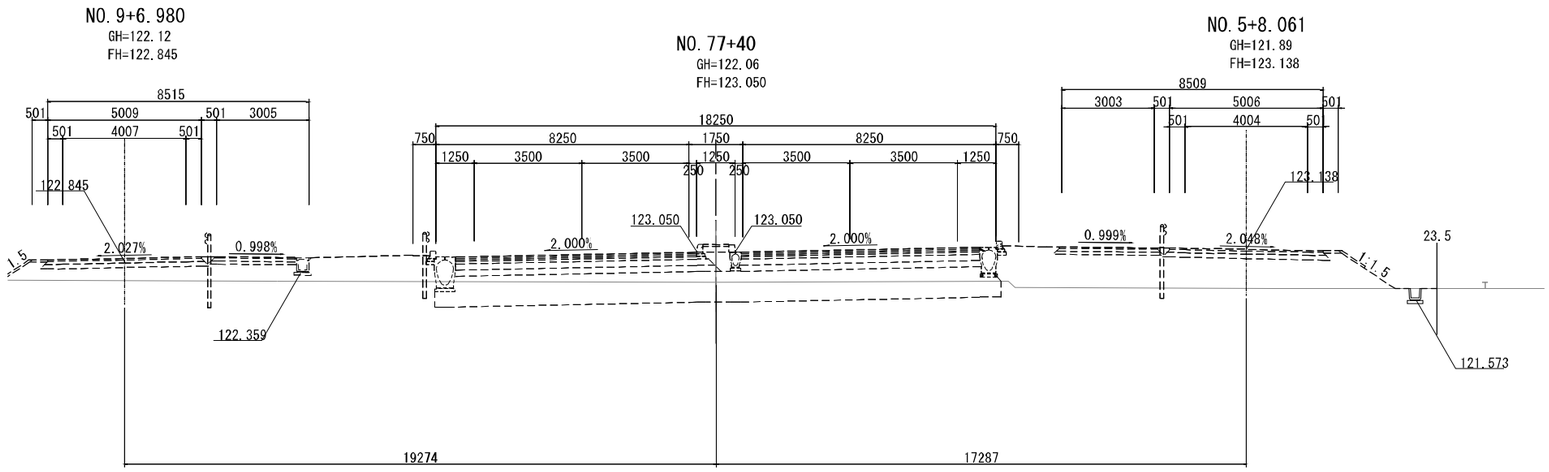
横断図(8)　S=1:100

国道５０号前橋笠懸道路



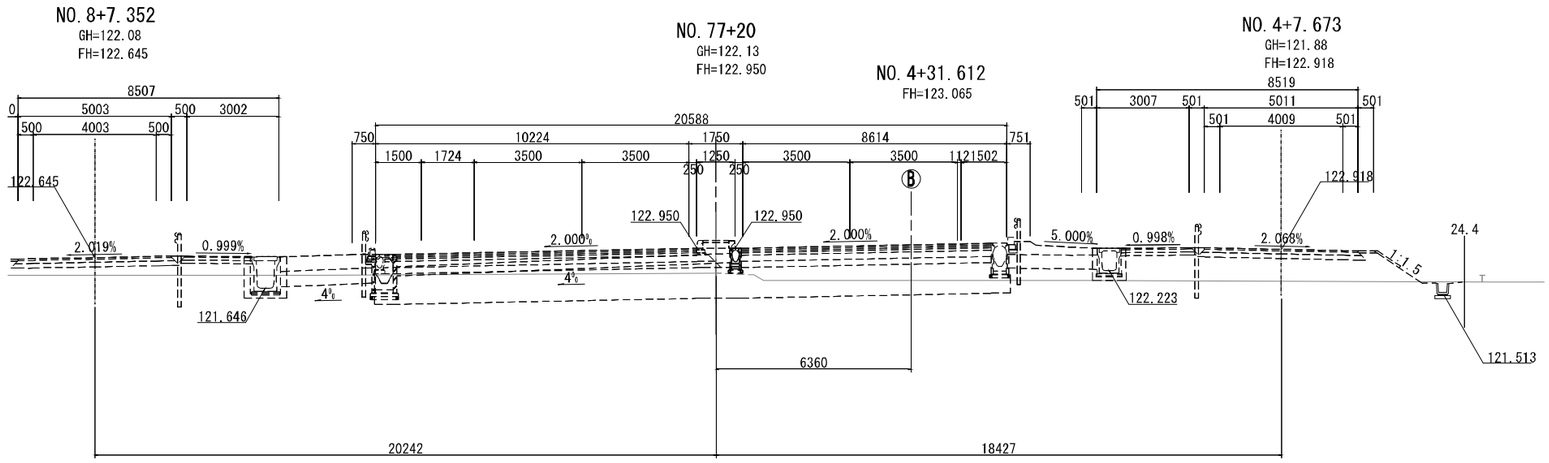
横断図(8)　S=1:100

国道５０号前橋笠懸道路



種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法面工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－



種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法面工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	横断図(8)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	1:100	図面番号	28 の 17
会社名	株式会社　綜合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

横断図(9)　S=1:100

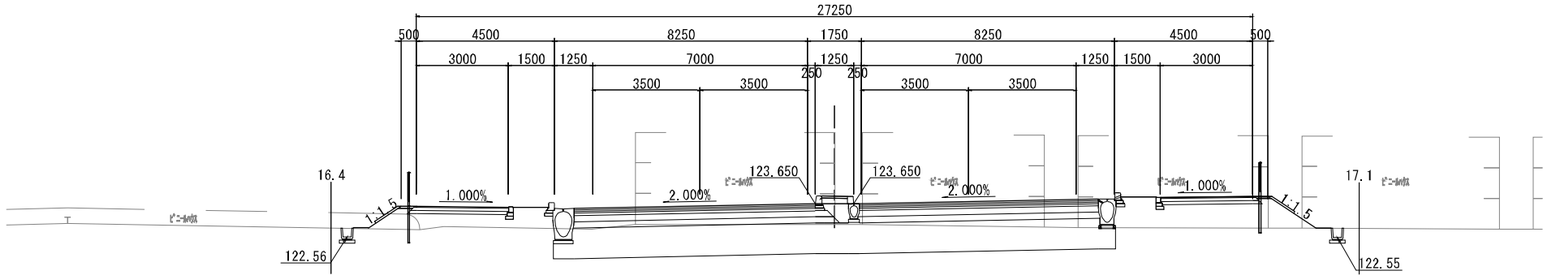
国道５０号前橋笠懸道路

（別途施工）

No. 78

GH=122.96

FH=123.650

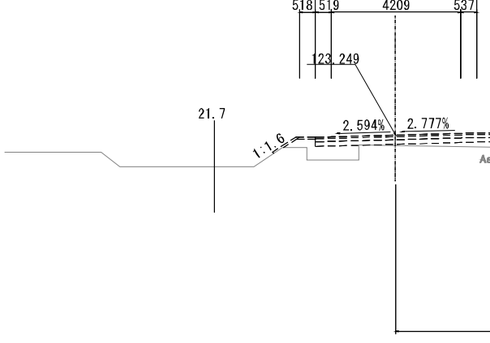


DL=120.000

NO. 11+6.451

GH=122.92

FH=123.249



DL=120.000

NO. 10+6.655

GH=122.11

FH=123.045

NO. 77+60

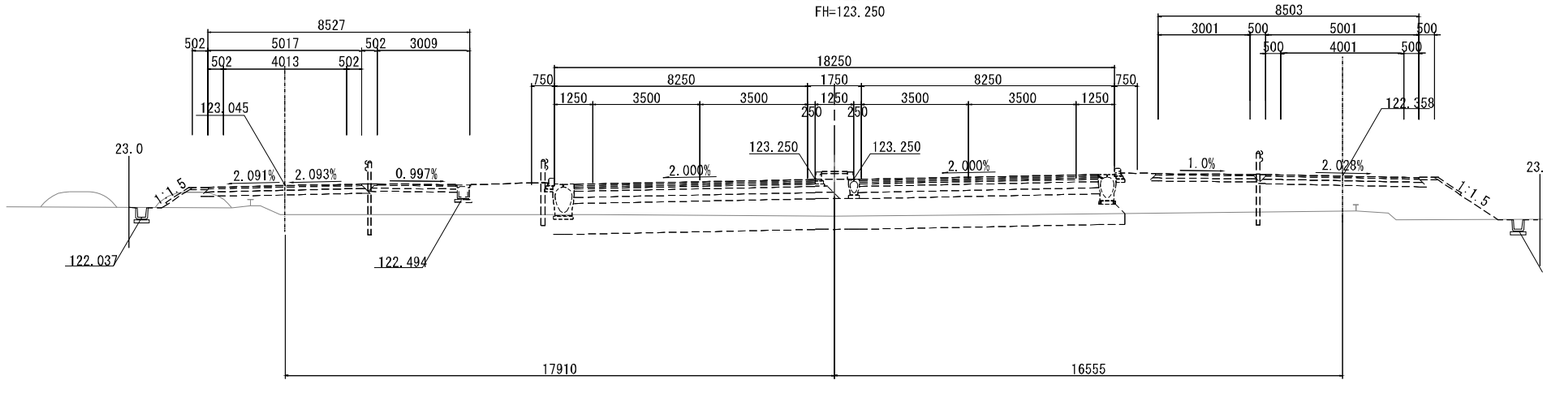
GH=122.05

FH=123.250

NO. 6+8.413

GH=122.22

FH=123.358

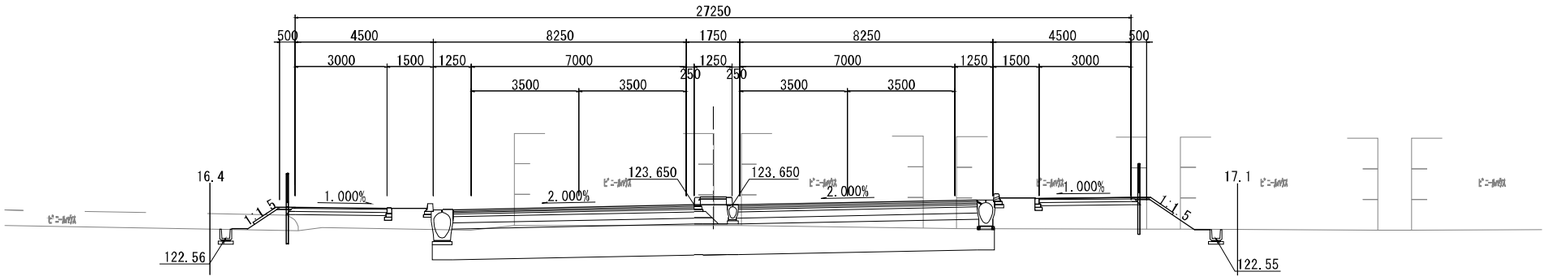


DL=120.000

横断図(9)　S=1:100

国道５０号前橋笠懸道路
(別途施工)

No.78
GH=122.96
FH=123.650

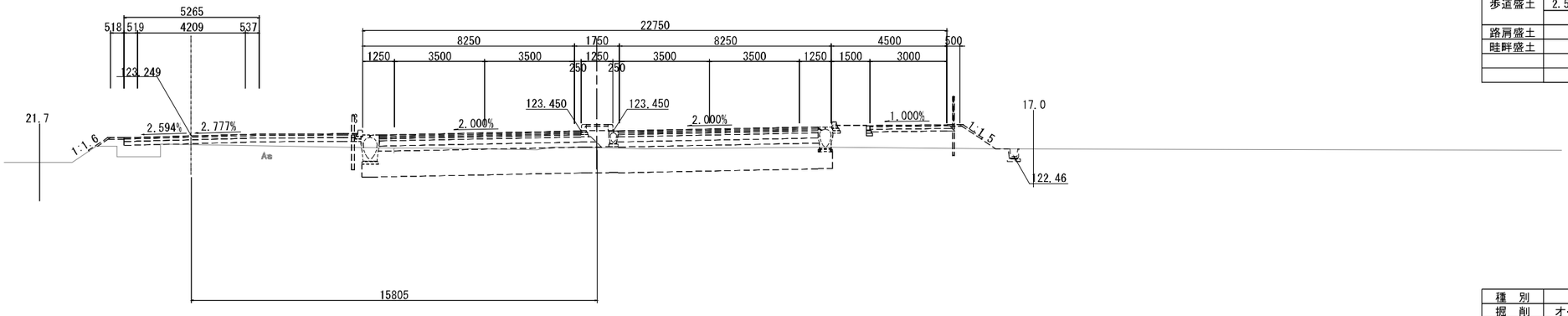


種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法　面　工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

NO.11+6.451
GH=122.92
FH=123.249

NO.77+80
GH=122.79
FH=123.450



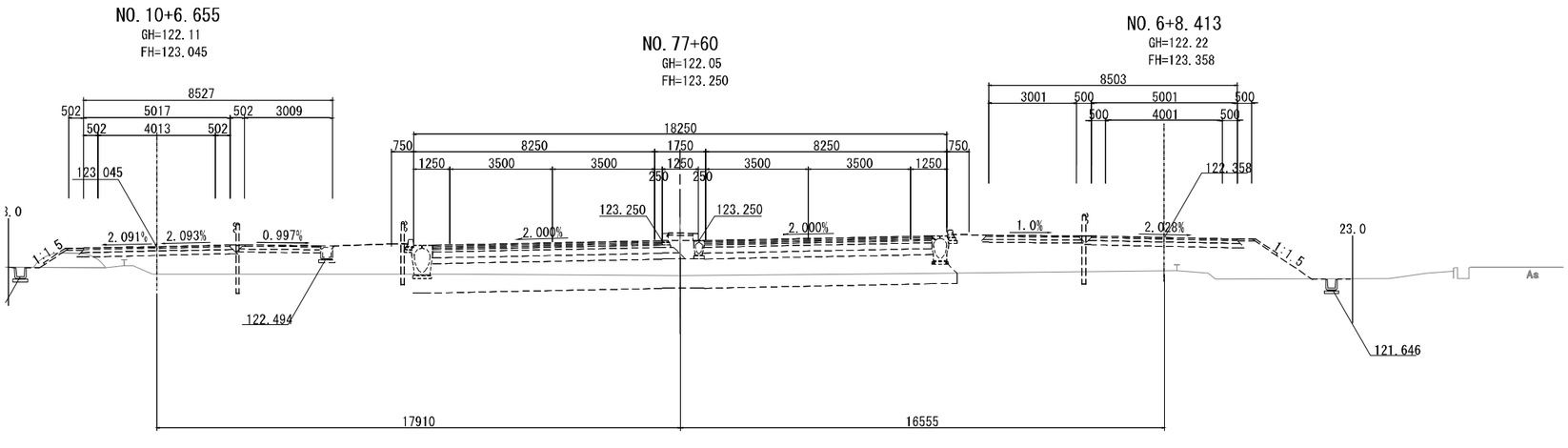
種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法　面　工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

NO.10+6.655
GH=122.11
FH=123.045

NO.77+60
GH=122.05
FH=123.250

NO.6+8.413
GH=122.22
FH=123.358



種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法　面　工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

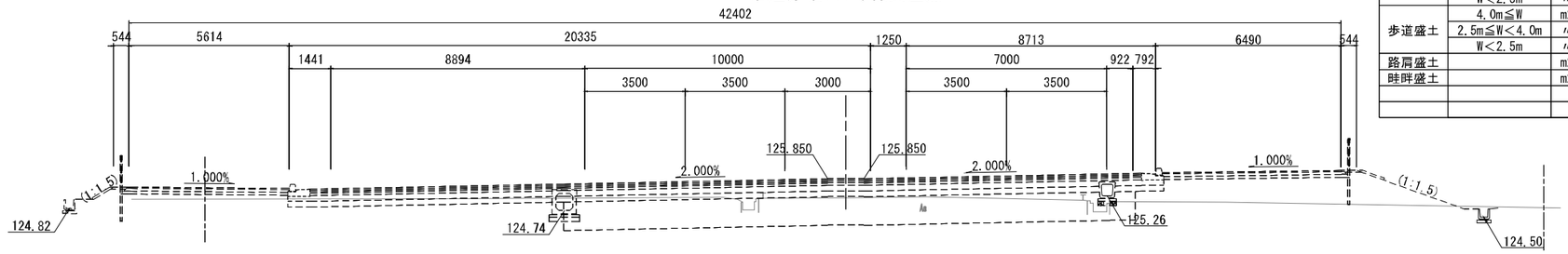
工事名	R８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	横断図(9)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	1:100	図面番号	28 の 18
会社名	株式会社　綜合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

横断図(10)　S=1:100

国道５０号前橋笠懸道路

No.80+20
GH=125.17
FH=125.850

市道赤堀111号線交差点



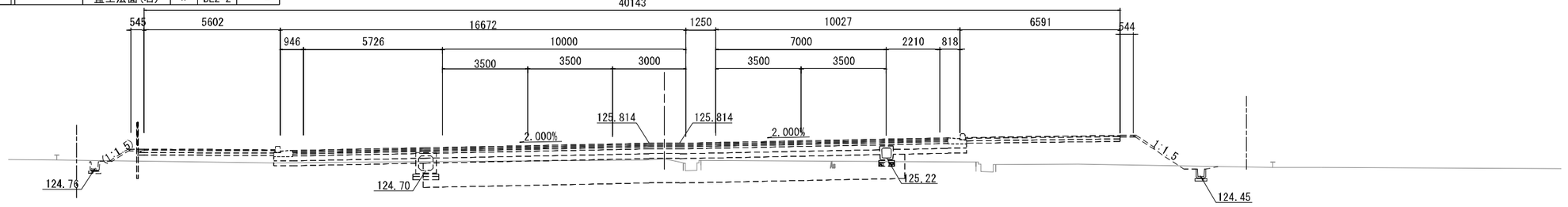
種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法　面　工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

DL=120.000

KE6-2(No.80+16.394)
GH=125.16
FH=125.814

市道赤堀111号線交差点



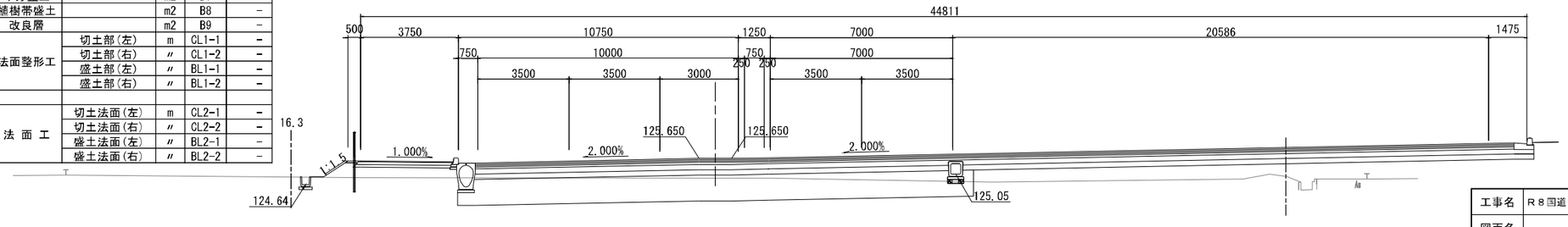
種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法　面　工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

DL=120.000

(別途施工)
No.80
GH=124.89
FH=125.650

市道赤堀111号線交差点



DL=120.000

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

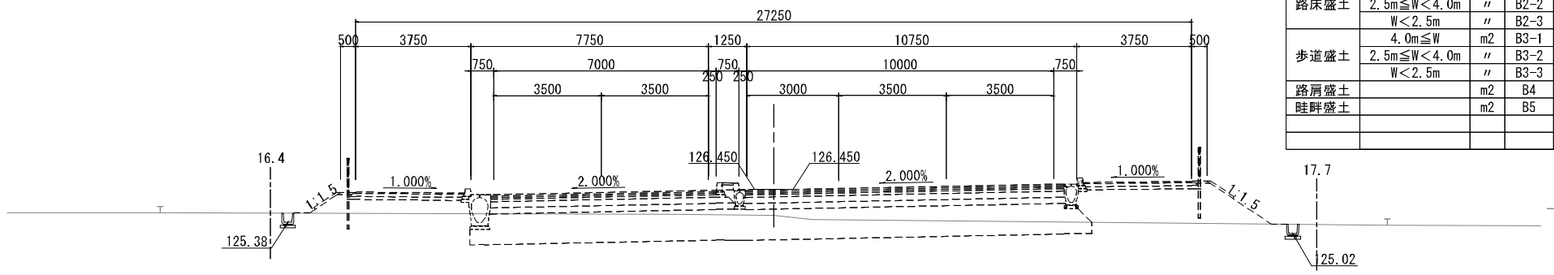
工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事
図面名	横断図(10)
年月日	令和 8 年 4 月　日
縮　尺	1:100　図面番号　28 の 19
会社名	株式会社　綜合技術コンサルタント
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所

横断図(11)　S=1:100

国道５０号前橋笠懸道路

No.80+80

GH=125.59
FH=126.450



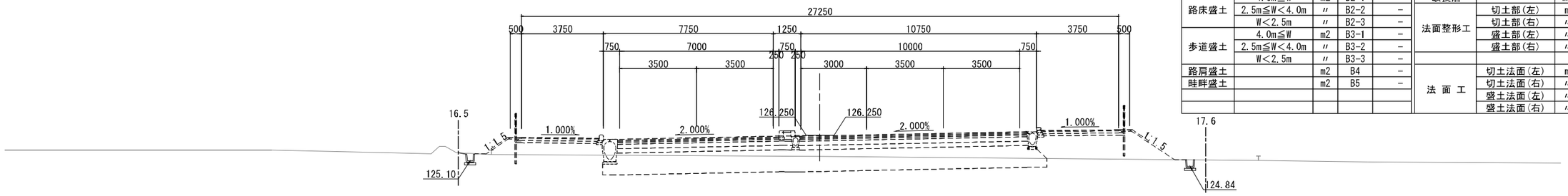
DL=120.000

種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法　面　工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

No.80+60

GH=125.28
FH=126.250



DL=120.000

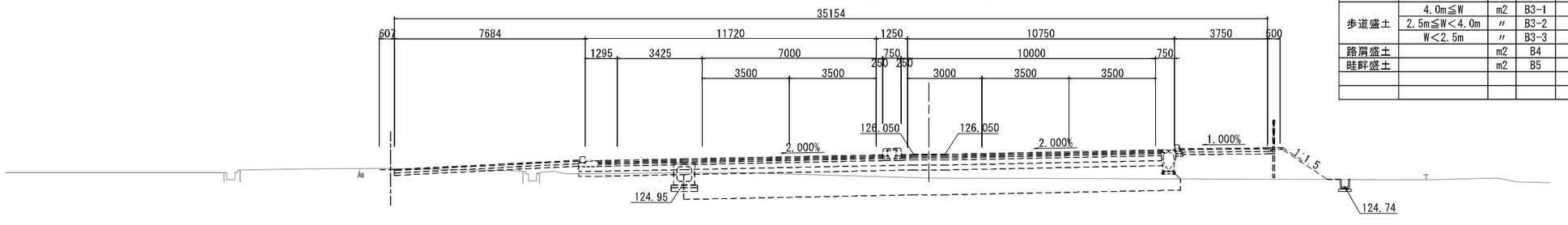
種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法　面　工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

No.80+40

GH=125.08
FH=126.050

市道赤堀111号線交差点



DL=120.000

種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法　面　工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

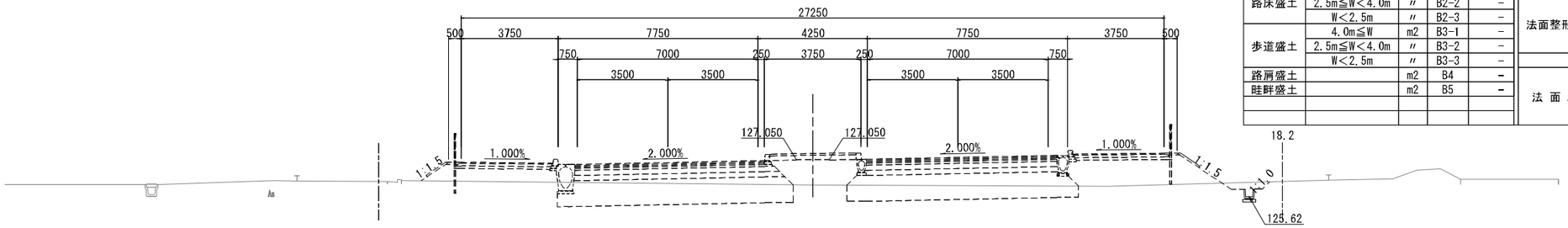
工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	横断図(11)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	1:100	図面番号	28 の 20
会社名	株式会社　綜合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

横断図(12)　S=1:100

国道５０号前橋笠懸道路

No.81+40

GH=126.07
FH=127.050



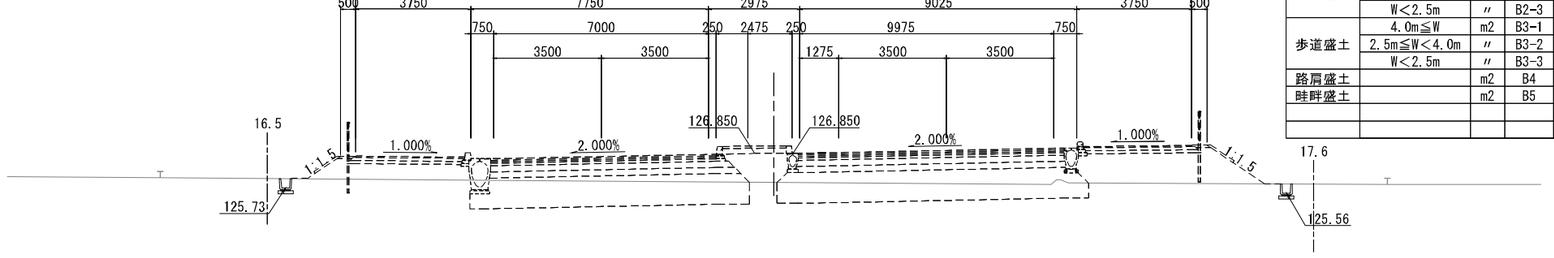
種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法　面　工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

DL=120.000

No.81+20

GH=125.90
FH=126.850



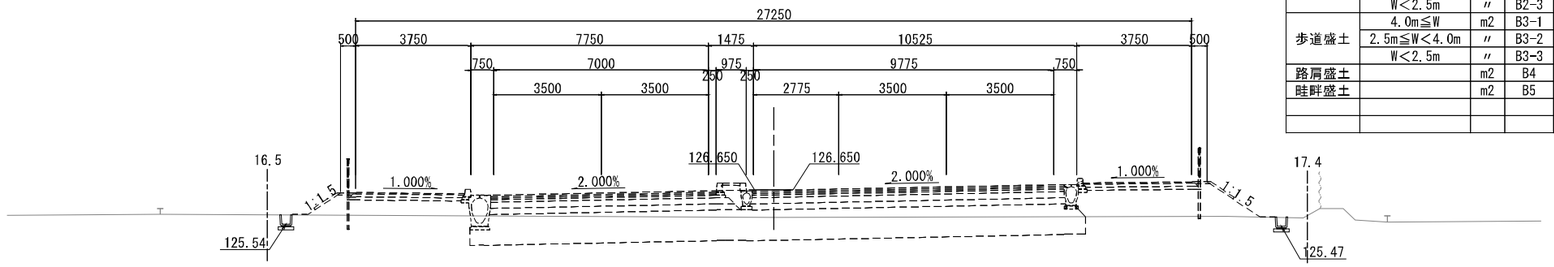
種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法　面　工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

DL=120.000

No.81

GH=125.75
FH=126.650



種　別	区　分	単位	記号	数量
掘　削	オープン掘削	m2	C1	－
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	－
	W＜2.5m	〃	B1-3	－
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	－
	W＜2.5m	〃	B2-3	－
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	－
	W＜2.5m	〃	B3-3	－
路肩盛土		m2	B4	－
畦畔盛土		m2	B5	－

種　別	区　分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	－
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	－
	W＜2.5m	〃	B6-3	－
中分盛土		m2	B7	－
植樹帯盛土		m2	B8	－
改良層		m2	B9	－
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	－
	切土部(右)	〃	CL1-2	－
	盛土部(左)	〃	BL1-1	－
	盛土部(右)	〃	BL1-2	－
法　面　工	切土法面(左)	m	CL2-1	－
	切土法面(右)	〃	CL2-2	－
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	－
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	－

DL=120.000

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	横断図(12)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	1:100	図面番号	28 の 21
会社名	株式会社　綜合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

横断図(13)　S=1:100

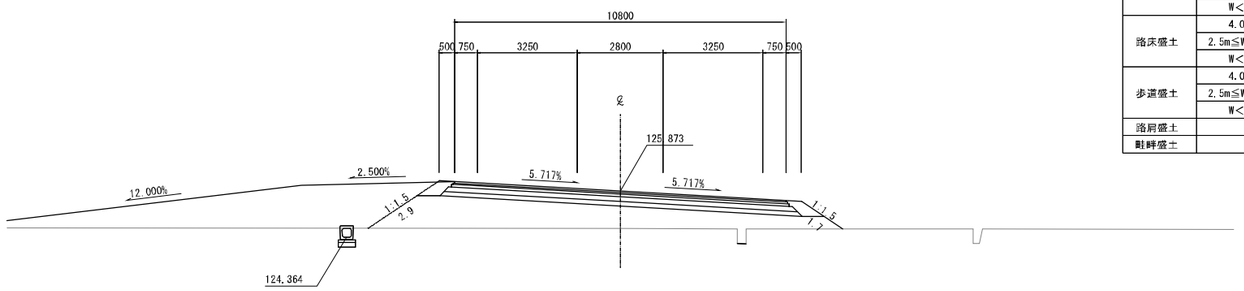
国道５０号前橋笠懸道路　市道赤堀111号線

（別途施工）

NO.17+0.000

GH=124.65

FH=125.873



DL=120.000

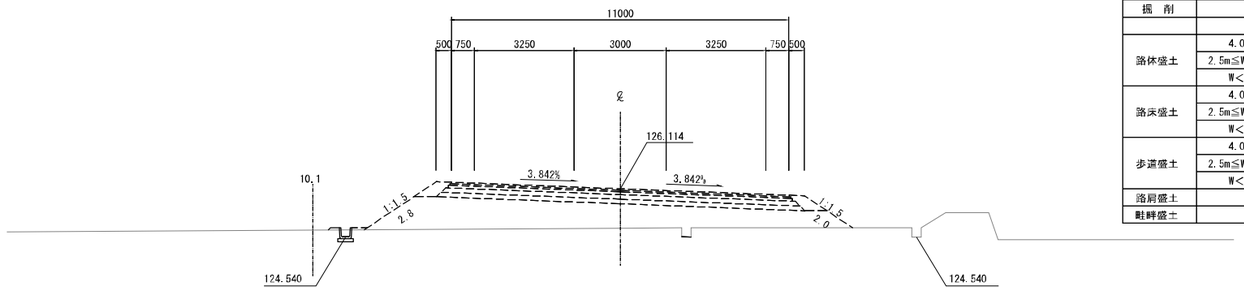
種別	区分	単位	記号	数量
掘削	オープン掘削	m2	C1	-
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	-
	W＜2.5m	〃	B1-3	-
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	-
	W＜2.5m	〃	B2-3	-
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	-
	W＜2.5m	〃	B3-3	-
路肩盛土		m2	B4	-
畦畔盛土		m2	B5	-

種別	区分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	-
	W＜2.5m	〃	B6-3	-
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	-
	切土部(右)	〃	CL1-2	-
	盛土部(左)	〃	BL1-1	-
	盛土部(右)	〃	BL1-2	-
法面工	切土法面(左)	m	CL2-1	-
	切土法面(右)	〃	CL2-2	-
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	-
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	-

NO.16+0.000

GH=124.83

FH=126.114



DL=120.000

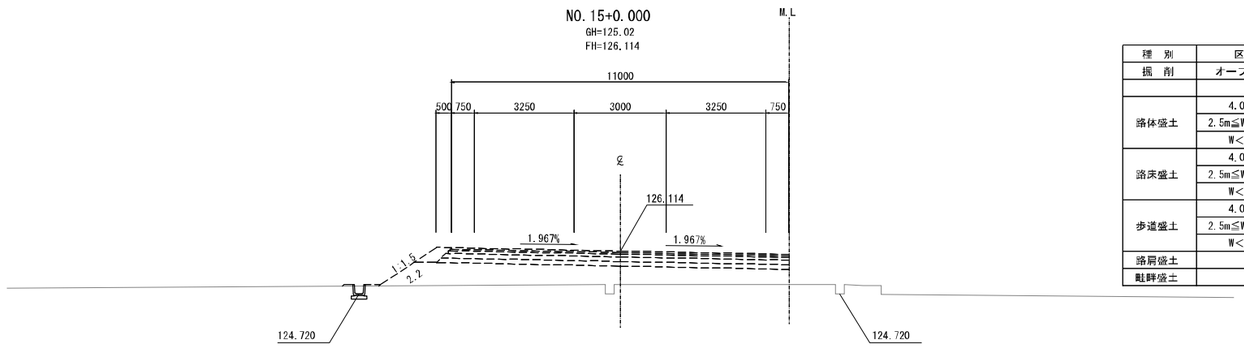
種別	区分	単位	記号	数量
掘削		m2	C1	-
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	-
	W＜2.5m	〃	B1-3	-
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	-
	W＜2.5m	〃	B2-3	-
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	-
	W＜2.5m	〃	B3-3	-
路肩盛土		m2	B4	-
畦畔盛土		m2	B5	-

種別	区分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	-
	W＜2.5m	〃	B6-3	-
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	-
	切土部(右)	〃	CL1-2	-
	盛土部(左)	〃	BL1-1	-
	盛土部(右)	〃	BL1-2	-
法面工	切土法面(左)	m	CL2-1	-
	切土法面(右)	〃	CL2-2	-
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	-
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	-

NO.15+0.000

GH=125.02

FH=126.114



DL=120.000

種別	区分	単位	記号	数量
掘削	オープン掘削	m2	C1	-
路体盛土	4.0m≦W	m2	B1-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B1-2	-
	W＜2.5m	〃	B1-3	-
路床盛土	4.0m≦W	m2	B2-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B2-2	-
	W＜2.5m	〃	B2-3	-
歩道盛土	4.0m≦W	m2	B3-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B3-2	-
	W＜2.5m	〃	B3-3	-
路肩盛土		m2	B4	-
畦畔盛土		m2	B5	-

種別	区分	単位	記号	数量
路体外盛土	4.0m≦W	m2	B6-1	-
	2.5m≦W＜4.0m	〃	B6-2	-
	W＜2.5m	〃	B6-3	-
法面整形工	切土部(左)	m	CL1-1	-
	切土部(右)	〃	CL1-2	-
	盛土部(左)	〃	BL1-1	-
	盛土部(右)	〃	BL1-2	-
法面工	切土法面(左)	m	CL2-1	-
	切土法面(右)	〃	CL2-2	-
	盛土法面(左)	〃	BL2-1	-
	盛土法面(右)	〃	BL2-2	-

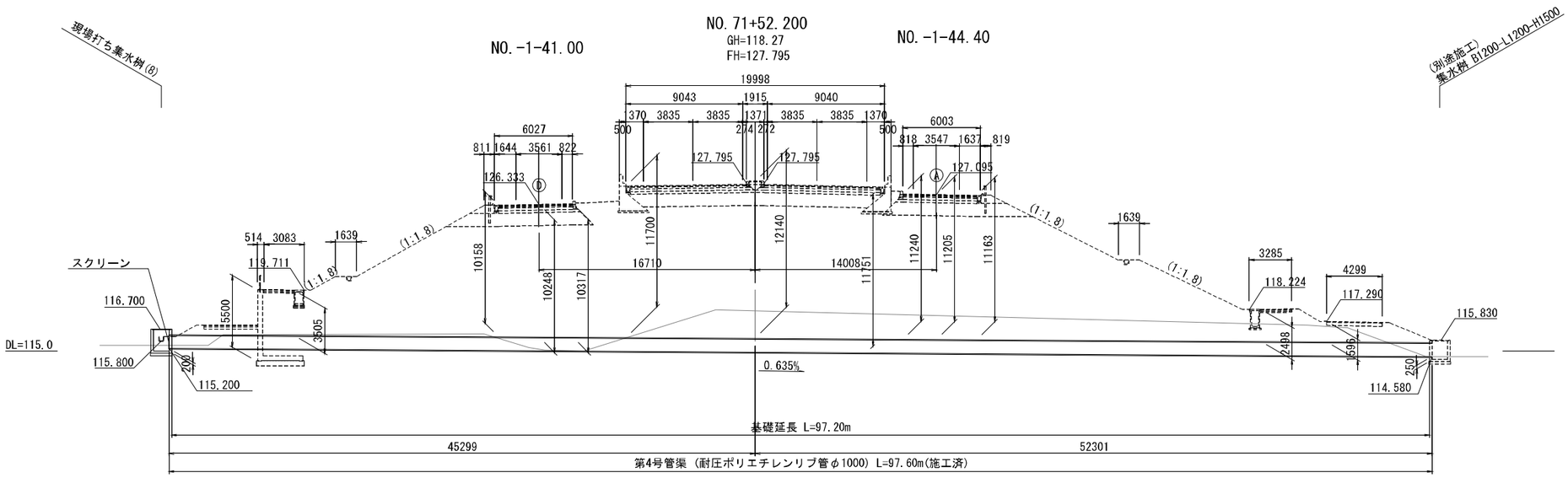
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	横断図(13)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮尺	1:100	図面番号	28 の 22
会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

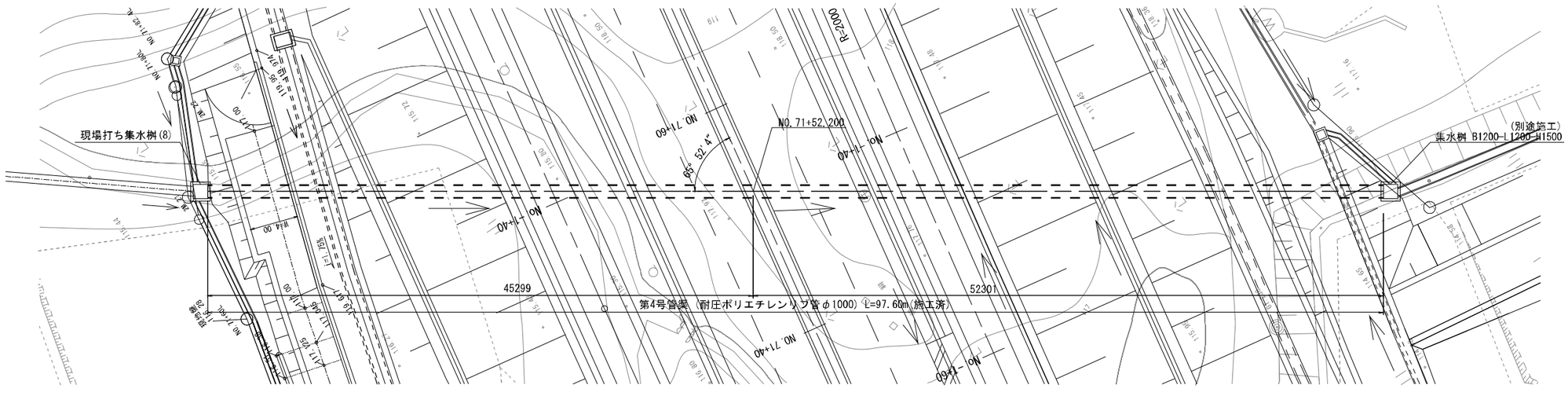
第４号管渠工一般図

国道５０号前橋笠懸道路

側　面　図　S=1:200



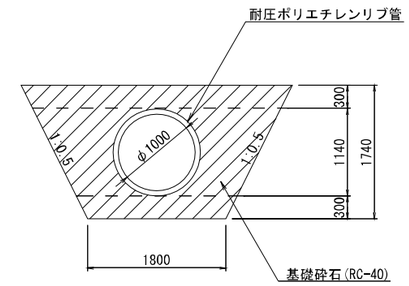
平　面　図　S=1:200



（施工済）

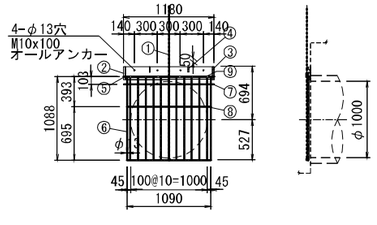
断　面　図　S=1:40

耐圧ポリエチレンリブ管φ1000



スクリーン構造図　S=1:40

正面図　　側面図



スクリーン　材料表

1式当り

番号	名　称	材質	規格	幅(mm)	長さ/高さ(mm)	板厚(mm)	数量	単位重量(kg)	単位	重量(kg)	摘　要
1	引上げチェーン	SUS304			2000		1	0.30	kg/m	0.6	
2	据付プレート	SS400	PL	170	1180	9	1	70.65	kg/m2	14.2	
3	据付プレート	SS400	PL	50	170	9	2	70.65	kg/m2	1.2	
4	据付プレート	SS400	PL	50	75	9	2	70.65	kg/m2	0.5	
5	可 動 軸	SGD400	RB13		1178		1	1.04	kg/m	1.2	
6	本　体	SS400	RB13		1070		13	1.04	kg/m	14.5	
7	横　桟	SS400	RB13		1180		1	1.04	kg/m	1.2	
8	横　桟	SS400	RB13		1103		2	1.04	kg/m	2.3	
9	本体パイプ	SGP 8A	φ21.7×2.8t		1130		1	0.66	kg/m	0.7	
									総重量	36.5	

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

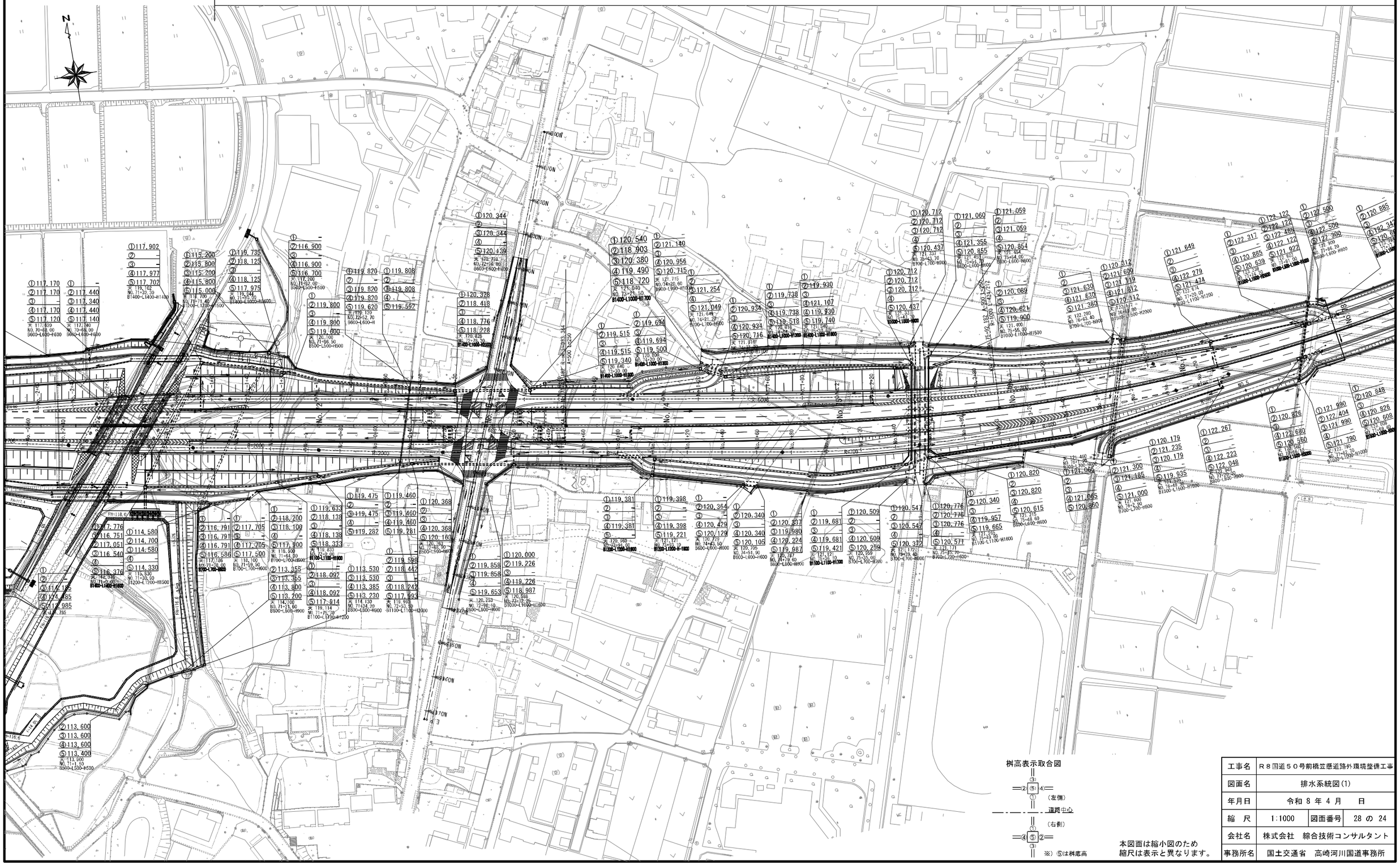
工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	第４号管渠工一般図		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	図　示	図面番号	28 の 23
会社名	大日コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

排水系統図(1)　S=1:1000

国道５０号前橋笠懸道路

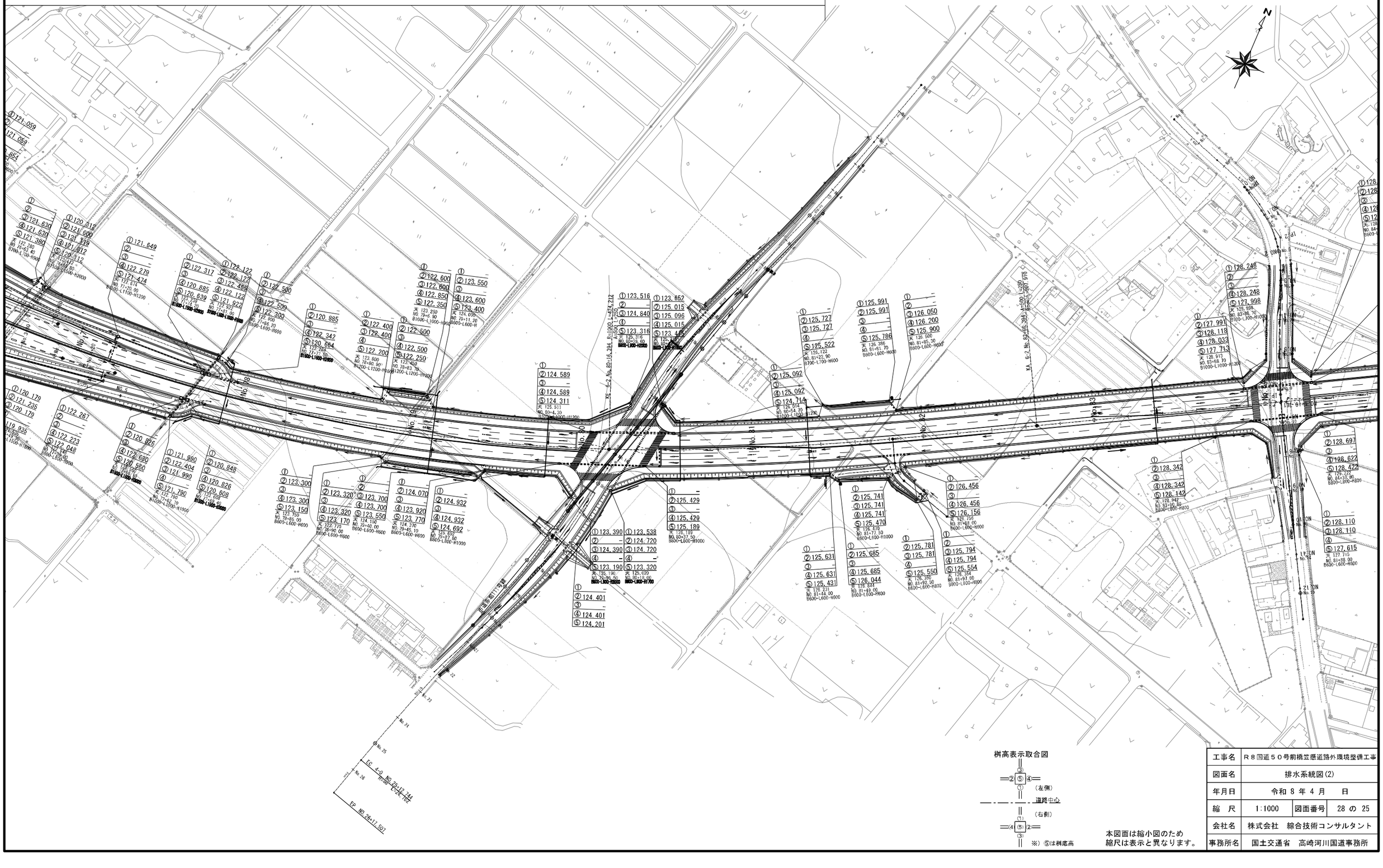
工事起点
No.71+40.0

N



排水系統図(2)　S=1:1000

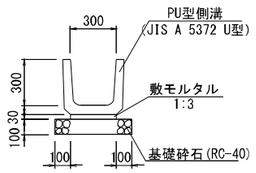
国道５０号前橋笠懸道路



小構造物詳細図(1)　S=1:20

ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝(1)

国道５０号前橋笠懸道路

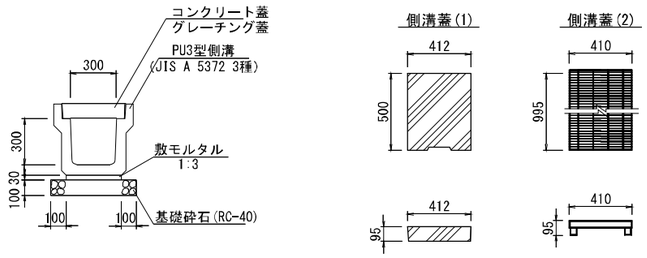


ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU側溝(1)　材料表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	PU1-B300-H300	個	16.5	
ﾓﾙﾀﾙ	1:3	m3	0.09	
基礎材	RC-40 t=100mm	m2	5.00	

ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝(2)

国道５０号前橋笠懸道路

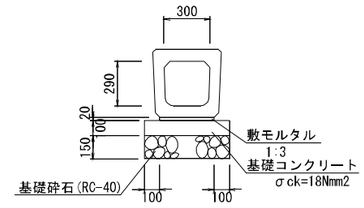


ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU側溝(2)　材料表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	PU3-B300-H300	個	5.0	
ﾓﾙﾀﾙ	1:3	m3	0.11	
基礎材	RC-40 t=100mm	m2	5.60	
ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	412×95×500 T-25	枚	18	側溝蓋(1)
ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	995×410×95 T-25 細目	枚	1	側溝蓋(2)

ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ

国道５０号前橋笠懸道路

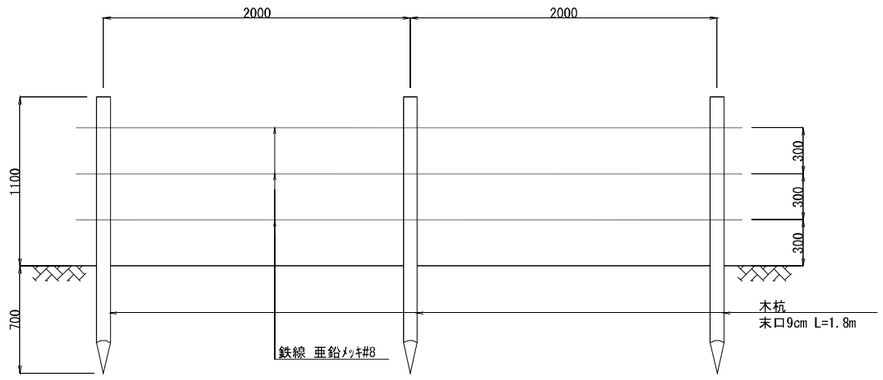


ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ　材料表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	B300-H300	個	5.0	
ﾓﾙﾀﾙ	1:3	m3	0.07	
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm2	m3	0.60	
型　枠		式	1	
基礎材	RC-40 t=150mm	m2	5.60	

立入防止柵(木杭)

国道５０号前橋笠懸道路・国道１７号綾戸バイパス



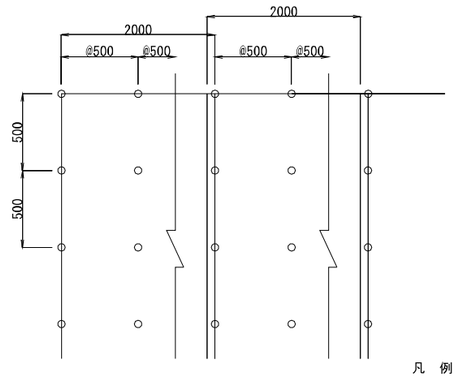
立入防止柵(木杭)　材料表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
木杭	末口9cm L=1.8m	本	5.0	
鉄線	鉄線(亜鉛ﾒｯｷ#8)	m	30.0	

防草ｼｰﾄ

国道５０号前橋笠懸道路

平面図



凡　例

○　U型アンカーピン（φ4×250）

防草ｼｰﾄ　材料表　100m2当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
防草ｼｰﾄ	二層構造 W=2.0m L=25m t=2mm 目付量310g/m2以上	m2	120.0	重ね代 100mm以上
U型ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ	φ4mm×250mm	本	400.0	

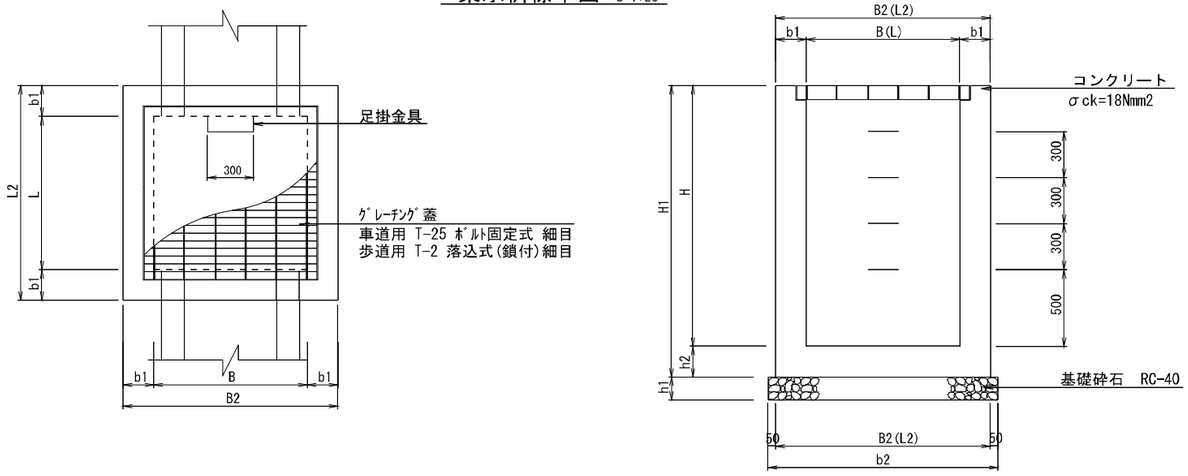
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

工事名	R８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	小構造物詳細図(1)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	1:20	図面番号	28 の 26
会社名	株式会社　綜合技術コンサルタント 大日コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		

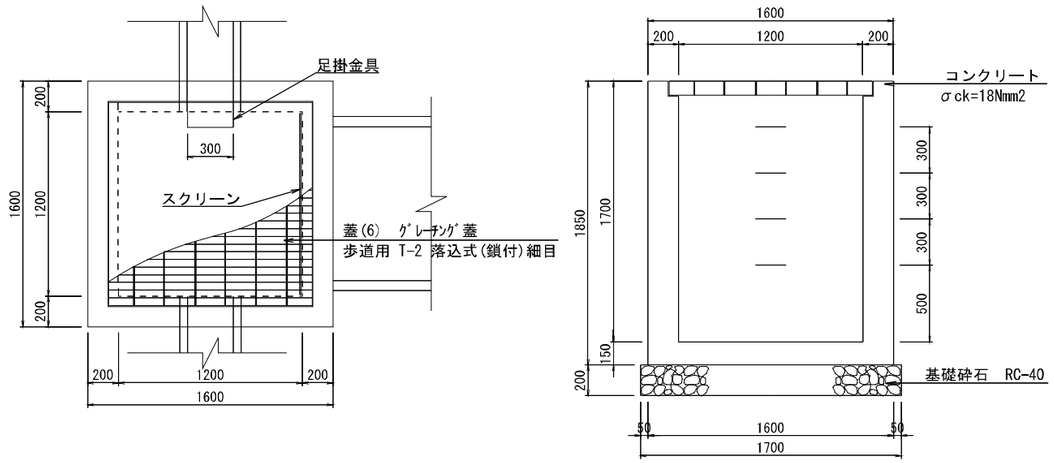
小構造物詳細図(2)

国道５０号前橋笠懸道路

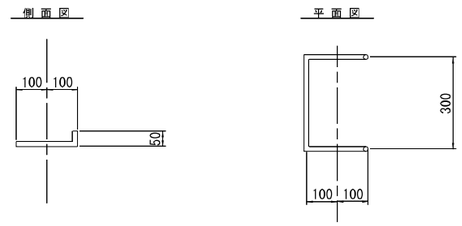
集水桝標準図 S=1:20



現場打ち集水桝(8) S=1:20



足掛金具詳細図 S=1:10



寸法表

記号	桝蓋	寸法表 (単位mm)										
		B	L	H	b1	B2	b2	L2	l2	H1	h1	h2
現場打ち集水桝(1)	蓋(1)	500	500	500	150	800	900	800	900	650	150	150
現場打ち集水桝(2)	蓋(1)	500	500	600	150	800	900	800	900	750	150	150
現場打ち集水桝(3)	蓋(2)	600	600	600	150	900	1000	900	1000	750	150	150
現場打ち集水桝(4)	蓋(3)	700	700	600	150	1000	1100	1000	1100	750	150	150
現場打ち集水桝(5)	蓋(4)	700	700	600	150	1000	1100	1000	1100	750	150	150
現場打ち集水桝(6)	蓋(5)	900	900	1700	200	1300	1400	1300	1400	1850	200	150
現場打ち集水桝(7)	蓋(5)	900	900	1900	200	1300	1400	1300	1400	2050	200	150
現場打ち集水桝(9)	蓋(7)	1500	1500	1600	200	1900	2000	1900	2000	1750	200	150
現場打ち集水桝(10)	蓋(8)	1500	1500	2000	200	1900	2000	1900	2000	2150	200	150

蓋(1)～(8) 材料表

1箇所当り

名称	規格	単位	数量	備考
蓋(1)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 500×500用 T-2 落込式(鎖付)細目	枚	1	
蓋(2)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 600×600用 T-25 ﾎﾞﾙﾄ固定式細目	枚	1	
蓋(3)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 700×700用 T-25 ﾎﾞﾙﾄ固定式細目	枚	1	
蓋(4)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 700×700用 T-2 落込式(鎖付)細目	枚	1	
蓋(5)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 900×900用 T-2 落込式(鎖付)細目	枚	1	
蓋(6)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1200×1200用 T-2 落込式(鎖付)細目	枚	2	分割品
蓋(7)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1500×1500用 T-2 落込式(鎖付)細目	枚	2	分割品
蓋(8)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 1500×1500用 T-25 ﾎﾞﾙﾄ固定式細目	枚	2	分割品

現場打ち集水桝(1)～(10) 材料表

10箇所当り

名称	規格	単位	数量										摘要
			現場打ち集水桝(1)	現場打ち集水桝(2)	現場打ち集水桝(3)	現場打ち集水桝(4)	現場打ち集水桝(5)	現場打ち集水桝(6)	現場打ち集水桝(7)	現場打ち集水桝(8)	現場打ち集水桝(9)	現場打ち集水桝(10)	
コンクリート	σck=18Nmm2	m3	2.2	2.6	3.2	3.9	3.9	15.7	17.5	19.9	24.2	29.6	
型枠		式	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m2	8.1	8.1	10.0	12.1	12.1	－	－	－	－	－	
	RC-40 t=200mm	m2	－	－	－	－	－	19.6	19.6	28.9	40.0	40.0	
ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	車道用	枚	－	－	10	10	－	－	－	－	－	20	
	歩道用	枚	10	10	－	－	10	10	10	20	20	－	
足掛金具	W=300	本	－	－	－	－	－	40	50	40	40	50	
スクリーン	W=36.5kg/組	組	－	－	－	－	－	－	－	10	－	－	

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

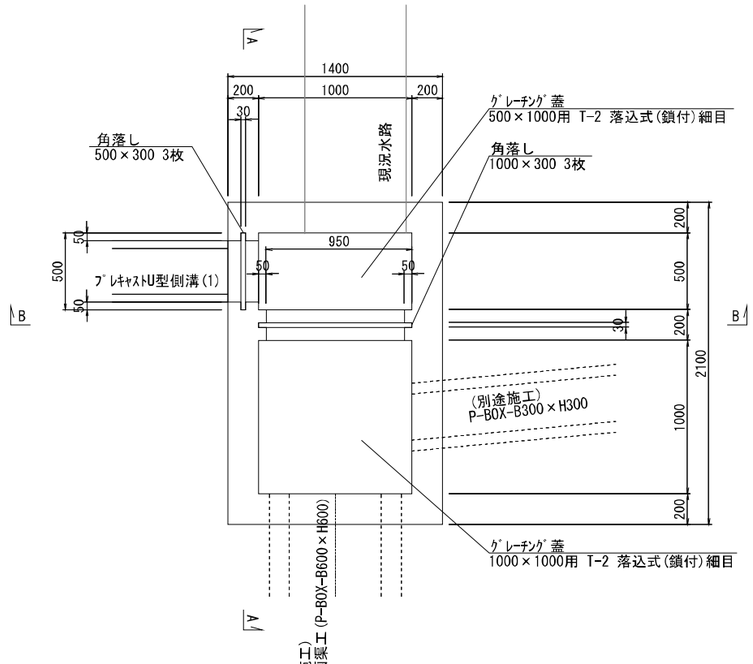
工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	小構造物詳細図(2)		
年月日	令和 8 年 4 月 日		
縮尺	図示	図面番号	28 の 27
会社名	株式会社 綜合技術コンサルタント 大日コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 高崎河川国道事務所		

小構造物詳細図(3) S=1:20

国道５０号前橋笠懸道路

現場打ち集水桝(11)

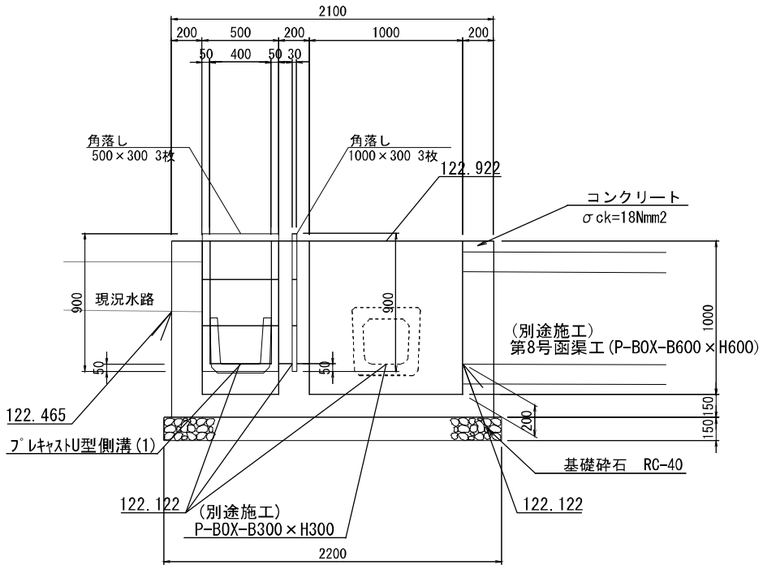
平面図



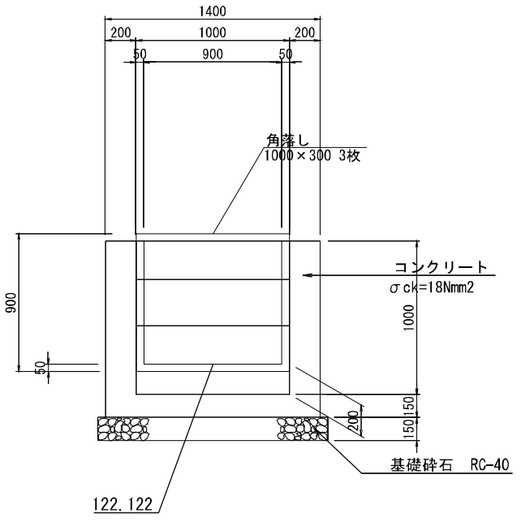
現場打ち集水桝(11) 材料表　　10箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
コンクリート	σck=18Nmm2	m3	15.8	
型　枠		式	1	
基礎砕石	RC-40　t=150mm	m2	33.0	
グレーチング蓋	500×1000用 歩道用	枚	10.0	蓋(9)
グレーチング蓋	1000×1000用 歩道用	枚	10.0	蓋(10)
角落し	杉板1000×300×30	枚	30.0	
角落し	杉板500×300×30	枚	30.0	

A-A断面



B-B断面



DL=120.000

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

工事名	Ｒ８国道５０号前橋笠懸道路外環境整備工事		
図面名	小構造物詳細図(3)		
年月日	令和 8 年 4 月　日		
縮　尺	1:20	図面番号	28 の 28
会社名	株式会社　綜合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省　高崎河川国道事務所		